

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の利用促進による
沿線地域の活性化に関する調査研究

後 編

平成 29 年 3 月

茨城県

一般財団法人 地方自治研究機構

目 次

第4章 全国のローカル線における利用促進策.....	219
1 文献調査によるローカル線利用促進策.....	221
第5章 先進的なローカル線における取組状況.....	285
1 青い森鉄道（青森県）.....	287
2 ひたちなか海浜鉄道（茨城県）.....	301
3 いすみ鉄道（千葉県）.....	313
第5章 鹿島臨海鉄道利用促進策に関する提案.....	331
1 鹿島臨海鉄道利用促進策に関する提案一覧表.....	333
2 鹿島臨海鉄道利用促進策に関する提案シート.....	336
委員コメント.....	361
委員名簿.....	375

【参考】

(前編 目次)

序章 調査研究の概要.....	3
1 調査目的.....	5
2 調査内容.....	6
3 調査体制及び調査のスケジュール.....	7
第1章 鹿島臨海鉄道の状況.....	11
1 鹿島臨海鉄道の現状.....	13
2 鹿島臨海鉄道の乗降客推移.....	19
3 主要駅における沿線人口の将来推計.....	28
第2章 鹿島臨海鉄道の沿線住民向けアンケート調査.....	43
1 調査概要.....	45
2 各設問の集計.....	51
3 分析.....	164
第3章 鹿島臨海鉄道の利用促進に 関する関係者へのヒアリング調査.....	201
1 沿線高校に通学する生徒.....	203
2 JA ほこた.....	209
3 りんてつ応援団.....	211

第4章 全国のローカル線における 利用促進策

1 文献調査によるローカル線利用促進策

(1) ローカル線利用促進策一覧表（概要版）

全国のローカル線における利用促進策について、文献調査を実施した。次頁の一覧表は、その利用促進策を分類ごとに整理したものである。

ソートキー								
No.	分類	生活/観光	年齢層	定期/定期外	鉄道名	鉄道利用促進策名		
1	企画定期券	生活(平日)	高校生	定期	青い森鉄道	通学片道定期券		
2	企画定期券	生活(平日)	高齢者	定期	青い森鉄道	シニア寿定期券		
3	企画定期券	生活(平日)	壮年	定期	長良川鉄道	鉄道・バス共通定期券(地元バス会社連携)		
4	企画定期券	生活(平日)	壮年	定期	ひたちなか海浜鉄道	年間通学定期券		
5	企画定期券	生活(平日)	壮年	定期	一畑電車	通勤定期助成制度		
6	企画切符	生活(週末)	小学生	定期外	鹿島臨海鉄道	大洗鹿島線沿線小学生限定1日フリー切符		
7	企画切符	生活(平日)	高齢者	定期外	鹿島臨海鉄道	ねんりんキップ		
8	企画切符	生活(週末)	壮年	定期外	青い森鉄道	青い森ホリデーフリーきっぷ		
9	企画切符	生活(週末)	高校生	定期外	青い森鉄道	学トクホリデーフリーきっぷ		
10	企画切符	生活(週末)	ファミリー	定期外	京都丹後鉄道	家族お出かけきっぷ		
11	企画切符	生活(平日)	高齢者	定期外	京都丹後鉄道	あんしん通院ペア乗車券		
12	企画切符	生活(平日)	高齢者	定期外	一畑電車	シルバーきっぷ助成制度		
13	企画切符	生活(平日)	壮年	定期外	青い森鉄道	ラビナお買い物きっぷ		
14	企画切符	生活(平日)	壮年	定期外	長良川鉄道	お買い物券配布(地元商業施設連携)		
15	企画切符	生活(平日)	高齢者	定期外	青い森鉄道	浅虫温泉あさ風呂きっぷ		
16	企画切符	観光(域外客)	壮年	定期外	京急電鉄	みさきまぐろきっぷ		
17	企画切符	観光(域外客)	壮年	定期外	長良川鉄道	世界遺産白川郷の割引クーポン(地元バス会社連携)		
18	企画切符	観光(域外客)	若者	定期外	一畑電車	緑結びパーフェクトチケット		
19	企画切符	観光(域外客)	壮年	定期外	一畑電車	古代出雲歴博入場券&フリーチケット		
20	企画切符	生活(平日)	ファミリー	定期外	一畑電車	カンガルーバス		
21	企画切符	生活(週末)	ファミリー	定期外	北条鉄道	片道無料キャンペーン(行政との連携)		
22	スタンプラリー	観光(地元客)	中学生	定期外	鹿島臨海鉄道	ときわ路・ご当地キャラクタースタンプラリー		
23	スタンプラリー	観光(地元客)	中学生	定期外	鹿島臨海鉄道	ときわ路スタンプラリー		
24	スタンプラリー	観光(地元客)	壮年	定期外	青い森鉄道	青い森鉄道提携施設スタンプラリー		
25	スタンプラリー	観光(域外客)	若者	定期外	十和田観光電鉄・青い森鉄道	十和田観光電鉄×青い森鉄道×きまぐれ鉄道ふらり旅 コレクションキャンペーン		
26	スタンプラリー	観光(域外客)	若者	定期外	株式会社トミーテック	つなげて! 全国"鉄道むすめ"巡り		
27	スタンプラリー	観光(地元客)	中学生	定期外	東京地下鉄	6つの名言 東京メトロクイズラリー		
28	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	JR東日本	JR東日本 ポケモン謎解きラリー カラクリ王国を救え!		
29	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	西武鉄道	「劇場版アイカツスターズ!」西武線スタンプラリー		
30	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	西武鉄道	「妖怪ウォッチ」2015夏休み 西武線スタンプラリー		
31	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	JR東日本	JR東日本 帰って来たぞ! 我らのウルトラマンスタンプラリー		
32	スタンプラリー	観光(地元客)	中学生	定期外	つくばエクスプレス・流鉄	TX&流鉄ご当地キャラクタースタンプラリー		
33	スタンプラリー	観光(域外客)	若者	定期外	小田急電鉄	小田急箱根スタンプラリー		
34	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	東京地下鉄	仮面ライダーゴースト映画公開記念 東京メトロスタンプラリー2016		
35	スタンプラリー	観光(地元客)	中学生	定期外	名古屋鉄道	SAGASE! ~記憶を呼び起こし 駅を探し出せ~		
36	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	京王電鉄	京王 電車スタンプラリー		
37	スタンプラリー	観光(地元客)	小学生	定期外	埼玉新都市交通	ニューシャトルスタンプラリー		
38	沿線ガイド	観光(域外客)	若者	定期外	青い森鉄道	「青い森鉄道沿線ガイド」(「わ」の娘っこ)		
39	沿線ガイド	観光(域外客)	若者	定期外	ひたちなか海浜鉄道	沿線さんぽ(乗車特典サービス付)		
40	沿線ガイド	生活・観光共通	壮年	定期外	えちぜん鉄道	列車アテンダント		
41	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	鹿島臨海鉄道	ワイン列車		
42	イベント一般	生活・観光共通	壮年	定期外	鹿島臨海鉄道	納涼ビール列車		
43	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	鹿島臨海鉄道	一番搾り樽酒列車		
44	イベント一般	観光(域外客)	若者	定期外	鹿島臨海鉄道	アニメガールズ&ハンツァー]関連事業		
45	イベント一般	観光(域外客)	若者	定期外	ひたちなか海浜鉄道	世界一楽しい片道切符2(アニメタイプ含む)		
46	イベント一般	観光(地元客)	ファミリー	定期外	銚子電鉄	お化け屋敷電車		
47	イベント一般	観光(地元客)	壮年	定期外	青い森鉄道	走る市場「産直列車 あおてつマルシェ」		
48	イベント一般	観光(地元客)	壮年	定期外	秋田内陸縦貫鉄道	グルメ列車		
49	イベント一般	生活・観光共通	ファミリー	定期外	鹿島臨海鉄道	新型車両展示会		
50	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	秋田内陸縦貫鉄道	速度の遅い観光列車		
51	イベント一般	観光(地元客)	ファミリー	定期外	鹿島臨海鉄道	たんぽアートツアー2016		
52	イベント一般	観光(地元客)	高齢者	定期外	秋田内陸縦貫鉄道	生け花パフォーマンス		
53	イベント一般	観光(地元客)	ファミリー	定期外	鹿島臨海鉄道	駅からハイキング(ウォーキング)		
54	イベント一般	生活・観光共通	ファミリー	定期外	鹿島臨海鉄道	大洗鹿島線開業30周年記念事業		
55	イベント一般	観光(地元客)	高齢者	定期外	いすみ鉄道	伊勢海老特急・お刺身列車コース		
56	イベント一般	観光(地元客)	壮年	定期外	いすみ鉄道	伊勢海老特急・イタリアンコース		
57	イベント一般	観光(地元客)	壮年	定期外	いすみ鉄道	スイーツ&ワイン列車		
58	イベント一般	観光(地元客)	高齢者	定期外	いすみ鉄道	和菓子列車		
59	イベント一般	観光(地元客)	壮年	定期外	山形鉄道	寄席列車		
60	イベント一般	観光(地元客)	ファミリー	定期外	山形鉄道	陶芸体験列車		
61	イベント一般	観光(域外客)	高齢者	定期外	わたらせ渓谷鐵道	うたごえ列車		
62	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	JR東日本秋田支社・五能線	津軽弁「語り部」実演		
63	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	JR東日本秋田支社・五能線	津軽三味線生演奏		
64	イベント一般	観光(域外客)	高齢者	定期外	樽見鉄道	菓草列車		
65	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	一畑電車	電車塗装体験		
66	イベント一般	観光(域外客)	壮年	定期外	明知鉄道	グルメ列車		

67	イベント子供	観光(地元客)	小学生	定期外	つくばエクスプレス	子ども美術館
68	イベント子供	生活(週末)	小学生	定期外	神戸市営地下鉄	たなぼた列車
69	イベント子供	観光(地元客)	小学生	定期外	ひたちなか海浜鉄道	デュエマ列車
70	イベント子供	観光(地元客)	若者	定期外	鹿島臨海鉄道	クリスマス列車
71	イベント子供	生活(週末)	ファミリー	定期外	鹿島臨海鉄道	こいのぼり列車
72	イベント子供	観光(域外客)	ファミリー	定期外	鹿島臨海鉄道	水族館フォト列車
73	イベント子供	観光(地元客)	小学生	定期外	鹿島臨海鉄道	鉄道マン体験学習
74	イベント子供	観光(域外客)	中学生	定期外	大井川鐵道	一日機関士・車掌体験
75	イベント子供	観光(域外客)	中学生	定期外	樽見鐵道	レールバス運転体験講習会
76	イベント子供	観光(域外客)	壮年	定期外	一畑電車	デハニ50形体験運転
77	イベント子供	観光(地元客)	中学生	定期外	北条鐵道	かぶと虫列車
78	イベント子供	観光(地元客)	ファミリー	定期外	北条鐵道	サンタ列車
79	イベント子供	観光(地元客)	中学生	定期外	明知鐵道	運転体験イベント
80	地域連携	観光(地元客)	ファミリー	定期外	土佐くろしお鐵道	中村駅祭り
81	地域連携	生活・観光共通	ファミリー	定期外	いすみ鐵道	列車型自動販売機
82	地域連携	生活(週末)	ファミリー	定期外	いすみ鐵道	いすみ鐵道応援団
83	地域連携	生活(平日)	壮年	定期外	北条鐵道	枕木応援団
84	地域連携	観光(地元客)	ファミリー	定期外	北条鐵道	紙芝居列車(商工会議所との連携)
85	高校生	観光(地元客)	高校生	定期外	青い森鐵道	「高校生最強カレー王選手権」
86	高校生	生活・観光共通	高校生	定期外	秋田内陸縦貫鐵道	第1回全国高校生地方鐵道交流会
87	高校生	観光(地元客)	高校生	定期外	JR東日本・久留里線	高校生フォトコンテスト
88	高校生	生活・観光共通	高校生	定期外	JR東日本・久留里線	久留里線夢づくりコンテスト
89	高校生	生活・観光共通	高校生	定期外	JR東日本・久留里線	久留里線プロジェクト
90	高校生	生活(平日)	高校生	定期外	銚子電鉄	クラウドファンディングによる車両修理費の調達
91	高校生	生活(平日)	高校生	定期外	JR東日本・横浜支社	発車メロディーの制作
92	高校生	観光(地元客)	高校生	定期外	神戸電鉄	トレインフェスティバルへの参加
93	高校生	生活・観光共通	高校生	定期外	いすみ鐵道	第2回全国高校生地方鐵道交流会
94	高校生	生活(週末)	高校生	定期外	JR西日本・姫新線	ミニギャラリーの開催
95	高校生	生活(週末)	高校生	定期外	流鉄	手作り刺繍による列車装飾
96	交通連携	観光(地元客)	壮年	定期外	ひたちなか海浜鐵道	シャトルバスの運行(イベント対応)
97	交通連携	生活(平日)	高齢者	定期外	三岐鐵道	コミュニティバスとの連携
98	交通連携	観光(地元客)	中学生	定期外	長良川鐵道	サイクルトレイン
99	交通連携	観光(地元客)	中学生	定期外	三岐鐵道	サイクルバス
100	交通連携	生活(平日)	中学生	定期外	三岐鐵道	サイクル&ライド
101	交通連携	生活(平日)	壮年	定期外	三岐鐵道	パーク&ライド
102	交通連携	観光(地元客)	壮年	定期外	ひたちなか海浜鐵道	パーク&ライド(歳末の渋滞緩和)
103	交通連携	観光(地元客)	中学生	定期外	近江鐵道	サイクルトレイン
104	ダイヤ改正	生活(平日)	壮年	定期外	松浦鐵道	飲酒運転撲滅キャンペーン列車
105	ダイヤ改正	観光(域外客)	若者	定期外	鹿島臨海鐵道	貨物線臨時旅客列車運行(地域イベント連携)

(2) ローカル線利用促進策一覧表（詳細版）

ローカル線利用促進策一覧表

企画定期券編

通学片道定期券	青い森鉄道（青森県） p. 224
年間通学定期券	ひたちなか海浜鉄道（茨城県） p. 225
通勤定期助成制度	一畑電車（島根県） p. 225
シニア寿定期券	青い森鉄道（青森県） p. 226
鉄道・バス共通定期券（地元バス会社連携）	長良川鉄道（岐阜県） p. 226

通学片道定期券

[青い森鉄道（青森県）]

青い森鉄道では、学生専用の定期券、切符を企画・販売している。

- ・朝は車で送ってもらい、帰りだけ電車を利用したいといった場合に便利な「通学片道定期券」を販売している。
- ・A駅→B駅の利用はできるが、B駅→A駅の利用はできない。



青い森鉄道の通学定期情報専用ページ（出典：青い森鉄道）

年間通学定期券

【ひたちなか海浜鉄道（茨城県）】

通常の通学定期券より更に割安の、年間通学定期券を発売。

通学利用客の多い勝田駅～那珂湊駅間を例にとると、従来の6か月定期でも年間119,140円となること、84,000円で利用できる。これは120日分の往復運賃に相当し、1か月定期（×12）に比べて年間約48,000円、6か月定期（×2）に比べても約35,000円の割引となっている。

年間通学定期券 84,000円		120日分の往復運賃で1年間ご利用可能！	
1か月定期運賃だと年間	1か月定期運賃 (11,030円) × 12か月 = 132,360円	年間通学定期券 にすると	▶ 約48,000円お得！
3か月定期運賃だと年間	3か月定期運賃 (31,440円) × 4か月 = 125,760円		▶ 約41,000円お得！
6か月定期運賃だと年間	6か月定期運賃 (59,570円) × 2か月 = 119,140円		▶ 約35,000円お得！

年間通学定期券の案内（出典：ひたちなか海浜鉄道）

通勤定期助成制度

【一畑電車（島根県）】

一畑電車株式会社と、一畑電車沿線地域対策協議会（島根県・松江市・出雲市）により実施。通勤定期について、3か月10%、6か月15%の助成を行う制度。



一畑電車

シニア寿定期券

[青い森鉄道（青森県）]

青い森鉄道では、シニア専用の定期券を企画・販売している。

- ・61歳以上であれば、買い物・通院・パート等、乗車目的を問わず、誰でも利用できる定期券である。
- ・通常の通勤定期券の約3割の価格である。

お買い物に、通院に、満61歳から利用になれます。

シニア寿定期券

うれしい3つのポイント！

- その1 とにかくお安く！
- その2 買い物・通院・パート等に利用可能！
- その3 61歳以上の高齢者でも利用可能！

※乗車区間により乗車回数、乗車区間が異なる場合があります。

【A区～B区間】 乗車区間：20,320円 (11区間)	シニア寿定期券（11区間） 7,160円	約64%お得
【青森～秋田間】 乗車区間：37,120円 (11区間)	シニア寿定期券（11区間） 9,740円	約73%お得

●対象年齢 満61歳以上の方

●ご利用区間 青い森鉄道管内（青森～日持） 各駅相互間

●乗車区間 1か月・3か月・6か月

●乗車回数 乗車区間により異なります

●乗車条件 乗車区間の2人以上、7人以上でお乗車いただけます。
【お申し込み対象エリア】
青森県（青森市・八戸市・弘前市） 岩手県（盛岡市・奥州市） 秋田県（秋田市）
山形県（山形市） 福島県（福島市） 茨城県（水戸市） 栃木県（宇都宮市） 群馬県（高崎市）

ご購入の際は、必ず乗車区間の乗車回数を確認してください。【乗車区間別乗車回数】の乗車回数をお読みください。ご注意ください。

青い森鉄道

シニア寿定期券のパンフレット（出典：青い森鉄道）

鉄道・バス共通定期券（地元バス会社連携）

[長良川鉄道（岐阜県）]

地元の交通事業者である株式会社白鳥交通と連携し、鉄道・バスの双方の良さを活かした企画として、鉄道・バスの共通定期券の販売を行う。



長良川鉄道の列車と白鳥交通のバス（出典：長良川鉄道・白鳥交通）

ローカル線利用促進策一覧表

企画切符編

大洗鹿島線沿線小学生限定1日フリー切符	鹿島臨海鉄道（茨城県）	p. 227
ねんりんキップ	鹿島臨海鉄道（茨城県）	p. 228
青い森ホリデーフリーきっぷ	青い森鉄道（青森県）	p. 228
学トクホリデーフリーきっぷ	青い森鉄道（青森県）	p. 229
家族お出かけきっぷ	京都丹後鉄道（京都府・兵庫県）	p. 229
あんしん通院ペア乗車券	京都丹後鉄道（京都府・兵庫県）	p. 230
シルバーきっぷ助成制度	一畑電車（島根県）	p. 230
ラビナお買い物きっぷ	青い森鉄道（青森県）	p. 231
お買い物券配布	長良川鉄道（岐阜県）	p. 231
浅虫温泉あさ風呂きっぷ	青い森鉄道（青森県）	p. 232
みさきまぐろきっぷ	京急電鉄（東京都・神奈川県）	p. 232
世界遺産白川郷の割引クーポン	長良川鉄道（岐阜県）	p. 233
縁結びパーフェクトチケット	一畑電車（島根県）	p. 233
古代出雲歴史博入場券&フリーチケット	一畑電車（島根県）	p. 234
カンガルーパス	一畑電車（島根県）	p. 234
片道無料キャンペーン（行政との連携）	北条鉄道（兵庫県）	p. 235

大洗鹿島線沿線小学生限定1日フリー切符

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成27年12月19日（土）から平成28年1月31日（日）まで実施。

大洗鹿島線開業30周年記念特別企画として、沿線の小学生全員（注）にフリー切符を無料で配布し、公共交通の必要性を認識してもらうための取組。

フリー切符配布枚数は22,110枚、利用枚数は481枚、利用率は2.2%。

※茨城県の支援事業を活用した取組。

（注）大洗鹿島線の沿線市町内（水戸市、大洗町、鉾田市及び鹿嶋市）にある71校を対象とし配布を実施。
対象の小学校は以下のとおり。

水戸市（36校）	茨城大学附属、三の丸、五軒、新荘、城東、浜田、常磐、緑岡、寿、上大野、柳河、渡里、吉田、酒門、石川、飯富、国田、河和田、上中妻、見川、千波、梅が丘、双葉台、笠原、赤塚、吉沢、堀原、下大野、稲荷第一、稲荷第二、大場、鯉淵、妻里、内原、リリーベール、英宏
大洗町（3校）	大洗、大貫、夏海
鉾田市（20校）	旭東、旭南、旭西、旭北、巴第一、大和田、当間、徳宿、舟木、鉾田、諏訪、新宮、大竹、青柳、野友、串挽、上島東、上島西、白島東、白島西
鹿嶋市（12校）	大同東、大同西、中野東、中野西、波野、豊郷、豊津、鹿島、高松、平井、三笠、鉢形

ねんりんキップ

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 28 年 4 月 1 日（金）から平成 29 年 3 月 31 日（金）まで実施。

平成 27 年 12 月 31 日に発売を終了した「一日乗り放題切符」に代わる、70 歳以上の高齢者を対象とした 1 日フリー切符。有効区間は水戸駅―鹿島神宮駅間であり、購入した日から 3 か月以内の乗車日 1 日のみ乗り降り自由となる。

また、料金は 1,500 円となる（水戸駅―鹿島神宮駅間の片道運賃は 1,570 円）。購入の際は、年齢が証明できるものが必要。



ねんりんキップの販促チラシ 及び ねんりんキップの見本（出典：鹿島臨海鉄道）

青い森ホリデーフリーきっぷ

〔青い森鉄道（青森県）〕

青い森鉄道では、沿線住民のニーズを先取りした多様な企画切符や定期券を発行しているが、その中心が「青い森ホリデーフリーきっぷ」である。

- ・青森駅―八戸駅間の片道が通常 2,280 円に対し、1 日乗り放題で 2,060 円と、JR のフリー切符（2,400 円）より安い。
- ・全国のコンビニで購入できる。
- ・土日の収入源となっている。



青い森ホリデーフリーきっぷのパンフレット（出典：青い森鉄道）

学トクホリデーフリーきっぷ

[青い森鉄道 (青森県)]

青い森鉄道では、学生専用の定期券、切符を企画・販売している。

・中学生・高校生専用に、通常の「青い森ホリデーフリーきっぷ」の半額で「学トクホリデーフリーきっぷ」を販売している。



青い森ホリデーフリーきっぷの学生版「学トクホリデーフリーきっぷ」(出典: 青い森鉄道)

家族お出かけきっぷ

[京都丹後鉄道 (京都府・兵庫県)]

1枚で、大人1名と子ども1名の最大2名までが、京都丹後鉄道全区間を1日乗り放題(普通・快速)となるフリーパス。利用可能日は週末(土・日・祝日)のみとなる。週末の家族での利用の促進を図る取組。

通常料金は1,800円であるが、インターネットで購入すると特別料金の1,500円となる。



家族お出かけきっぷの見本(出典: 京都丹後鉄道)

あんしん通院ペア乗車券

[京都丹後鉄道（京都府・兵庫県）]

通院する本人と、その付き添いの方の合計2名で、1名分の運賃となる企画切符。平日の乗車日当日に限り有効。購入の際は、通院証明書（診察券・予約券等）の提示を行う。



あんしん通院ペア乗車券の見本（出典：旧北近畿タンゴ鉄道）

シルバーきっぷ助成制度

[一畑電車（島根県）]

一畑電車株式会社と、一畑電車沿線地域対策協議会（島根県・松江市・出雲市）により実施。シルバーきっぷ（1日フリー切符）を、通常1,500円のところ1,000円で販売し、差額を助成する制度。



一畑電車シルバーきっぷ（出典：一畑電車）

ラビナお買い物きっぷ

[青い森鉄道（青森県）]

青い森鉄道では、乗車目的に合わせた切符を販売し、リピーターの確保に努めている。

- ・乗車券と青森の大型店「ラビナ」の買い物券2,000円をセットした切符で、最大32%の割引となる。



ラビナお買い物きっぷのパンフレット（出典：青い森鉄道）

お買い物券配布（地元商業施設連携）

[長良川鉄道（岐阜県）]

沿線の大規模商業店舗である「マーゴ」と連携し、鉄道利用者向けサービスとしてお買い物割引券の配布を実施。



長良川鉄道からマーゴへのアクセスマップ（出典：マーゴHP）

浅虫温泉あさ風呂きっぷ

〔青い森鉄道（青森県）〕

青い森鉄道では、乗車目的に合わせた切符を販売し、リピーターの確保に努めている。
・乗車券と浅虫温泉の入浴・朝食券をセットした切符である。



浅虫温泉あさ風呂きっぷのパンフレット（出典：青い森鉄道）

みさきまぐろきっぷ ～食による企画きっぷ～

〔京急電鉄（東京都・神奈川県）〕

京急電鉄では、三浦・三崎のバス、まぐろ販売店・料理店と提携して、乗車券+食事代+レジャー施設利用券をセットにした「みさきまぐろきっぷ」を販売している。



みさきまぐろきっぷのポスター（出典：京急電鉄）

世界遺産白川郷の割引クーポン（地元バス会社連携）

〔長良川鉄道（岐阜県）〕

地元の交通事業者である株式会社白鳥交通と連携し、鉄道・バスの双方の良さを活かした企画として、世界遺産白川郷の割引クーポンの発行を行う。



世界遺産白川郷の割引クーポン（出典：白鳥交通）

縁結びパーフェクトチケット

〔一畑電車（島根県）〕

出雲路をめぐる電車・バスが、発行当日より3日間乗り降り自由。更に、30以上の施設で割引や特典を受けることができる。一畑電車のほか、一畑バス、松江市営バス、出雲空港連絡バス、米子空港連絡バスにも乗車でき、販売価格3,000円（大人）、1,500円（小人）。3日間有効。



縁結びパーフェクトチケット（出典：一畑電車）

古代出雲歴史博入場券&フリーチケット

〔一畑電車（島根県）〕

一畑電車全区間が1日乗り降り自由のフリー乗車券と、島根県立古代出雲歴史博物館の常設展入場券（600円）がセットになったチケット。通常、古代出雲歴史博物館常設展600円+1日フリー乗車券1,500円で合計2,100円のところ、セットで1,800円と割安に設定されている。



古代出雲歴史博入場券&フリーチケット（出典：一畑電車）

カンガルーパス

〔一畑電車（島根県）〕

未就学児の子どもとその家族（養育者）と一緒に一畑電車又は一畑バスを利用する際に、使用開始から6か月間の土日祝日に限り、乗り放題となる乗車券。価格は3,500円で通年販売しており、1歳～就学前（6歳）の幼児1名と養育者1名が同乗する場合に有効。一畑電車全区間及び一畑路線バス全路線で利用可能。



カンガルーパス（出典：一畑電車）

片道無料キャンペーン（行政との連携）

〔北条鉄道（兵庫県）〕

沿線の加西市が、北条鉄道の良さを認識してもらおうと実施しているキャンペーン。「片道が無料になります」がキャッチフレーズで、市の広報誌に掲載された優待券を利用して乗車すると、1 回分の乗車が無料になる。また、北条鉄道からも、北条町駅で販売しているドーナツがプレゼントされる。

北条鉄道利用促進キャンペーン「片道無料」 問合せ先／北条鉄道 ☎079-0036

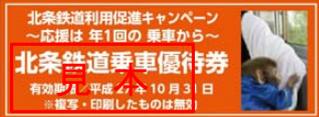
応援は年1回の乗車から



加西市は、北条鉄道の良さを認識してもらおうと「北条鉄道利用促進キャンペーン」を実施します。
優待券を利用して乗車された方は、1 回分の乗車が無料になります。また、北条鉄道からドーナツをプレゼントします。キャンペーン期間中の沿線イベントなどにご利用ください。

昨年のフォトコンテスト最優秀作品（辻野三さん撮影）

- 期間／8月1日（土）～10月31日（土）
- 利用方法／優待券を切り取り、降車（運賃支払い）時に運転士にお渡しください。
- 注意事項／1枚につきお一人様、1回限り有効です。
※複写・印刷したものは無効です。



9

市の広報誌に掲載されたキャンペーン内容（出典：加西市）

ローカル線利用促進策一覧表

スタンプラリー編

ときわ路・ご当地キャラクタースタンプラリー	鹿島臨海鉄道（茨城県）	p. 236
ときわ路スタンプラリー	鹿島臨海鉄道（茨城県）	p. 237
青い森鉄道提携施設スタンプラリー	青い森鉄道（青森県）	p. 237
十和田観光電鉄×青い森鉄道×きまぐれ鉄道ぶらり旅	コレクションキャンペーン 十和田観光電鉄（青森県）・青い森鉄道（青森県）	p. 238
つなげて！全国“鉄道むすめ”巡り	株式会社トミーテック（栃木県）	p. 238
6つの名言 東京メトロクイズラリー	東京地下鉄（東京都）	p. 239
JR 東日本 ポケモン謎解きラリー カラクリ王国を救え！	JR 東日本（東京都）	p. 239
「劇場版アイカツスターズ！」西武線スタンプラリー	西武鉄道（埼玉県）	p. 240
「妖怪ウォッチ」2015 夏休み 西武線スタンプラリー	西武鉄道（埼玉県）	p. 240
JR 東日本 帰って来たぞ！我らのウルトラマンスタンプラリー	JR 東日本（東京都）	p. 241
TX&流鉄ご当地キャラクタースタンプラリー	つくばエクスプレス（茨城県）・流鉄（千葉県）	p. 241
小田急箱根スタンプラリー	小田急電鉄（東京都・神奈川県）	p. 242
仮面ライダーゴースト映画公開記念 東京メトロスタンプラリー-2016	東京地下鉄（東京都）	p. 242
SAGASE！～記憶を呼び起こし 駅を探し出せ～	名古屋鉄道（愛知県）	p. 243
京王 電車スタンプラリー	京王電鉄（東京都）	p. 243
ニューシャトルスタンプラリー	埼玉新都市交通（埼玉県）	p. 244

ときわ路・ご当地キャラクタースタンプラリー

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 28 年 1 月 9 日（土）から 3 月 31 日（木）まで実施。

茨城県内の鉄道 4 社（JR 東日本、関東鉄道、ひたちなか海浜鉄道及び鹿島臨海鉄道）の共同企画。茨城県観光キャンペーン「気になるイバラキ」に合わせて実施し、各主要駅に設置したキャラクタースタンプを押印して応募すると、抽選で各市町村から提供の商品がプレゼントされる。



パンフレット



スタンプ

パンフレットと水戸駅及び大洗駅でのスタンプの印影例（出典：鹿島臨海鉄道）

ときわ路スタンプラリー

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成27年10月17日（土）から11月30日（月）まで実施。

茨城県内の鉄道5社（JR東日本、真岡鐵道、関東鐵道、ひたちなか海浜鐵道及び鹿島臨海鐵道）の共同企画。各主要駅に設置した専用スタンプを押印して応募すると、抽選で各社から提供の商品がプレゼントされる。



ときわ路スタンプラリーのパンフレット 及び 新鉾田駅でのスタンプの印影例（出典：鹿島臨海鐵道）

青い森鐵道提携施設スタンプラリー

〔青い森鐵道（青森県）〕

青い森鐵道は、4月25日（月）から12月28日（水）までの期間、提携施設と連携したスタンプラリーを実施している。

提携施設で当日有効な「青い森ホリデーフリーきっぷ」を提示するとスタンプが押してもらえ、このスタンプを3つ集めて応募すると、抽選で各提携施設からのお楽しみ品や青い森鐵道のオリジナルグッズがプレゼントされる。

提携施設は、「青い森ホリデーフリーきっぷ」を所持する利用者を対象に、割引や物品のサービス等といった特典を提供する施設を対象としている。



オリジナルグッズの例 及び スタンプの印影例（出典：青い森鐵道）

十和田観光電鉄×青い森鉄道×きまぐれ鉄道ぶらり旅 コレクションキャンペーン

〔十和田観光電鉄（青森県）・青い森鉄道（青森県）〕

平成 24 年 1 月 20 日（金）から 3 月 31 日（土）まで実施。

同年 4 月 1 日付けで廃線となった十和田観光電鉄線への感謝並びに「ありがとう 十和田観光電鉄線 連絡乗車券セット」の発売を記念し、携帯電話向けソーシャルゲーム「きまぐれ鉄道ぶらり旅」を運営するアイテック阪急神株株式会社、十和田観光電鉄株式会社及び青い森鉄道株式会社が連携し実施したキャンペーン。

指定の駅を巡って GPS 位置情報を送信することで、ゲーム内で利用できるキャンペーン限定車両アイテムや限定キャラクターアイテムを取得することができる。

指定の駅は、十和田観光電鉄の七百駅・十和田市駅・青い森鉄道の三沢駅・八戸駅。



ありがとう 十和田観光電鉄線 連絡乗車券セット（出典：青い森鉄道）

つなげて！全国“鉄道むすめ”巡り

〔株式会社トミーテック（栃木県）〕

平成 29 年 2 月 11 日（土）から平成 29 年 5 月 31 日（木）まで実施。

実在の鉄道事業者の制服を着たオリジナルキャラクターのコンテンツ「鉄道むすめ」を運営する株式会社トミーテックが、全国の鉄道事業者など合計 32 社と連携し実施したスタンプラリー企画（今回で 5 回目）。

「鉄道むすめ」キャラクターの特製スタンプが各地に設置され、スタンプにはそれぞれ他のスタンプとつながる線路が伸びており、これらをつなげるようにスタンプを押印することで、自分だけの「鉄道むすめ MAP」が完成する。



「つなげて！全国“鉄道むすめ”巡り」のポスター（出典：株式会社トミーテック）

6つの名言 東京メトロクイズラリー

[東京地下鉄（東京都）]

平成28年7月11日（月）から9月11日（日）まで実施

六本木ヒルズで開催される「ジブリの大博覧会」の開催に合わせ、スタジオジブリ長編映画作品の中から選ばれた名言を見つけ、クイズに答えるラリーイベント。

東京メトロ各駅に設置されているラックからチラシを入手し、対象駅に貼られたスタジオジブリプロデューサー鈴木敏夫氏直筆の名言ポスターを探して、チラシ裏の解答欄に「駅名」と作品の「名言」を解答する。6駅中3駅以上の「名言」を答えて、日比谷線六本木駅に設置する応募箱に投函すると、抽選で合計3,000名に「ジブリの大博覧会オリジナルクリアファイル～鈴木敏夫直筆名言入り」がプレゼントされる。

JR東日本 ポケモン謎解きラリー カラクリ王国を救え！

[JR東日本（東京都）]

平成28年7月23日（土）から8月21日（日）まで実施。

アニメ「ポケットモンスター」の映画「ポケモン・ザ・ムービーXY&Z『ボルケニオンと機巧のマギアナ』」と連携した謎解きラリーイベント。

首都圏の主要駅で配布している専用パンフレットを使い、STAGE Iの7駅を巡って謎を解き、合言葉とゴール駅を導き出す。ゴール駅と合言葉が正解していれば、オリジナルクリアファイルと次のステージの謎解きを楽しめる「STAGE II 謎解きブック」がプレゼントされる。更に、STAGE IIの謎を解きゴール駅に行くと「謎解き認定証」がプレゼントされる。

賞品は抽選ではなく、引換はゴール駅にて実施（なくなり次第終了）。

「劇場版アイカツスターズ！」西武線スタンプラリー

[西武鉄道（埼玉県）]

平成 28 年 7 月 1 日（金）から 8 月 31 日（水）まで実施。

アニメ「アイカツスターズ！」の映画「劇場版アイカツスターズ！」と連携したスタンプラリー。

期間中に西武線の各駅で「西武線スタンプラリー1日フリーきっぷ」を購入すると「ラリーシート引換券」が配布され、「ラリーシート引換券」をスタンプが設置されている 8 駅にて「ラリーシート（参加記念品の「オリジナルうちわ」付き）」に引き換えることができる。更に、キャラクタースタンプを 5 駅分以上集めると、達成賞として「オリジナルシール」がプレゼントされる。

賞品は抽選ではなく、引換はスタンプ設置駅にて実施（なくなり次第終了）。

「妖怪ウォッチ」2015 夏休み 西武線スタンプラリー

[西武鉄道（埼玉県）]

平成 27 年 7 月 18 日（土）から 9 月 23 日（水）まで実施。

アニメ「妖怪ウォッチ」と連携したスタンプラリー（昨年からの継続開催）。

期間中に西武線の各駅で「西武線スタンプラリー1日フリーきっぷ」を購入すると「ラリーシート引換券」が配布され、西武線の 10 駅に設置されているキャラクタースタンプを 5 駅分集めると、ステージクリア賞として、ファーストステージは『妖怪ウォッチ』西武鉄道オリジナルクリアファイル」を、セカンドステージはファーストステージクリア賞のクリアファイルに貼って遊ぶことのできる『妖怪ウォッチ』西武鉄道オリジナルシール」がプレゼントされる。

賞品は抽選ではなく、引換はスタンプ設置駅にて実施（なくなり次第終了）。

また、スタンプラリー開催期間中は、池袋線・新宿線で『妖怪ウォッチ』ラッピング電車が運行される。

JR 東日本 帰って来たぞ！ 我らのウルトラマンスタンプラリー

〔JR 東日本（東京都）〕

平成 28 年 1 月 12 日（火）から 2 月 26 日（金）まで実施。

同年、「ウルトラマンシリーズ」が放送開始から 50 周年を迎えることを受け、「ウルトラマン」「ウルトラセブン」「帰ってきたウルトラマン」「ウルトラマン A」「ウルトラマンタロウ」のヒーロー・怪獣・メカニックが登場するスタンプラリーを、円谷プロダクションと連携し実施。

JR 東日本の山手線エリアを中心とした 63 駅及び東京モノレール 2 駅の全 65 駅を対象とし、10 駅分のスタンプを集めてゴールすると、オリジナル賞品がプレゼントされる（なくなり次第終了）。

また、期間中は円谷プロダクション監修によるオリジナルグッズが販売されるほか、駅構内の飲食店と連携したオリジナルメニュー・駅弁の販売、特設会場での楽しみ企画が実施される。

TX&流鉄ご当地キャラクタースタンプラリー

〔つくばエクスプレス（茨城県）・流鉄（千葉県）〕

平成 28 年 7 月 16 日（土）から 9 月 25 日（日）まで実施。

つくばエクスプレス（TX）を運営する首都圏新都市鉄道株式会社と流鉄流山線を運営する流鉄株式会社の初めての合同企画であり、各沿線地域で親しまれている「ご当地キャラクター」を起用したスタンプラリー。

TX（23 駅）と流鉄流山線（4 駅）の合計 27 駅に、各地域にゆかりのある「ご当地キャラクター」がデザインされたスタンプ台が設置され、10 種類以上集めると、オリジナルクリアファイルがプレゼントされる（なくなり次第終了）。更に、全種類集めた場合はオリジナル 30cm 定規がプレゼントされる。

また、スタンプラリー開催期間中には、TX 及び流鉄流山線の両線において、ヘッドマーク付「ご当地キャラクター列車」がそれぞれ 1 編成ずつ運行される。



列車内の中吊りポスター（出典：つくばエクスプレス）

小田急箱根スタンプラリー

〔小田急電鉄（神奈川県）〕

平成 28 年 6 月 1 日から 9 月 30 日まで実施。

対象期間中に利用する箱根フリーバス又は小田急ロマンスカー特急券等を購入するともらえる「小田急箱根 夏の思い出クーポン」を用いるスタンプラリー。

沿線の 7 か所に設置された 6 種類のスタンプのうち 3 種類以上を集め、クーポン 22 ページの「引換券／アンケート用紙」に必要事項を記入しスタンプ台設置場所に持参すると、「藤子・F・不二雄キャラクター 特製ノート」がプレゼントされる（なくなり次第終了）。



© Fujiko-Pro

© Fujiko-Pro

スタンプラリーの概要 及び 賞品のノート（出典：小田急電鉄）

仮面ライダーゴースト映画公開記念 東京メトロスタンプラリー2016

〔東京地下鉄（東京都）〕

平成 28 年 7 月 16 日から 8 月 28 日まで実施。

映画「劇場版 仮面ライダーゴースト 100 の眼魂とゴースト運命の瞬間」と連携したスタンプラリー。仮面ライダーの生誕 45 周年を記念し、仮面ライダーゴーストのキャラクターのほか、歴代の全ての仮面ライダーたちがスタンプラリーに登場する。

東京メトロ各駅に設置されているラックから専用のスタンプ帳を入手し、東京メトロの 37 駅に設置されているスタンプのうち 6 駅のスタンプを集めると「劇場版 仮面ライダーゴースト」東京メトロオリジナルシールが、全 37 駅のスタンプを集めると東京メトロオリジナル全駅達成証カード（台紙付き）がプレゼントされる（なくなり次第終了）。更に、全駅を達成し W チャンス賞に応募すると、抽選で 102 名に賞品がプレゼントされる。

SAGASE!～記憶を呼び起こし 駅を探し出せ～

【名古屋鉄道（愛知県）】

平成28年4月29日（金）から5月8日（日）まで実施。

ゴールデンウィーク期間中の鉄道ファンを対象とした、提出された問題から駅を探し当てるイベント。

「まる乗り1DAYフリーきっぷ」又は「名鉄電車全線2DAYフリーきっぷ」を購入し、名古屋鉄道のホームページに掲載されている写真を手掛かりとして最初の駅へ向かい、同駅にて解答用紙を入手し掲出される問題を解くことで、次の駅を導き出し、これを繰り返しながらゴールを目指す。

同イベントでは、初級編・上級編の2種類があり、問題をクリアすると、オリジナルグッズや沿線施設への招待券がプレゼントされる。

京王 電車スタンプラリー

【京王電鉄（東京都）】

平成28年7月15日（金）から8月31日（水）まで実施。

夏休み期間中の家族連れを対象としたスタンプラリー。

「京王線・井の頭線一日乗車券」の発売を記念し、京王線・井の頭線のスタンプ設置駅（12駅）でスタンプ帳を入手し、全てのスタンプを集めると、オリジナルグッズがプレゼントされる（なくなり次第終了）。更に、全てのスタンプを集めた参加者の中から抽選で30名に、「けい太くんBIGぬいぐるみ」などの賞品がプレゼントされる。



専用のスタンプ帳

ニューシャトルスタンプラリー

〔埼玉新都市交通（埼玉県）〕

平成 28 年 7 月 20 日（水）から 8 月 31 日（水）まで実施。

夏休み期間中の家族連れを対象としたスタンプラリー。

「ニューシャトル 1 日フリー乗車券」又は「伊奈レンタサイクルきっぷ」を購入すると専用のスタンプ台帳が配布され、埼玉新都市交通伊奈線全駅のスタンプを集めると、もれなくニューシャトル限定記念品がプレゼントされる。

各駅のスタンプの図柄は、各駅のイメージパネルをスタンプ化したもの。



スタンプラリーの概要（出典：埼玉新都市交通）

ローカル線利用促進策一覧表

沿線ガイド編

「わ」の娘っこが沿線のお楽しみをナビゲーション	青い森鉄道（青森県）	…………… p. 245
沿線さんぽ	ひたちなか海浜鉄道（茨城県）	…………… p. 246
列車アテンダント	えちぜん鉄道（福井県）	…………… p. 246

青い森鉄道沿線ガイド ～「わ」の娘っこが沿線のお楽しみをナビゲーション～

〔青い森鉄道（青森県）〕

青い森鉄道では、沿線の女性（「わ」の娘っこ）が沿線の楽しみを紹介する沿線ガイドを作成し配布している。平成 25 年度に第 1 号、平成 26 年度に第 2 号、平成 27 年度には 5 つのモデルコースを紹介した FREE ツアーBOOK を発行している。沿線の紹介とともに、女性に焦点を合わせた斬新な作品となっている。



「わ」の娘っこが沿線のお楽しみをナビゲーション「青い森鉄道沿線ガイド」（出典：青い森鉄道）

沿線さんぽ (乗車特典サービス付)

[ひたちなか海浜鉄道 (茨城県)]

ひたちなか海浜鉄道では、乗車した方に発行される「乗車証明書」を店舗に提示することにより、各店のオリジナルサービスが受けられる乗車特典サービス付きの沿線ガイドを発行している。参加店とサービス内容は、Web で公開している。



乗車特典サービス付の沿線ガイド (出典：ひたちなか海浜鉄道)

列車アテンダント

[えちぜん鉄道 (福井県)]

安全確保と顧客サービスの一環として、女性アテンダントが乗車して乗客の案内等を実施している。昼間時間帯を中心に、20～30代のアテンダント計12名が、車内での切符の販売や高齢者の乗降補助などを行う。自らの体験を綴った「ローカル線ガールズ」も出版され、鉄道ファンの人気も高い。

ローカル線利用促進策一覧表

イベント(大人・一般)編

ワイン列車	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 247	大洗鹿島線開業30周年記念事業			
納涼ビール列車	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 248	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 254	
一番搾り樽酒列車	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 248	伊勢海老特急・お刺身列車コース			
アニメ「ガールズ&パンツァー」関連事業	鹿島臨海鉄道(青森県)	p. 240	いすみ鉄道(千葉県)	p. 254	
世界一楽しい片道切符2	ひたちなか海浜鉄道(茨城県)	p. 249	伊勢海老特急・イタリアンコース			
お化け屋敷電車	銚子電鉄(千葉県)	p. 250	いすみ鉄道(千葉県)	p. 255	
走る市場「産直列車 あおてつマルシェ」	青い森鉄道(青森県)	p. 250	スイーツ&ワイン列車 いすみ鉄道(千葉県)	p. 255	
グルメ列車	秋田内陸縦貫鉄道(秋田県)	p. 251	和菓子列車	いすみ鉄道(千葉県)	p. 256
新型車両展示会	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 251	寄席列車	山形鉄道(山形県)	p. 256
速度の速い観光列車	秋田内陸縦貫鉄道(秋田県)	p. 252	陶芸体験列車	山形鉄道(山形県)	p. 257
田んぼアートツアー2016	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 252	うたごえ列車	わたらせ渓谷鐵道(群馬県)	p. 257
生け花パフォーマンス	秋田内陸縦貫鉄道(秋田県)	p. 253	津軽弁「語り部」突演			
駅からハイキング	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 253	JR 東日本秋田支社・五能線(秋田県・青森県)	p. 258	
				津軽三味線生演奏			
				JR 東日本秋田支社・五能線(秋田県・青森県)	p. 258	
				菓車列車	梅見鉄道(岐阜県)	p. 259
				電車塗装体験	一畑電車(鳥取県)	p. 259
				グルメ列車	明知鉄道(岐阜県)	p. 260

ワイン列車

[鹿島臨海鉄道(茨城県)]

平成27年11月21日(土)に実施。

鹿島神宮駅-大洗駅間を往復運行し、車内ではボージョレ・ヌーヴォーと料理がふるまわれる。車内抽選会では、大洗鹿島線を育てる沿線市町会議提供の賞品がもれなく贈呈される。

参加費は、鹿島神宮駅からの乗車が5,000円、鹿島大野駅からの乗車が4,500円となる。

64名の募集を行い、参加者数は60名。

※大洗鹿島線を育てる沿線市町会議協賛。

※イベントの様子が茨城新聞(11月22日付朝刊)に掲載。



ワイン列車の車内の様子(出典:鹿島臨海鉄道)

納涼ビール列車

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 7 月 31 日（金）に実施。

水戸駅—新鉾田駅間を往復運行し、車内では料理がふるまわれ、ビールが飲み放題となる。車内抽選会ではもれなく商品が贈呈される。

参加費は、水戸駅からの乗車が 4,600 円、大洗駅からの乗車が 4,100 円となる。

64 名の募集を行い、参加者数は 65 名。

※イベントの様子が茨城県公式 YouTube アカウント「いばキラ TV」にて配信されるとともに、茨城新聞（8 月 14 日付朝刊）にも掲載。



「いばキラ TV」での配信の様子（出典：いばキラ TV・鹿島臨海鉄道）

一番搾り樽酒列車

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 28 年 2 月 19 日（金）に実施。

水戸駅—新鉾田駅間を往復運行し、車内では地元酒蔵の新酒と料理がふるまわれる。車内抽選会では、大洗鹿島線を育てる沿線市町会議提供の賞品がもれなく贈呈される。

参加費は、水戸駅からの乗車が 4,600 円、大洗駅からの乗車が 4,100 円となる。

64 名の募集を行い、参加者数は 55 名。

※大洗鹿島線を育てる沿線市町会議協賛。

※イベントの様子が茨城新聞（2 月 29 日付朝刊）に掲載。



一番搾り樽酒列車の車内の様子 及び 車内でふるまわれる料理の例（出典：鹿島臨海鉄道）

アニメ「ガールズ&パンツァー」関連事業

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 24 年及び 25 年に、大洗町を舞台としたテレビアニメ「ガールズ&パンツァー」が放送されたことを受け、アニメファン・視聴者の誘客を目的とした事業を展開。平成 27 年には映画化も行われた。

主な事業内容は、車両の専用ラッピング、関連グッズの展示・販売、入場券へのキャラクタースタンプの押印、記念セレモニーの開催である。鉄道だけでなく、大洗町内でのキャラクターパネルの設置等、町全体を挙げた取組が行われている。



車両ラッピングの例 及び 大洗駅での関連グッズ販売の様子（出典：鹿島臨海鉄道）

世界一楽しい片道切符 2（アニメタイアップ含む）

〔ひたちなか海浜鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 12 月 23 日～平成 28 年 3 月 31 日（当日有効）に、ひたちなか海浜鉄道と茨城交通とが合同で実施したもので、勝田→（同鉄道）→那珂湊→（茨城交通バス）→大洗と、その逆コースのいずれかを周遊できる乗継切符である。

人気アニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台である大洗町と、「お隣のまち」ひたちなか市を合わせて巡るという企画（主催：ガルパン応援団ひたちなか）で、企画目的以外でも利用可能。特典として記念グッズのプレゼント付き。



世界一楽しい片道切符 2（出典：ガルパン応援団ひたちなか）

お化け屋敷電車

【銚子電鉄（千葉県）】

銚子電鉄では、昨年日本で初めて運行した「走るお化け屋敷列車」を今年も運行する。

- ・ホラー活動を推奨する寺井広樹氏プロデュースにより、新しくシナリオを作成した。
- ・電車とは別に犬吠駅内にもお化け屋敷を設営し、乗車前にミッションをクリアしなければならない。
- ・お化け屋敷制作の老舗「丸山工芸社」が昨年引き続き協力する。
- ・銚子商業高校の生徒達もゾンビになって協力支援する。



お化け屋敷電車のポスター（出典：銚子電鉄）

走る市場「産直列車 あおてつマルシェ」

【青い森鉄道（青森県）】

青い森鉄道では、各駅の地元農家や商店の方々が産直品販売隊として車内販売を行う「産直列車」を運行する。

- ・今年で、4年目を迎える。
- ・年間5回の運行で、野菜収穫と畑レストラン、歌声列車と駅前食べ歩き等、沿線住民を主な対象としたイベントである。



あおてつマルシェのポスター（出典：青い森鉄道）

グルメ列車

〔秋田内陸縦貫鉄道（秋田県）〕

基幹産業化に向けて、沿線の主要産業である「農業」と観光を関連させたアグリツーリズム・グリーンツーリズムに着目。平成 18 年頃から「ごっつお玉手箱列車」を運行（年 6 回程度）。毎回テーマを設け、沿線の農家のお母さんたちが旬の料理を作って持ち寄り、列車に乗り込んで乗客に提供する企画。参加費は 6,900 円、イベント用のお座敷車両を使用。



グルメ列車に使用されるお座敷列車（出典：秋田内陸縦貫鉄道）

新型車両展示会（車内公開）

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 28 年 2 月 21 日（日）に実施。

新型車両の車内を一般に公開し、大洗鹿島線の PR を図る取組。大洗駅の 3 番線ホームにて実施し、来場者数は約 350 人。展示会と併せて、記念乗車券等の物販も実施した。



新型車両 8000 形の外観 及び 新型車両 8000 形の内観（出典：鹿島臨海鉄道）

速度の遅い観光列車

〔秋田内陸縦貫鉄道（秋田県）〕

里山の原風景が続く沿線の景観を「観光資源」と捉え、通常の倍近い時間をかけてゆっくり運行する「まほろば列車」を運行。時速 5km～30km の超低速運行列車で、通常の見落としてしまうような穴場スポット「まほろば」や、運転士おすすめポイントなどを見ながら進む。参加料金は 5,800 円、お座敷車両を使用。



使用車両のイメージ（出典：秋田内陸縦貫鉄道）

田んぼアートツアー2016

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 28 年 7 月 24 日（日）に実施。

水戸駅から大洗駅まで列車に乗車し、途中のビューポイントで徐行運転を行い、高架上の車窓から田んぼアートを鑑賞する。水戸市マスコットキャラクターである「みとちゃん」のヘッドマークを装着して、1 日に 3 本の運行を行う。大洗駅から常澄のイベント会場までは、シャトルバスを運行する。

※田んぼアートは水戸市主催、ツアーは大洗鹿島線を育てる沿線市町会議協賛。



田んぼアートツアー2016のチラシ（出典：水戸市）

生け花パフォーマンス

〔秋田内陸縦貫鉄道（秋田県）〕

平成24年10月、角館、鷹巣、阿仁合など主要駅構内で開催。マスコミで大きく取り上げられて好評を博し、女性対象の鉄道イベントが効果を上げることを実証した。仙北市角館は「みちのくの小京都」とも称される女性に人気の観光地であり、タイアップ効果も期待できる。



阿仁合駅の生け花パフォーマンス（出典：秋田内陸縦貫鉄道ブログ）

駅からハイキング（ウォーキング）

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

大洗鹿島線沿線の魅力発掘・認知度向上を目的とした取組。これまでに、常澄駅周辺、大洗駅周辺及び鹿島大野駅周辺にて開催された。

各ツアーとも、駅周辺の観光施設をめぐる内容となっており、事前予約制で参加費は無料である。



「大洗鹿島線に乗ってらりウォーク 2011（左）」「大洗鹿島線沿線ウォーキング in 水戸常澄（右）」のポスター

（出典：鹿島臨海鉄道）

大洗鹿島線開業 30 周年記念事業

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 3 月 14 日（土）に大洗鹿島線の開業 30 周年を迎えたことで、記念事業を展開。

主な事業内容は、開業 30 周年記念ロゴマークの制作並びに車両への掲出、大洗駅の正面玄関壁面への記念看板の掲出、記念乗車券及び記念グッズの製作・販売、大洗駅売店での謝恩セール開催である。

記念乗車券の料金は 1,000 円となり、内容は、湊沼駅—大洋駅間の硬券乗車券が大人・子ども用各 1 枚、湊沼駅普通入場券が 1 枚である。



大洗鹿島線開業 30 周年記念のロゴマーク 及び 記念グッズの例（出典：鹿島臨海鉄道）

伊勢海老特急・お刺身列車コース

〔いすみ鉄道（千葉県）〕

旧国鉄の動態保存車両等を利用した「レストラン列車」内にて、いすみ市の旅の宿『九十九里ヴィラそとぼう』の料理長が腕を振るった、地元の伊勢海老、アワビ、サザエ、そして房総半島独特の「なめろう」などを舟盛りのように豪快に盛り付けた料理を楽しむプラン。土曜日を中心に月 4 日程度実施。

料金は急行券付き 1 日フリー乗車券、お土産とセットで 2 名 1 組 30,000 円（子ども料金の設定なし／偶数名での申込が必要）。飲み物は、ビール・冷酒・ソフトドリンクが 1 名 2 本まで無料、別料金で追加も可能。申込はインターネットの JTB サイトからのみ。



お刺身列車のメニュー例（出典：いすみ鉄道）

伊勢海老特急・イタリアンコース

【いすみ鉄道（千葉県）】

旧国鉄の動態保存車両等を利用した「レストラン列車」内にて、茂原市のイタリアンレストラン『ペッシェ アズーロ〜青い魚〜』のシェフが、伊勢海老やアワビなど外房の素材を使用して腕を振るった、本格イタリアンランチを楽しむプラン。日曜日を中心に月4日程度実施。他に「お箸DEイタリアン」「Xmas イタリアンコース」も設定。

料金は急行券付き1日フリー乗車券、お土産とセットで1名16,000円（子ども料金の設定なし）。飲み物は、ウエルカムドリンクのほか赤、白ワイン、オレンジジュース、烏龍茶、炭酸水が無料、別料金で追加も可能。申込はインターネットのJTBサイトからのみ。



伊勢海老特急のメニュー例（出典：いすみ鉄道）

スイーツ&ワイン列車

【いすみ鉄道（千葉県）】

旧国鉄の動態保存車両等を利用した「レストラン列車」内にて、スイーツ又はチーズとワインを楽しむ。土休日に別途実施している「伊勢海老特急・イタリアンコース」の終了後に、月4日程度実施。内容は「シェフのおまかせスイーツとコーヒー又はワイン」「シェフのおまかせチーズとワイン」。追加の飲み物は別料金で提供する。

料金は乗車券・急行券とは別に1名1,000円（子ども料金の設定なし）。当日、現地受付（いすみ鉄道大原駅）のみで、事前予約は受け付けない。ただし空席があれば、発車後の車内でも受付可能。



「おまかせスイーツ」の例 及び 「おまかせチーズ」の例（出典：いすみ鉄道）

和菓子列車

【いすみ鉄道（千葉県）】

旧国鉄の動態保存車両等を利用した「レストラン列車」内にて、和菓子とぜんざいを楽しめる。土休日に別途実施している「伊勢海老特急・お刺身コース」の終了後に、月4日程度実施。内容は「おまかせ和菓子と手作り冷製ぜんざい」。追加の飲み物は別料金で提供する。

料金は乗車券・急行券とは別に1名1,000円（こども料金の設定なし）。当日、現地受付（いすみ鉄道大原駅）のみで、事前予約は受け付けない。ただし空席があれば、発車後の車内でも受付可能。



おまかせ和菓子と手作り冷製ぜんざいの例（出典：いすみ鉄道）

寄席列車

【山形鉄道（山形県）】

平成26年1月に実施。

「新春寄席と日本酒列車」として、地元を中心に活動する落語家を招き、列車内で新春寄席を開催。約2時間半で沿線を往復。1日乗り放題チケット、地元酒蔵の協力による5種類の地酒各1杯、小料理（焼き物、揚げ物、汁物、漬物など）付きで4,200円。他に飲食物の持込自由。



寄席列車の募集パンフレット（出典：山形鉄道）

陶芸体験列車

〔山形鉄道（山形県）〕

平成 23 年 2 月に実施。

山形鉄道に乗務するアテンダントの発案による企画イベント。沿線で活動する陶芸家グループのメンバーの協力を得て、列車内で陶芸体験を開催した。募集人数は最大 10 組 30 名、料金は土日フリー切符付きで 2000 円（親子 1 組、粘土 2 作品分）又は 3000 円（親子 1 組、粘土 2 作品分）。有料で粘土の追加も可能。また、同線のキャラクター「もっちゃん」のスタンプで作品に模様を付けることもできる。



陶芸体験列車の募集パンフレット（出典：山形鉄道）

うたごえ列車

〔わたらせ渓谷鐵道（群馬県）〕

アコーディオンの生演奏に合わせて、懐かしい唱歌や青春ソング 40 曲以上を大合唱する企画列車。初対面同士の参加者でも、車内はアットホームな雰囲気に包まれる。



うたごえ列車（出典：下野新聞社）

津軽弁「語り部」実演

〔JR 東日本秋田支社・五能線（秋田県・青森県）〕

五能線を走るリゾート列車「リゾートしらかみ」の陸奥鶴田駅～川部駅間で、津軽弁の「語り部」が乗車し、津軽に古くから伝わる昔話を、地元の言葉でやさしく語る。雄大な岩木山を望みながら、津軽弁の語りを楽しむことができる。実施日はリゾートしらかみ運転日の土日祝日等。



津軽弁の「語り部」（出典：JR 東日本秋田支社）

津軽三味線生演奏

〔JR 東日本秋田支社・五能線（秋田県・青森県）〕

五能線を走るリゾート列車「リゾートしらかみ」の鱒ヶ沢駅～五所川原駅間で、津軽三味線の生演奏を体験できる。独特の演奏に合わせて「津軽じょんがら節」などの代表的な民謡を演奏する。実施日はリゾートしらかみ運転日の毎日。



津軽三味線の生演奏（出典：JR 東日本秋田支社）

薬草列車

【樽見鉄道（岐阜県）】

初夏から秋にかけて、フキやヨモギの天ぷら、菜めしなど、山の幸をふんだんに味わえる「薬草弁当」のイベント列車を運転。大垣駅から終点の樽見駅まで、車窓に広がる根尾川や新緑の景色を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすことができる。



薬草弁当（出典：（一社）岐阜県観光連盟）

電車塗装体験

【一畑電車（島根県）】

電車の塗り替え時期に合わせて、塗装体験を開催。ボディ及び床下機器の一部の下塗り塗装を体験できる（下塗り塗装体験の後、仕上げ塗装は鉄道会社が行う）。募集人員は先着20～30名限定。参加費は1日フリー乗車券付きで1,500～3,000円（人数と参加費は実施回により異なる）。軍手と汚れても良い服装は各自で用意する。当日は駅構内の見学等も可能。



塗装体験の募集チラシ（出典：一畑電車）

ローカル線利用促進策一覧表

イベント(子ども・ファミリー)編

こども美術館	つくばエクスプレス(東京都・千葉県・茨城県)	p. 261
たなばた列車	神戸市営地下鉄(兵庫県)	p. 262
デュエマ列車	ひたちなか海浜鉄道(茨城県)	p. 262
クリスマス列車	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 263
こいのぼり列車	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 263
水族館フォト列車	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 264
鉄道マン体験学習	鹿島臨海鉄道(茨城県)	p. 264
一日機関士・車掌体験	大井川鐵道(静岡県)	p. 265
レールバス運転体験講習会	樽見鉄道(岐阜県)	p. 265
デハニ50形体験運転	一畑電車(島根県)	p. 266
かぶと虫列車	北条鉄道(兵庫県)	p. 266
サンタ列車	北条鉄道(兵庫県)	p. 267
運転体験イベント	明知鉄道(岐阜県)	p. 267

こども美術館

[つくばエクスプレス※(東京都・千葉県・茨城県)]

つくばエクスプレスは、7月1日(金)から7月31日(日)迄の期間、「こども美術館」を開催する。
このイベントは、小学6年生までの児童を対象に、専用の応募用紙に描いた絵を募集し、その作品をつくばエクスプレスの列車内や駅構内に展示するものである。応募作品と引換に、「TXオリジナルキーホルダー」をプレゼントする。



こども美術館列車 2016 作品募集ポスター (出典:つくばエクスプレス)

たなばた列車

【神戸市営地下鉄※（兵庫県）】

神戸市営地下鉄では、七夕をイメージした装飾に加え、沿線の幼稚園や保育所 24 か所に通う園児約 900 人が願い事を書いた短冊を車両に張り付けた「たなばた列車」を運行している。



たなばた列車

デュエマ列車

【ひたちなか海浜鉄道（茨城県）】

小中学生を中心に絶大な人気を誇るカードゲーム「デュエル・マスターズ」を、湊線の列車の中で好きなだけ遊べたら……という企画。ゲーム販売会社、アニメ版の制作会社も協力。

ひたちなか海浜鉄道の列車にゲームのキャラクターをラッピングした、通称「デュエマ列車」では、車内でゲームができるイベントも開催され、小中学生を中心に全国から 250 人あまりが参加する盛況となった。

クリスマス列車

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 12 月 16 日（水）から 12 月 26 日（土）まで実施。

クリスマスの時期に合わせて、車両（1 両）をクリスマス関連グッズで装飾した「クリスマス列車」を運行することで、季節感を演出し、学生や家族連れの誘客の促進を図る取組。



クリスマス列車の車内の様子（出典：鹿島臨海鉄道）

こいのぼり列車

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 4 月 24 日（金）から 5 月 7 日（木）まで実施。

5 月 5 日の端午の節句に合わせて、車両（1 両）に吹き流し、真鯉、緋鯉及びび子鯉のほか菖蒲の花を飾った「こいのぼり列車」を運行して、家族連れの誘客の促進を図る取組。



こいのぼり列車の車内の様子（出典：鹿島臨海鉄道）

水族館フォト列車

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 7 月 28 日（火）から 8 月 31 日（月）まで実施。
アクアワールド茨城県大洗水族館のラッピング車両（1 両）内に、同館から提供を受けた写真 46 枚を展示し、夏休み期間中の家族連れへの誘客の促進を図る取組。



水族館フォト列車の外観 及び 車内の様子（出典：鹿島臨海鉄道）

鉄道マン体験学習

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 8 月 26 日（水）に実施。
大洗駅—鹿島神宮駅間を往復する専用臨時列車を運行し、乗車マナー、運転士業務及び車掌業務などの体験学習を行う。
沿線の小学校の 4 年生から 6 年生までを対象とし、募集定員 30 名に対し 63 名の応募があり、参加者数は 28 名。
※大洗鹿島線を育てる沿線市町会議主催。
※体験学習の様子が茨城県公式 YouTube アカウント「いばキラ TV」にて配信されるとともに、茨城新聞（9 月 1 日付朝刊）にも掲載。



「いばキラ TV」での配信の様子 及び 体験学習の様子（出典：茨城県・茨城新聞）

一日機関士・車掌体験

【大井川鐵道（静岡県）】

子ども達が見習い乗務員として入門。SL（蒸気機関車）が動く仕組みや電車との違いなどの基本を学んだ後、車両区で実際に乗車するSLを見学、ハンマーを使って車両を点検する。次に「SLかわね路号」に乗車し、車掌の仕事として車内放送に挑戦。ほかにも、機関士の仕事としてSLの汽笛体験をしたり、駅員の仕事として切符切りに挑戦したりできる。料金は運賃、体験を含み、おとな7,800円、子ども・未就学児同額5,100円、見学（体験なし）1,950円。

レールバス運転体験講習会

【樽見鐵道（岐阜県）】

団体向けの運転体験講習会。所要時間はおよそ1時間で、本巣駅構内300m又は150mの区間を、15km/hで1回運転する。14名～20名程度の団体を対象に募集。料金は1名4,000円（300m）又は3,000円（150m）で、白手袋のプレゼントや制服・制服（上着）の貸出もある。このほか、名前入りオリジナル名札の製作サービスもある（別途1,000円、要事前申込）。応募資格は中学生以上（大人同伴であれば小学生以上可）。

樽見鐵道株式会社
レールバス運転体験講習会

指導機関士による模擬運転体験もご覧いただけます。
無記名乗車を体験し、たのびます。講習です。
ご自分の運転士番号を必ずお申し込みください。

150m運転コース 所要時間 20分
体験人数 団体のみ(10～30名程度)
料 金 およそ 3,000円(1回乗車時)
体 験 本巣駅(下交番線)又は本巣駅(上交番線)

300m運転コース 所要時間 30分
体験人数 団体のみ(10～30名程度)
料 金 およそ 4,000円(1回乗車時)
体 験 本巣駅(下交番線) ※社員貸付車使用

オプション
ご自分の名前入りのオリジナル名札
1,000円(2週間前のご注文) **無料** 樽見

※貸切列車 30,000円(本巣～樽見駅往復) ※要予約

お問い合わせ先【樽見鐵道】樽見鐵道 企画課 電話 0561-34-8039

運転体験講習会 募集パンフレット（出典：樽見鐵道）

デハニ 50 形体験運転

〔一畑電車（島根県）〕

日本最古級の電車「デハニ 50 形」の体験運転。車輛の構造、動く仕組み、運転操作などについての講習を受講した後、雲州平田駅構内に新設の体験運転専用コース約 120m を 2 回運転。経験者向けのマスターコースは体験運転のみで、約 120m を 4 回運転する。このほか、電車アテンダントのガイドで駅構内を見学できる。料金は 1 日コースで 13,000 円。



体験運転の募集バナー（出典：一畑電車）

かぶと虫列車

〔北条鉄道（兵庫県）〕

北条鉄道の「夏の風物詩」となっている人気企画。定期列車 4 往復に連結して運転。車内の天井や壁を木の葉や小枝で飾り付けて森のような雰囲気 연출し、車体にはかぶと虫のステッカーを貼り付け。乗客にはかぶと虫のつがいをプレゼントする。参加費は大人・小人とも 900 円。



かぶと虫列車の募集チラシ（出典：北条鉄道）

サンタ列車

[北条鉄道（兵庫県）]

兵庫教育大（加東市）の学生らがサンタ役、トナカイ役を務め、乗客と一緒に歌を歌ったり、プレゼントのお菓子を手渡したりして車内を盛り上げる企画。1989年に運転を始め、毎年冬に走る名物列車として定着している。通路に赤いじゅうたんを敷き、天井には長靴を飾るなど、クリスマスの雰囲気を盛り上げる装飾を施している。



サンタ列車（出典：北条鉄道）

運転体験イベント

[明知鉄道（岐阜県）]

明知鉄道主催の運転体験も年3回程度実施。料金は昼食付きで6,000円。事前講習（安全綱領、車両の構造、運転取扱説明）、昼食、検修庫見学、出区点検、指導運転士による見本運転、指導運転士がついての体験運転。対象は中学生以上で、未成年の場合は親権者の同意書が必要。



運転体験（出典：明知鉄道）

ローカル線利用促進策一覧表

地域連携編

中村駅まつり	土佐くろしお鉄道（高知県）	p. 268
列車型自動販売機	いすみ鉄道（千葉県）	p. 269
いすみ鉄道応援団	いすみ鉄道（千葉県）	p. 269
枕木応援団	北条鉄道（兵庫県）	p. 270
紙芝居列車（商工会議所との連携）	北条鉄道（兵庫県）	p. 270

中村駅まつり

〔土佐くろしお鉄道（高知県）〕

平成 27 年 9 月 26 日（土）に実施。

マイルール意識の醸成と地域における鉄道の必要性を改めて考えてもらうことを目的として、地元住民と関係団体（土佐くろしお鉄道株式会社及び高知県四万十市）が協力し「中村駅まつり」を開催。イベント当日は、中村線・宿毛線の料金を大人 100 円（小児半額）とし、地元飲食店の出店やお楽しみ抽選会、アンパンマン列車の撮影会などを実施。

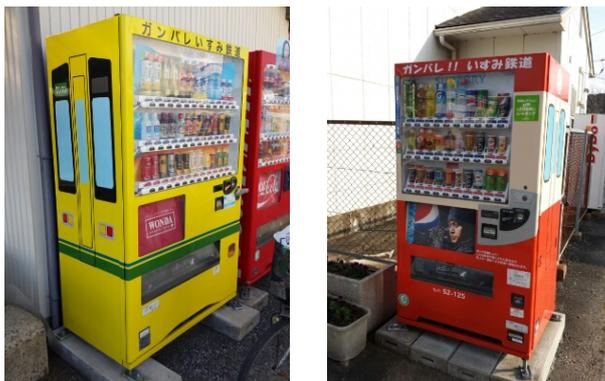


中村駅まつりのポスター（出典：土佐くろしお鉄道）

列車型自動販売機

【いすみ鉄道（千葉県）】

いすみ鉄道を走る列車を模した、飲料の自動販売機を設置。売上の数パーセントがいすみ鉄道に入るため、大きな収入源となっている。平成 22 年頃から設置を開始、いすみ鉄道を応援してくれる個人や商店の協力を得て、駅周辺のみならず、沿線に数十台以上の規模に成長した。将来的には、千葉市内や東京都内などの都市部への設置や、いすみ鉄道オリジナルパッケージのドリンク販売（設置台数 300 台以上で可能となる）も視野に入れている。



列車と同じカラーリングの自動販売機（出典：いすみ鉄道）

いすみ鉄道応援団

【いすみ鉄道（千葉県）】

平成 21 年、いすみ鉄道現社長の就任と同時に設立された、誰でも参加できるボランティア団体である。現在、100 余名を擁し、団員一人ひとりのアイデアを活かしながら、駅の整備やホーム脇の休耕田を活用した広場作り、国吉駅のボランティアガイドなどを通じて、乗客や観光客に憩いの場所を提供している。

国吉駅ホームに売店を開設し、ポップコーンやオリジナル駅弁、地元ならではの土産の販売等を行って、活動資金を自ら調達している。沿線に菜の花やひまわり、コスモスなどを植えて環境美化に努めるほか、いすみ鉄道車両を利用した貸切列車の運行や、駅での餅つきなどのイベントも適時開催している。



広場の草刈りの様子（出典：いすみ鉄道）

枕木応援団

[北条鉄道（兵庫県）]

安全運転を支える「枕木」への支援を訴求する企画。枕木 1 本 4,500 円の支援を募り、特典として「①枕木に名前やメッセージ入りのプレート設置」「②設置したプレートの写真プレゼント」「③北条鉄道フリーきっぷ 1 枚進呈」を付けている。設置期間は 3 年間で、北条鉄道のホームページから簡単に申込ができる。地域外からも申込可能。



北条鉄道を支える枕木の応援団員になってみませんか？

枕木応援団の募集バナー（出典：北条鉄道）

紙芝居列車（商工会議所との連携）

[北条鉄道（兵庫県）]

加西商工会議所が企画・運行した貸切列車。「ねっぴ〜」は加西市のゆるキャラで、車内では『ねっぴ〜紙芝居』や『ねっぴ〜クイズ』を行い、プレゼントも実施。普段は目にする機会の少ない『ねっぴ〜』も乗車した。定員は先着順で 60 名、参加費は 500 円（1 歳以上有料）で、オリジナルタオルとお菓子詰め合わせ（大人はお茶）付き。2 往復を運行。



加西市のゆるキャラ「ねっぴ〜」（出典：加西市商工会議所）

ローカル線利用促進策一覧表

高校生(イベント・協働)編

高校生最強カレー王選手権	青い森鉄道 (青森県)	p. 271
第1回全国高校生地方鉄道交流会	秋田内陸縦貫鉄道 (秋田県)	p. 272
高校生フォトコンテスト	JR 東日本・久留里線 (千葉県)	p. 272
久留里線夢づくりコンテスト	JR 東日本・久留里線 (千葉県)	p. 273
久留里線プロジェクト	JR 東日本・久留里線 (千葉県)	p. 273
クラウドファンディングによる車両修理費の調達	銚子電鉄 (千葉県)	p. 274
発車メロディーの制作	JR 東日本・横浜支社 (神奈川県)	p. 274
トレインフェスティバルへの参加	神戸電鉄 (兵庫県)	p. 275
第2回全国高校生地方鉄道交流会	いすみ鉄道 (千葉県)	p. 275
ミニギャラリーの開催	JR 西日本・姫新線 (兵庫県)	p. 276
手作り刺繍による列車装飾	流鉄 (千葉県)	p. 276

高校生最強カレー王選手権大会 in 青い森鉄道

[青い森鉄道 (青森県)]

高校生が主体となったまちづくり団体「あおり学生プロジェクト クリエイト」が、高校生カフェに加えて企画した青い森鉄道支援イベントである。青い森鉄道沿線の食材を活かしたカレーによる選手権で、7チームが参加し、当日は850名が来場した。



高校生最強カレー王選手権大会に参加し2位を受賞した野辺地高校家庭クラブ (出典: 青い森鉄道)

第1回全国高校生地方鉄道交流会（高校生イベント）

〔秋田内陸縦貫鉄道（秋田県）〕

酒井前社長の働きかけをきっかけに、成城中・高等学校（東京都世田谷区）鉄道研究部が中心となり設立。鉄道を中心に、地方と都会に住む高校生が互いの地域環境を理解し、住人の思いも共有し、見過ごしていることを指摘しあえる場として、平成24年8月に角館交流センターで開催。その後も交流が続く。



第1回全国高校生地方鉄道交流会の様子（出典：北秋田☆まちぶろく☆）

高校生フォトコンテスト（久留里線プロジェクト）

〔JR 東日本・久留里線（千葉県）〕

千葉商科大学人間社会学部が主催した、高校生対象のフォトコンテスト。沿線の木更津市、君津市、袖ヶ浦市や地元JA、商工会議所、JR 東日本等が後援している。なお、久留里線プロジェクトは同大学と県立袖ヶ浦高校の合同プロジェクトである。



最優秀賞（出典：久留里線プロジェクト）

久留里線夢づくりコンテスト（久留里線プロジェクト）

〔JR 東日本・久留里線（千葉県）〕

木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市に在住又は通学している高校生を対象としたコンテスト。地域に存在する次の2つの課題から一つを選んで、問題解決のための政策提案を行う。「A 利用者の減少が問題になっている久留里線の乗車人数増加策」「B 人口減少や高齢化の進行で地域経済の衰退が危惧されている久留里線沿線の活性化」。企画書を作成して応募する。その際、希望すれば大学の出張ゼミを月1回程度受講できる。



久留里線プロジェクトのバナー（出典：久留里線プロジェクト）

久留里線プロジェクト

〔JR 東日本・久留里線（千葉県）〕

県立袖ヶ浦高校では、千葉商科大学と合同で「久留里線プロジェクト」を立ち上げ、ホームページなどを通じて久留里線の魅力を発信することに努めている。



高校生が作成した Web サイト（出典：県立袖ヶ浦高校）

クラウドファンディングによる車両修理費の調達

【銚子電鉄（千葉県）】

千葉県立銚子商業高等学校の3年生のあるチームが「課題研究」という授業の中で行った、地元のローカル線（銚子電鉄）を応援するための活動。脱線事故で破損した車両の修理費について、高校生自らがインターネットを通じて支援を募り、目標額300万円に対し480万円以上の寄附を集めた。この資金を銚子電鉄に活用してもらうことで、車両の修理・再生が実現した。

自分で修理や点検を行うことはできなくても、「もう一度この車両に走ってほしい」という強い意欲を持ち、資金集めを通じて、日常生活に不可欠の存在である銚子電鉄の支援を行った事例。寄附額に応じて、高校生からのサンクスレターや地元の商品券、銚子電鉄のフリー切符、車両への広告掲出などの謝礼を出した。



修復された銚子電鉄の電車

発車メロディーの制作

【JR 東日本横浜支社（神奈川県）】

川崎市と JR 東日本横浜支社は、川崎市立商業高等学校生徒による「高校生の力で地域を活性化する」をテーマとした“音で地域を活性化する”取組に対して、その熱意と想いに応え、相互に連携協力して、川崎駅南武線ホーム発車メロディを「川崎市歌」に変更することを決定した。楽曲のアレンジは生徒たち自らがしており、一般的な市歌が持つ重厚で厳かなイメージを払拭するような明るく軽妙な仕上がりとなっている。

トレンフェスティバルへの参加

〔神戸電鉄（兵庫県）〕

神戸電鉄が開催する「神鉄トレンフェスティバル 2016」において、地元・小野高校生手作りの「しんちゃんパン」「ハッピートレンケーキ」の限定販売を実施。ハッピートレンケーキは、高校生が山田錦米の米粉 100%にこだわり、粟生線活性化・地域 PR のために考案したパウンドケーキである。



小野高校のメンバー（左）とオリジナルパン（右）（出典：神戸電鉄）

第2回全国高校生地方鉄道交流会（高校生イベント）

〔いすみ鉄道（千葉県）〕

「第2回全国高校生地方鉄道交流会」は大多喜町で開催。いすみ鉄道を研究材料に取り上げ、高校生が沿線を調べた上で活性化案を発表した。東京の成城、岩倉、安田学園の約80名に加え、地元の県立大多喜高校の生徒も合流して意見交換した。

活性化案では「車内アナウンスができる権利を出資者に与える」「接続の悪さを逆に強みとして駅で足湯などを仕掛ける」「車内にテレビを設置し待ち時間に沿線情報を伝える」などの発表があった。

ミニギャラリーの開催

[JR 西日本・姫新線（兵庫県）]

姫新線利用促進・活性化同盟会と JR 西日本では、10 月 14 日の「鉄道の日」の時期にちなみ、多くの人たちに姫新線及び沿線の魅力を知ってもらい、姫新線がいつそう親しみやすい路線となるよう、「2015 年秋 姫新線の魅力、“彩” 発見」と銘打ち、「姫新線駅舎が沿線高校生のミニギャラリーに！～姫新線駅舎へのアート設置～」を実施した。



JR 姫新線（出典：姫新線利用促進・活性化同盟会）

手作り刺繍による列車装飾

[流鉄（千葉県）]

流山南高校家庭科部は、日頃の感謝の気持ちをこめて地域の活性化に貢献しようと、ローカル線・流鉄の車両広告スペースに飾る刺繍（ししゅう）作品を制作、横幅 50 センチの約 100 枚を、車両「流星」に掲出した。制作期間は秋にスタートして 5 月まで。部員 3 名では手が足りずに臨時部員を募集、計 106 人が協力した。

ローカル線利用促進策一覧表

二次交通との連携編

シャトルバスの運行	ひたちなか海浜鉄道（茨城県） p. 277
コミュニティバスとの連携	三岐鉄道（三重県） p. 278
サイクルトレイン	長良川鉄道（岐阜県） p. 278
サイクルバス	三岐鉄道（三重県） p. 279
サイクル&ライド	三岐鉄道（三重県） p. 279
パーク&ライド	三岐鉄道（三重県） p. 280
パーク&ライド	ひたちなか海浜鉄道（茨城県） p. 280
サイクルトレイン	近江鉄道（滋賀県） p. 281

シャトルバスの運行（イベント対応）

〔ひたちなか海浜鉄道（茨城県）〕

国営ひたち海浜公園のネモフィラ開花イベント「ネモフィラハーモニー」の開催に合わせ、阿字ヶ浦駅—ひたち海浜公園間にシャトルバスを運行（他にロックフェスティバル開催時等も運行）。各列車に接続して所要時間約10分、渋滞や時間のロスなく公園までアクセスできる。



シャトルバスの起点となる阿字ヶ浦駅（出典：ひたちなか海浜鉄道）

コミュニティバスとの連携

[三岐鉄道（三重県）]

平成 17 年から運行を開始した東員町オレンジバス（コミュニティバス）と東員駅で接続し、連携している。このコミュニティバスは、三岐鉄道のバス部門や地元がバックアップすることにより、北勢線利用促進に向けた体制が整備されている。



東員町オレンジバス（出典：東員町）

サイクルトレイン

[長良川鉄道（岐阜県）]

土日祭日の列車で、自転車の持込みサービス（サイクルトレイン）を実施している。



長良川鉄道のサイクルトレイン（出典：長良川鉄道）

サイクルパス

[三岐鉄道（三重県）]

昼間時間帯の利用増に向け、自転車の列車内への無料持ち込みを可能とする制度。三岐線沿線にはサイクリングコースや観光地が点在するが、駅から離れているため鉄道利用は少なかった。そこで、平成 5 年に北勢中央公園が整備されたのを機に、起点の近鉄富田駅を除く全駅でサイクルパスを導入。

9 時～16 時の指定列車で、先頭車両に自転車を持ち込める。その後、曜日や区間を順次拡大。年間利用者数は、平成 13 年の 1,957 人から、平成 19 年度には 3,867 人まで拡大している。



三岐鉄道のサイクルパス（出典：三岐鉄道）

サイクル&ライド

[三岐鉄道（三重県）]

サイクル&ライドは、昭和 46 年に三岐線暁学園前駅に駐輪場を整備したのが最初である。収容台数は三岐線約 1,500 台、北勢線約 900 台、合計 2,400 台で、平均利用率はほぼ 100%である。

P = 無料駐車場・駐輪場設置駅
S = 駅員のいる駅

▲駅の情報▲▲さつぷの情報▲

三岐線	近鉄富田	大矢	平津	暁園	山前	保城	北勢中央公園	梅井	大井	三丹	伊勢生	東治	西原	西野	西藤
			P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S

(近鉄富田駅のご案内) 三岐線は、近鉄富田駅3番ホームより発着します。

北勢線	西桑	馬道	西別	蓮花	在良	星川	七和	穴太	東員	大泉	榑原	麻生	阿喜
				P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
	S					S			S		S		S

(西桑名駅のご案内) 北勢線は、JR/近鉄桑名駅改札口より約200M西にある西桑名駅より発着します。

三岐鉄道の駐車場・駐輪場案内図（出典：三岐鉄道）

パーク&ライド

[三岐鉄道（三重県）]

パーク&ライドは、昭和57年に三岐線保々駅で開始されたのが最初である。収容台数は三岐線約800台、北勢線約400台、合計1,200台の規模に上り、平均利用率も80～90%と高い。

パーク&ライド（歳末の渋滞緩和）

[ひたちなか海浜鉄道（茨城県）]

平成27年12月30日（水）・31日（水）には、那珂湊駅から徒歩10分の「那珂湊おさかな市場」周辺における歳末の渋滞緩和を図るため、金上駅前に臨時無料駐車場を設置し、パークアンドライドを実施。

駐車場利用時間は8時～16時、また金上駅～那珂湊駅間を1枚で5名まで乗車可能な特別往復切符も販売。通常、往復1名520円のところ、5名まで利用可能で1,000円（最大1,600円割引）。また利用者には那珂湊駅にてキャリーカートを貸出（無料）。おさかな市場で使える特典付き。

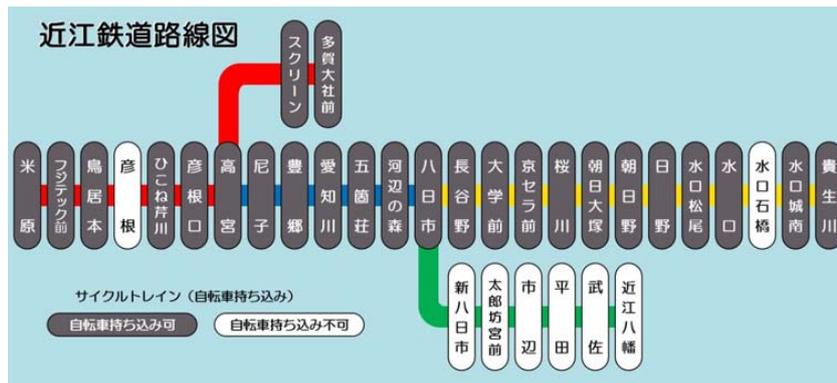


那珂湊おさかな市場のWebサイト（出典：那珂湊おさかな市場HP）

サイクルトレイン

[近江鉄道（滋賀県）]

電車内への自転車の持ち込みが可能なサイクルトレインを実施。持ち込み料無料（運賃のみ）で自転車を持ち込むことができる。持込可能区間は、利用客の多い一部駅・区間を除く全線。利用日は年末年始を除く毎日、利用時間は平日9時～16時、土日祝日は終日で、時間内の全ての列車で利用できる。自転車を持ち込む場合は、後部車両に乗車する。



サイクルトレインの利用区間（出典：近江鉄道）

ローカル線利用促進策一覧表

ダイヤ改正編

飲酒運転撲滅キャンペーン列車	松浦鉄道（長崎県・佐賀県）	…………… p. 282
貨物線臨時旅客列車運行	鹿島臨海鉄道（茨城県）	…………… p. 283

飲酒運転撲滅キャンペーン列車

〔松浦鉄道（長崎県・佐賀県）〕

12月の毎週末に実施。

飲酒運転ゼロを目標として、「飲酒運転撲滅キャンペーン列車」という企画列車を運行。佐世保中央駅を深夜12時に発車する佐々駅行きの普通列車で、「シンデレラエクスプレス」と称されている。運賃は普通運賃（佐世保中央駅—佐々駅間で550円）であり、大都市圏以外でのこのような列車の設定は珍しい。

飲酒運転撲滅キャンペーン列車
(09562343746)
佐世保中央駅0時00分発
シンデレラエクスプレス運行!
 飲んだらMR

運転日 12月
 2日(金)・3日(土)
 9日(金)・10日(土)
 16日(金)・17日(土)
 22日(木)・23日(金)・24日(土)

—運行区間及び各駅発時間—
 佐世保中央 佐世保 中保 北保 山保 泉保 左保 野保 皆保 中保 本保 上保 大保 相保 榎保 真保 小佐

23:57 0:00 0:01 0:05 0:07 0:10 0:12 0:15 0:16 0:19 0:21 0:23 0:25 0:28 0:30 0:32 0:35 0:37

*佐世保—佐々駅間の片道のみ、各駅停車での運転です。
 *臨時列車となりますが、運賃は、普通運賃のみでご利用いただけます。(長崎スマートカード利用可)

運賃料でなくても乗車料が松浦鉄道を
 利用して楽しい旅を駆け足しましょう

お問い合わせは… 佐世保駅(営業時間9:00~18:00)
 TEL:0956-25-2229

松浦鉄道

飲酒運転撲滅キャンペーン列車のポスター（出典：松浦鉄道）

貨物線臨時旅客列車運行（鹿島臨港線）

〔鹿島臨海鉄道（茨城県）〕

平成 27 年 10 月 24 日（土）に実施。

鹿嶋まつりの開催に合わせて、貨物線である鹿島臨港線（鹿島サッカースタジアム駅—神栖駅間）に、2 両編成で 1 往復運行を実施。

また、カシマサッカースタジアムで開催のまつり会場で、鉄道古物やガルパン関係グッズなどの出張物販も行った。

運賃は、大人 500 円、小人 250 円となる。



臨時旅客列車の運行の様子（出典：鹿島臨海鉄道）

第5章 先進的なローカル線における 取組状況

1 青い森鉄道（青森県）

（1）概要

運営会社：青い森鉄道株式会社（青森市篠田 1 丁目 6-2）
全長 121.9km、駅数 27 駅、複線区間：目時駅～青森信号場間、電化区間：全線電化（交流 20,000V）

- ・青い森鉄道は、が東北新幹線の延伸に伴い JR 東北本線が第三セクターに移管されたもので、平成 14 年に目時～八戸間が、平成 22 年に八戸～青森間が開業した。
- ・路線の運営は「上下分離方式」を採用。これは、鉄道の車両（上）を青い森鉄道株式会社が保有して旅客輸送を行い、鉄道のレール・駅舎・ホーム等の施設及び鉄道設備（下）を青森県が保守管理する方式である。
- ・旧 JR 東北本線の第三セクター転換区間のうち、青森県内を青い森鉄道が、岩手県内を IGR いわて銀河鉄道株式会社（盛岡～目時間、以下 IGR いわて銀河鉄道）が受け持っており、直通運転も行っている。
- ・青い森鉄道は、他に JR 大湊線、JR 八戸線との直通運転も行っている。



青い森鉄道本社



青い森鉄道の電車

（2）来歴

明治 24 年	日本鉄道により目時（当時未開業）～青森間開業
明治 39 年	日本鉄道が国有化
昭和 62 年	国鉄分割・民営化に伴い、JR 東日本に継承
平成 2 年	政府・与党申合わせにより、並行在来線の経営分離に関する事前確認が条件化される
平成 3 年	沿線市町村と協議の上、青森県知事から運輸省鉄道局長に対し八戸以南の経営分離への同意を回答
平成 10 年	八戸以北の沿線市町村と協議の上、八戸以南と同様に経営分離への同意を回答 東北新幹線、新青森までのフル規格着工が決定
平成 13 年	青い森鉄道株式会社設立
平成 14 年	東北新幹線の八戸延伸に伴い、目時～八戸間開業
平成 22 年	東北新幹線の新青森延伸に伴い、八戸～青森間開業

①-2 学トクホリデーフリーきっぷ

中学生・高校生専用、通常の「青い森ホリデーフリーきっぷ」の半額で「学トクホリデーフリーきっぷ」を販売している。内容は青い森ホリデーフリーきっぷと同様で、価格は半額の1,030円に設定している。第三セクターの青い森鉄道はJRに比べ運賃が高額なため、小遣いの少ない中高生の利用促進に向けて設定。三沢～青森間の旅客数が増加するなど、県内に新たな旅客流動を生み出した。



「学トクホリデーフリーきっぷ」
チラシ

②企画切符

②-1 ラビナお買い物きっぷ

青い森鉄道では、乗車目的に合わせた切符を販売し、リピーターの確保に努めている。その一つが、各駅から青森駅までの往復乗車券と、青森駅前のショッピングセンター「ラビナ」の買い物券2,000円をセットした「ラビナお買い物きっぷ」である。区間によって異なるが、最大32%の割引となる。例として、野辺地駅から利用した場合、往復運賃2,080円＋お買い物2,000円＝4,080円のところ3,340円となり、740円（18%）の割引となる。発売開始から5年を経てもなお好評で、平日の新規顧客の開拓に貢献しており、固定客の獲得にもつながっている。



ラビナ（左）と青森駅

②-2 浅虫温泉あさ風呂きっぷ

乗車券と浅虫温泉の入浴・朝食券をセットにした切符である。青森～野内間各駅（おおむね青森市街地に相当）と浅虫温泉駅の往復乗車券と、浅虫温泉の有名旅館である南部屋海扇閣の入浴、和洋朝食バイキングがセットになっている。価格は、青森駅発着の場合で1,950円（同区間の往復運賃は900円）に設定している。浅虫温泉駅着6:01～7:56着の列車限定で利用可能。他のフリー切符と異なり、無人駅から乗車の場合、到着駅の浅虫温泉駅（ただし6:45着以降の列車限定）でも購入できる。最近では知名度が向上し、地元の高齢者等、リピーターも増加している。

③定期券

③-1 通学片道定期券

朝は車で送ってもらい、帰りだけ電車を利用したいといった場合に便利な「通学片道定期券」を販売している。青森県は雪国ということもあり、高校生を車で送迎するケースが比較的多い。その場合、朝は親の通勤と時間が合うが、帰りは時間が合わないため電車を利用したいといった需要に応えるための施策である。区間によっては電車よりバスの方が便数が多く、運賃も安い場合があるため、そうした区間でバスへの逸走を防止するための施策でもある。



通学客らでにぎわう電車

青い森鉄道は、いわゆる「イベント列車」用の車両を所有していないため、定期列車の後1両を使用し、各駅から販売員が乗り込んで車内販売を行うほか、歌声列車やバトントワリングなどの企画も開催している。現在、参加者は地元住民が中心で、地域における鉄道の利用機会の創出には一定の効果を上げていると考えられる。

* 地元 NPO 法人を母体とする旅行会社で、営利のみでなく地域活性化に重点を置いた旅行商品の開発・運営等を手がける。

⑥高校生最強カレー王選手権（平成 25 年度実施）

高校生が主体となったまちづくり団体「あおもり学生プロジェクト クリエイト」が、既に開設していた「高校生カフェ」に加えて企画した青い森鉄道支援イベントである。沿線の食材を活かしたカレーによる選手権で、7 チームが参加し、当日は 850 名が来場した。

青い森鉄道は「特別後援」として参画し、参加者が食材探しをするための 2 回にわたる沿線視察に際しフリー切符を無償提供したほか、社長が審査委員長を務めるなどの協力を行った。当初、500 名の参加を目標としていたが、実際には 850 名の参加があり、メディアでも取り上げられるなど、青い森鉄道の知名度向上や、高校生に対する利用のきっかけ作りに大きな効果があった。



高校生最強カレー王選手権

⑦ロゴ・キャラクターの設定

利用者に親しみやすさを持ってもらうため、青い森鉄道のロゴ・キャラクターを設定している。青森開業時に際し、ロゴ・キャラクターを設定しようという機運が高まり、公募により設定した。

ロゴ・キャラクターは電車の車体にラッピング等により表示したほか、同時に採用した新制服では制帽やネクタイ等にあしらうなど、多面的な展開を行っている。また、キャラクターの着ぐるみを 2 体用意し、青森の伝統行事であるねぶた祭で、企業 PR 等を中心とする「前ねぶた」にも参加している。

設定によりマスコミへの露出が増え、特に JR から第三セクターへの移行を周知する上で、非常に効果的であった。キャラクター「モーリー」は、青い森鉄道の象徴として、県内では定着している。



電車にラッピングされたロゴ（中央）
とキャラクター

①フリー切符等に関して

Q 1

様々なフリー切符等を販売されていますが、フリー切符等に対する考え方（期待）とその実績について教えてください。

A 1

（全般）

- ・青い森鉄道は通勤通学輸送が主であるので、例えばいすみ鉄道（千葉県）のような観光に主眼を置いた取組は難しい。
- ・普通運賃は JR 時代に比べ 37% のアップとなっている。当然、運賃上昇を敬遠する利用者もいるので、収益性だけで判断するのは必ずしも好ましくなく、施策で判断すべきと考える。空の電車を運転するよりは、企画切符で乗客を集める方がよほど望ましい。
- ・フリー切符等は、価格を抑えているため経営上の収益という面では辛いですが、鉄道利用促進の面では効果が高いと考えている。
- ・全線開業から 5 年経過し、その間、沿線人口が減少する中で、定期外収入は横ばい又は微増となっている。これには、フリー切符等の効果もあると考えられる。
- ・通勤通学輸送が圧倒的に多い中、企画切符等が一定の収入源になっている。窓口でも販売の工夫を重ねており、それにより相応の乗客が確保できていると前向きに捉えている。
- ・フリー切符等の提携施設は、社員が足を使って開拓している。



青森県 企画政策部
青い森鉄道対策室
室長 橋本 恭男氏

（青い森ホリデーフリーきっぷ）

- ・青い森ホリデーフリーきっぷは、年間 4 万 3,000 枚の販売実績がある。「片道で元が取れる」と宣伝し、販売している。利用者には十分に浸透しており、青森～八戸をこの切符で往復する人もいる。
- ・地元密着の鉄道会社として、利用者に身近に感じてもらうためにも、当初からフリー切符は必須の施策と考えていた。
- ・当初は、開業記念の「お試し価格」として、JR 運賃並の「2 日間 1,500 円」で販売した。センベイやヒバを材料とする切符を作り、話題作りにも一役買った。
- ・JR のホリデーフリー切符は、2,400 円でほぼ全県で使用できる。黙って見ているのはこれに押されてしまうので、青い森鉄道に特化し、乗客のニーズに合わせる形で、2,060 円という戦略的な価格を打ち出した。

- ・JRの場合、青森から八戸まで新幹線で往復しても約6,000円である。これに対し、価格面でアドバンテージを持たせ、時間で大きく勝る新幹線にも対抗しうる設定とした。
- ・特典に関しては、沿線施設と提携して設定している。



青い森鉄道 企画営業部営業課
副課長 長瀬 勇一氏

(学トクホリデーフリーきっぷ)

- ・学トクホリデーフリーきっぷは、IGRいわて銀河鉄道の中学生割引を参考に開発した。
- ・特に中学生は小遣いが少ないので、その範囲内で遠くへ出掛けられるように考えた。
- ・従来は、往復割引切符があったが、より自由に行動範囲を広げられるよう、フリー切符へと発展させた。
- ・例えば、三沢市の中高生は以前なら八戸に出掛けていたが、フリー切符により青森まで足を伸ばすようになり、三沢～青森の流動増につながっている。また、上北町駅等の中学生が青森市内の学習塾に通うケースも増えてきた。このように、フリー切符により県内に新たな旅客流動が生まれた。
- ・最近では、こうした傾向が高校生にも拡大している。

(ラビナお買い物きっぷ)

- ・IGRいわて銀河鉄道の同種の企画切符を参考に開発した。
- ・最近では固定客がつかめるようになり、発売から5年で効果が表れてきた。
- ・青森発の設定があるのが特徴で、青森から八戸まで所用で往復し、その後買い物をして帰る、といったニーズにも応えている。
- ・平日の運賃収入に対する貢献度が高い。
- ・新規利用者の開拓にも効果がある。

(浅虫温泉あさ風呂きっぷ)

- ・京浜急行電鉄（東京都）の「みさきまぐろきっぷ」を参考に開発した。関東出身の若手社員のアイデアである。
- ・浅虫温泉の老舗旅館が打ち出した企画に、+αの付加価値を乗せて設定した。
- ・販売面ではいまひとつだが、最近では知名度が向上し、リピーターも増えてきた。地元の高齢者が「ちょっと贅沢」をしようというときに利用するケースが多い。地元の高齢者に対する電車利用の動機付けにもなっている。
- ・今後のバリエーション展開についても、検討する時期に入ったと考えている。

(通学片道定期券)

- ・大都市圏などでは限定的だが、青森県は雪国ということもあり、高校生を親の車で送迎するのは比較的一般的である。そうした地域特性が前提になっている。

- ・朝は親の出勤と時間が合うので車で送ってもらうが、帰りは時間が合わないので電車で帰りたい、というニーズに応える商品である。
- ・区間によっては、運転本数・運賃ともバスに負けている。特に青森市内など、バスの利便性が高い地域において、バスへの逸走を防ぐ上で重要な施策である。

(シニア寿定期券)

- ・従来販売していた「シニアフリー定期券」の代替商品である。
- ・例えば、青森市内から浅虫温泉の旅館に通うパート従業員なども想定している。
- ・高齢者向けの商品は、運転免許証返上等の流れともリンクしており、社会情勢上も必要な施策と考えている。

Q 2

販売に当たっては、どのような協議を経て販売を決定されるのでしょうか。

A 2

- ・営業課を中心として社内で検討を行い、上層部に上げて決定する。
- ・収入を確保するためには、定期券からの逸走を防ぐ必要もあり、ぎりぎりの価格設定である。

Q 3

フリー切符を販売するに当たって、事前承認や届出は必要でしょうか。

A 3

- ・規制緩和の流れがあり、国土交通省への事前申請等は不要である。
- ・運賃、割引率などの資料を揃えて届出を行えば済む。
- ・ただし、JR や IGR いわて銀河鉄道等とは、相互に事前連絡（通達）を欠かさないよう留意している。これは、他社の窓口等への周知が徹底されず、利用者に迷惑が掛かるのを防ぐためである。例えば、青森駅や盛岡駅には自社改札がないので、JR 駅員にも周知を図っておく必要がある。

Q 4

フリー切符の販売により、青い森鉄道の認知度は上がったと思われますか。

A 4

- ・フリー切符のように、地元利用者の利便性を向上させ、乗ってもらうための施策は必須と考える。
- ・認知度が必ずしも高くないので、待っているだけではだめ。そのため、フリー切符のコンビニ販売を実施している。コンビニのマルチ端末から発券される切符を、そのまま利用できる。

- ・こうした施策には、若手社員の柔軟なアイデアが多く生かされている。また、チラシのアイデアも若手の営業職員が考案したものを採用した。

Q 5

今後も、新たな利用者ニーズを把握しながら、様々なフリー切符を販売していくお考えですか。

A 5

- ・フリー切符は、多すぎても混乱を招く。駅係員が販売に当たって混乱しないよう、シンプルかつ効率のよい商品構成を考えていきたい。
- ・よりの確に利用者のニーズを捉えるには、増やすより「磨く」ことだと考えている。今後も、現行のフリー切符が利用者により浸透し、使ってもらえるようにしていきたい。

②「わ」の娘っこが紹介する「青い森鉄道沿線ガイド」などに関して

Q 1

高校生等、若者を登場させる企画は、どのような経緯で実施されたのですか。

A 1

(経緯)

- ・発端は、従来の発想を脱した「ゆるいPR戦略」を展開しようと考えた企画である。
- ・南魚沼市発行の観光ポスターにヒントを得て企画した。
- ・定期外需用の発掘に主眼を置いた、情報発信のための施策である。
- ・地元をよく知っていて、一緒に青森をPRしてくれる若い人材を集めたいと考えた。
- ・地域密着で、いわゆるタレントではない人材を採用したかった。女性の職業はバラバラで、高校生、役場職員、主婦、団体職員など多様である。主に役場や観光関連からの紹介等によって採用している。
- ・専属ではなくほぼボランティアで、報酬も弁当代程度のわずかな金額である。
- ・広報誌の発行を含め、費用は県が負担している。

(効果)

- ・効果の数値化は難しいが、地元の若者が参加することで、周囲の人たちをはじめ地元全体が盛り上げてくれる雰囲気が醸成される。
- ・平成27年度に発行した「青い森鉄道 FREE ツアーBOOK」では、実際に青い森鉄道を使って巡れるモデルコースを掲載した。また、「青い森ホリデーフリーきっぷ」の特典として限定配付することで、販促につながっている。



青森県 企画政策部
青い森鉄道対策室 企画担当
グループマネージャー
総括主幹 佐藤 宏氏

Q 2

高校生と連携するためには、高校等と協議し、承認を得る必要がありましたか。

A 2

- ・高校との協議・承認等は特になく、本人の承諾のみである。
- ・趣旨を説明して「やってくれる」と答えてくれた人を採用している。

Q 3

沿線ガイドの内容は、若者自身が考えたものですか、それとも、話し合い等で決定したものですか。

A 3

- ・若者自身が考えた内容も含まれている。
- ・全体としては、実際に青い森鉄道を使って巡れる行程を考慮している。

Q 4

参加した若者は、どのような反応でしたか。今後も、青い森鉄道のPRに参加したいと言っていましたか。

A 4

- ・参加者の笑顔もだんだん自然になっていくなど、制作進行は良好であった。
- ・冊子のほか、「青い森鉄道まつり」といったイベントや県の広報番組への出演も依頼しており、継続的に参加してくれる人もいる。

③あおてつマルシェに関して

Q 1

産直列車をはじめユニークな企画が多数ありますが、実施に至る経緯について教えてください。

A 1

(企画)

- ・定期外の利用促進策として企画した。
- ・県外からの集客は、新幹線が中心となっており難しいため、地元客を主要ターゲットとした。
- ・鉄道を単なる利用手段として捉えるのではなく、乗るだけで楽しめる存在にできるように考えた。

- ・沿線の地域資源を活用した多数の着地型旅行商品造成の実績を持つ地元の旅行会社（地域活性化を目的とする NPO 法人が母体）と連携して、そのノウハウを活用しながら実施している。
- ・車内販売に関しては、もともと店舗等で販売実績がある業者を選んだので、新規に営業許可等を取る必要はなかった。

（実施内容）

- ・現在、いろいろな実施方法を模索しているところである。
- ・青い森鉄道にはいわゆる「イベント列車」がないので、定期列車の後 1 両を使用し、ツアーを実施する形をとっている。
- ・正式には貸切ではなく車内イベントの扱い。音が出るなどするので、事前に産直列車を実施する旨の周知は図っている。一般客が乗車して物品を購入することも可能である。
- ・一駅ごとに地元の店舗（パン店など）、団体（商店街など）が乗り込んで商品を車内販売し、参加者に車内で楽しんでもらう。
- ・販売だけでなく、歌声列車、バトントワリングなど、イベント開催も展開している。
- ・現在は年間に 8~10 日開催、人数はツアー当たり最大 30 名としている。朝の早い時間帯に集合という時間設定もあり、参加者は地元住民がほとんどである。
- ・新企画として、親子を対象とした車両基地の見学ツアーも開催した。夏休みの自由研究などの素材として、好評であった。今後は、企画内容や対象層を少しずつ変えて展開していきたい。

Q 2

振り返ってみて、どのような成果が上がったとお考えでしょうか。

A 2

- ・収入が一気に増えることはないが、地元店舗等とタイアップし、地元と一緒に盛り上げることで、地元客に利用してもらうきっかけ作りとしては大きな効果を上げている。
- ・例えば「あおてつマルシェ」では、目時駅前の農家の畑で収穫を行った。目時駅は 1 日の利用者が 20 人という小さい駅だが、集落の人たちがツアーを歓迎してくれて盛り上がり、同時に地元も喜んでくれている。
- ・地元で販売しているイチゴやイチゴジャムを販売したが、持込数量を先方に任せるところ、予想以上に売れたと高評価を受けた。今後、そうしたケースを増やしていきたい。
- ・アンケート結果では、参加者からは満足したという回答を多く得ている。
- ・マスコミが取り上げる機会も増え、地元では定着してきている。

Q 3

大洗鹿島線でも、銚田駅を中心に、JA ほこたのメロンやいちごを活かした産直列車を検討したいと考えているのですが、アドバイスをお願いいたします。

A 3

- ・鉄道を使った地域活性化は一朝一夕にはいかない。青い森鉄道の場合、地域活性化に注力している旅行会社と組めたことが大きい。
- ・鉄道に乗ること自体を楽しむという視点をベースに、地元にも協力してもらいながら、積み重ねていくことが大切だと思う。それが地元の「気づき」につながればもっとよい。

④高校生最強カレー王選手権大会に関して

Q 1

食を扱うに当たっての事前承認や届出は必要でしょうか。

A 1

- ・高校生主体のまちづくり団体「あおもり学生プロジェクト クリエイト」が主催し、既に開設している「高校生カフェ」で実施した企画のため、青い森鉄道として承認・届出等は行っていない。
- ・飲食物を提供するための諸手続は、主催者が行った。

Q 2

準備には、かなりの労力や手間が掛かりましたか。どのくらいの費用が掛かりましたか。

A 2

- ・沿線の食材を使うため、参加者自身による沿線視察を2回行った。その際、青い森鉄道は特別後援の立場から、フリー切符を無償提供している。
- ・実際の準備・運営は主催者が行った。「青い森鉄道まつり」と重なったため、青い森鉄道として全面的に協力することは難しかったが、イベントは無事に成功した。

Q 3

高校生の反応はいかがでしたか。青い森鉄道ファンは増えましたか。

A 3

- ・参加者500名を目標としていたが、実際には850名の参加があった。
- ・目標を上回る人出があり、2年目以降も開催したいという要望は多い。ただし諸事情により現在のところ実現していない。
- ・通学で利用していない高校生に対し、知名度を上げるきっかけとなった。

⑤ロゴマーク・イメージキャラクターに関する質問

Q 1

ロゴマークやイメージキャラクターは、どのような効果を生みだしていますか。

A 1

- ・イメージキャラクターを「前ねぶた（ねぶた本体よりは小型のもの）」として毎年参加させるなど、PR 効果は高い。
- ・特に、JR から第三セクターへの転換を市民に印象づける効果は大きかった。
- ・マスコミへの露出が増加し、社員の努力とも合わせて青い森鉄道の知名度が向上した。
- ・キャラクター「モーリー」は青い森鉄道の象徴として県内では定着しており、県民の「親しみやすさ」の向上に貢献している。
- ・キャラクター自体への世間の関心が高まっており、社員のモチベーション向上につながっている。

Q 2

どのくらいの費用が掛かりましたか。

A 2

- ・ロゴ・キャラクターの募集・採用・表彰等に関する費用、デザインマニュアルの作成、着ぐるみ制作などを含め、全線開業プレイイベントに係る CI 推進事業全体で 1,000 万円である。
- ・一方で、関連グッズの売上があり、若干ではあるが経営面にも貢献している。

⑥青森県、沿線市町村、JR からの支援及び連携に関する質問

Q 1

青い森鉄道線利活用推進協議会や青森県からの支援内容や連携事業について教えてください。

A 1

- ・協議会は現在、マイレール意識の向上に向けた PR 活動、利用環境整備、及び利活用促進などを実施している。年間予算は 235 万円である。
- ・PR 活動としては、「青い森鉄道まつり」の開催やグッズ製作、各種コンテスト開催などを行っている。
- ・利用環境整備としては、沿線各駅の環境整備を行っており、沿線の高校、町内会、老人会等の団体が実施する花植えなどの苗代等を支援している。
- ・利活用促進としては、「高校生最強力レー王選手権大会」といった青い森鉄道線の利活用を促進する取組を実施する団体へ助成金を交付している。

Q 2

JR とは、どのような連携を図っていますか。

A 2

- ・路線全線が JR 出自ということもあり、JR との関連は深い。現在、100 名近い出向者が青い森鉄道で活躍している。
- ・車両整備に関しては、JR 東日本秋田支社・盛岡支社と協力しながら、技術の継承を図っている。
- ・運転士の新規養成は、JR 東日本白河総合研修センターで行っており、年間 2 名程度、通算約 20 名のプロパーの運転士が誕生している。

Q 3

関係機関からの支援や連携に関する課題について教えてください。

A 3

- ・県が株主であり、沿線の首長も取締役を務めている。青森開業に当たり増資を実施し、新型車両の製造に充てた。県事業の実施等に当たっては、緊密な相談・協力のできる人的関係の構築を目指している。
- ・上下分離方式のうち「下」すなわち施設・設備は県事業となるが、「上」すなわち車両・運行は、地元の交通機関という観点から市町村もプロジェクト的に関わっていく。
- ・青い森鉄道のサポーターズクラブである「青い森鉄道プラットフォーム～ぶらっとプラットフォーム～」は任意団体であり、会費+助成金で運営している。現状、人数は必ずしも多くないが、駅前周辺の活性化等には意欲的であり、今後に期待している。
- ・サポーター団体に関しては、津軽鉄道のように古くから地域密着で経営してきた民営鉄道が圧倒的に強い。青い森鉄道としては、JR 時代からの地域とのつながりを絶やさないうよう継承し、強化したい。
- ・八戸開業時に「JR がやっていないことをやろう」ということで、無人駅に駅サポーター（パート職員）を置き、券売機の説明や清掃、ストーブ提供等の業務を開始したが、現在まで続いている。「駅をいちばん知っている人」として、彼らの存在意義は大きい。
- ・まちづくりに携わる NPO 法人等の中には、青い森鉄道のために協力したいという機運が生まれつつある。現在、そうした団体とのつながり作りを積極的に進めているところである。



青い森鉄道 総務部総務広報課
課長 山田 恭輔氏

(参考文献)

青い森鉄道 HP (<http://aoimorirailway.com/>)

2 ひたちなか海浜鉄道（茨城県）

（1）概要

運営会社：ひたちなか海浜鉄道株式会社（茨城県ひたちなか市釈迦町 22 番 2 号）

全長 14.3km、駅数 10 駅、複線区間：なし（全線単線）、電化区間：なし（全線非電化）

- ・茨城県の勝田から那珂湊を経由し、阿字ヶ浦までを結ぶひたちなか海浜鉄道（湊線）は、茨城交通の鉄道部門が平成 20 年 4 月に新設分割により分社化した第三セクター鉄道である。
- ・株主構成は、元会社である茨城交通が 49%、地元のひたちなか市が 51% である。代表取締役は設立当初より吉田千秋氏が務めている。同氏は公募による採用であり、同じ第三セクター鉄道の万葉線株式会社（富山県）の出身である。
- ・ひたちなか市は、平成 20 年度における重点施策のうち「機能的で潤いに満ち安全に暮らせるまちづくり～都市・生活環境分野～」に係る予算措置の中で「湊鉄道線存続支援事業」としておよそ 2 億円（199,521 千円）を支出している。
- ・廃止を表明した茨城交通から引き継ぐ形で開業した同鉄道であるが、利用者数の増加につながる独自の施策のほか、ひたちなか市の支援や住民主導の存続運動にも支えられ、平成 25 年度は 10 年ぶりに年間乗車人員 80 万人台を回復。最終的には約 1,500 万円の赤字（純損益）となったものの、翌平成 26 年度には赤字額も 465 万円（同）まで圧縮され、単年度黒字も達成間近とみられている。
- ・鉄道復権の象徴的な出来事として、平成 26 年 10 月には 52 年ぶりの新駅が誕生した。また現在、ひたちなか市等により、阿字ヶ浦駅～国営ひたち海浜公園西口付近（約 3.1km）の延伸が計画されており、平成 33 年度着工、平成 36 年度運行開始を目指している。

（2）来歴

明治 40 年	湊鉄道株式会社設立
大正 2 年	勝田～那珂湊間運行開始
昭和 3 年	磯崎～阿字ヶ浦間延長（全通）
昭和 19 年	茨城交通株式会社に合併
昭和 29 年	輸送のピークを迎える
昭和 49 年	夏季シーズンに上野駅からの国鉄直通列車を運転
昭和 50 年	自動券売機を導入（経営合理化の始まり）
昭和 52 年	自動販売機を増設、無人駅の導入
昭和 59 年	貨物輸送を廃止
平成 20 年	ひたちなか海浜鉄道設立、茨城交通株式会社より事業譲渡以降、利用者数を増やす施策を実施 ・通学定期代の大幅値引 ・列車交換設備の復活による大幅な運行本数増加 ・マンガ・アニメとのタイアップ ・地元イベントとのタイアップ
平成 23 年	3 月 東日本大震災により全線運行休止（7 月に全線で運行再開）
平成 25 年	路線開業 100 周年
平成 26 年	新駅・高田の鉄橋駅開業

(3) 路線図



(4) 実施施策

①通学定期代の大幅割引

通常の通学定期券より更に割安の、年間通学定期券を発売。

通学利用客の多い勝田～那珂湊間を例にとると、従来の6か月定期でも年間119,140円となる
ところ、84,000円で利用できる。これは120日分の往復運賃に相当し、1か月定期(×12)に比
べて年間約48,000円、6か月定期(×2)に比べても約35,000円の割引となっている。

年間通学定期券 84,000円		120日分の往復運賃で1年間ご利用可能!	
1か月定期運賃だと年間	1か月定期運賃 (11,030円) × 12か月 = 132,360円	年間通学定期券	▶ 約 48,000円 お得!
3か月定期運賃だと年間	3か月定期運賃 (31,440円) × 4か月 = 125,760円		▶ 約 41,000円 お得!
6か月定期運賃だと年間	6か月定期運賃 (59,570円) × 2か月 = 119,140円		▶ 約 35,000円 お得!

年間通学定期券の案内

②大幅な運行本数増加

平成22年には、金上(かねあげ)駅(*)において、茨城交通時代に廃止されていた列車交換設備を復活させる工事を実施。これにより、全線単線の湊線において、勝田～那珂湊間の列車本数を大幅に増加させることが可能となった(およそ1.4倍に増加)。

同区間では現在、平日35往復・土休日30往復の列車が運転され、日中及び早朝・夜間でおおよそ30～40分に1本、ラッシュ時には同10～20分に1本と、ローカル線としては相当に高頻度な運行が行われている。列車ダイヤについてはこのほか、上り下りとも最終列車が23時台と遅い点も特筆に値する。

*「勝田→金上」の乗車券は、縁起がいいとして人気がある。

③マンガ・アニメとのタイアップ

平成 27 年 12 月 23 日～平成 28 年 3 月 31 日（当日有効）には「世界一楽しい片道切符 2」を販売した。これは、ひたちなか海浜鉄道と茨城交通とが合同で実施したもので、勝田→（同鉄道）→那珂湊→（茨城交通バス）→大洗と、その逆コースのいずれかを周遊できる乗継切符である。人気アニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台である大洗町と、「お隣のまち」ひたちなか市を合わせて巡るという企画（主催：ガルパン応援団ひたちなか）で、企画目的以外でも利用可能。特典として記念グッズのプレゼント付き。

④地元イベントとのタイアップ

（例 1）パークアンドライドの実施

平成 27 年 12 月 30 日（水）・31 日（水）には、那珂湊駅から徒歩 10 分の那珂湊おさかな市場（*）周辺における歳末の渋滞緩和を図るため、金上駅前に臨時無料駐車場を設置、パークアンドライドを実施。駐車場利用時間は 8 時～16 時、また金上駅～那珂湊駅駅間を 1 枚で 5 名まで乗車可能な特別往復切符も販売。通常、往復 1 名 520 円のところ、5 名まで利用可能で 1,000 円（最大 1,600 円割引）。また利用者には那珂湊駅にてキャリーカートを貸出（無料）。おさかな市場で使える特典付き。

*那珂湊お魚市場：関東を代表する観光市場として、県内外からの観光客で賑わう。

（例 2）シャトルバスの運行

国営ひたち海浜公園のネモフィラ開花イベント「ネモフィラハーモニー」の開催に合わせ、阿字ヶ浦駅～ひたち海浜公園間にシャトルバスを運行（他にコキアカーニバル開催時等も運行）。各列車に接続して所要時間約 10 分、渋滞や時間のロスなく公園までアクセスできる。

また、アクセスバス運行に合わせて「海浜公園入園券付湊線 1 日フリー切符」や、海浜公園内で利用できるシーサイドトレイン 1 日周遊券、プレジャーガーデン乗り物一日フリーパス引換券を割引価格で販売。

なお、平成 28 年度はネモフィラの開花が通常より早かったため、運行開始日を前倒して実施。



シャトルバスの起点となる阿字ヶ浦駅※

⑤新駅の設定

中根駅～那珂湊駅間に、平成 26 年 10 月、同線として 52 年ぶりの新駅「高田の鉄橋」駅が開業。

新駅の周辺地区は高齢化が進み、駅設置の要望は以前からあったが、鉄道廃止が現実味を帯びていた時期はとて新駅どころではなかった。しかし、ひたちなか海浜鉄道の発足後は、住民に「自分たちの鉄道」「町のシンボル」という意識が根付き、利用者数も増加に転じたため、地区自治会が改めて要望した。



新駅 高田の鉄橋駅

設置費用およそ 3,000 万円に対し予想乗降客数は 1 日 40 人と、費用対効果は極めて低い。そこで、国土交通省の幹線鉄道等活性化事業費補助制度（通称「コミュニティー・レール化」）を活用。国と茨城県が 1,000 万円ずつ補助、残る 1,000 万円の事業者負担分も大部分をひたちなか市が負担した。

新駅は、既存の鉄道用地を活用したため最寄り地区から約 700m 離れており、周辺に駅の案内が少ないなどの課題はあるが、通勤通学客、買い物客のほか鉄道ファンなどの来訪もあり、利用は堅調である。

⑥ 人気ゲームとのコラボレーション

新駅設置のニュースを見た地元からの反応もあった。新駅から徒歩 5 分の場所にある大型ゲームセンターの社長は、それまで「通り過ぎるだけ」だった列車が、店舗の目の前に止まるようになる点に着眼した。

そこで思いついたのが、小中学生を中心に絶大な人気を誇るカードゲーム「デュエル・マスターズ」を、湊線の列車の中で好きなだけ遊べたら……という企画だった。この企画をゲームの販売会社に持ち込むと、すぐに話がまとまり、更にアニメ版の制作会社からも協力が得られた。その結果、ひたちなか海浜鉄道の列車にゲームのキャラクターをラッピングした、通称「デュエマ列車」が実現。車内でゲームができるイベントも開催され、小中学生を中心に全国から 250 人あまりが参加する盛況となった。

（５） 地元サポーター

「湊鉄道対策協議会」は、廃線危機が迫った平成 18 年 6 月に、ひたちなか市を中心として、商工会議所、自治会協議会、湊線沿線高校、地元 NPO、茨城県交通対策室などがメンバーとなって設立された団体である（会長：ひたちなか市長）。廃線危機を乗り越えた現在では、活性化策の検討のほか、イベント開催などにも力を注いでいる。

「おらが湊鉄道応援団」は、ひたちなか海浜鉄道湊線の存続・発展を願い、更には湊線を核とした会員と地域住民の交流を通じた地域の活性化を目指して活動している市民団体である。ひたちなか海浜鉄道湊線の様子・魅力やイベント・応援団活動について情報発信を行っており、平成 19 年 4 月に創刊した「団報」は、現在 110 号を数える。

このほか、国立ひたち海浜公園への延伸を目的とする組織として「ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸を実現する会（会長：ひたちなか市長）」が存在する。



地域に愛されて走る湊線「アニマル列車」※

ひたちなか海浜鉄道 Q & A

①年間通学定期券の販売に関して

Q 1

スクールバスの普及で、通学定期券の販売額が落ち込む中、割引率を大幅にアップした「年間通学定期券」は非常に画期的ですが、定期券の期間・割引率は、事業主体が自由に決定できるのでしょうか。

A 1

- ・運輸局に認可申請を行う。大手の鉄道会社はまだ行っていないので分からないが、前例はいくつかあるので柔軟に取り入れられるはずと考えている。

Q 2

「120日分の往復運賃を払えば1年間乗り放題」という内容は非常にインパクトがありますが、どのような収益予測で実施されたのでしょうか。また、反対意見はなかったのでしょうか。

A 2

- ・万葉線株式会社（富山県・第三セクター）の路面電車で、年間通学定期を100日分の運賃で販売したところ、利用客数が約3割上昇した。当社ではこれを参考に実施した。
- ・当社では100日分では不安であったため、120日分の運賃で販売した。
- ・平成14年に万葉線株式会社が設立された際、半ば強引に意見を通して実験的に開始し、結果が出た経緯がある。一般企業で社員が発案しても、収益性の根拠を求められ、実行まで至るのは難しいだろう。

Q 3

どのくらい収益増に貢献したのでしょうか、販売実績と収益増への貢献度を教えてください。

A 3

- ・平成19年度売上が4,926万6,000円、平成27年度売上が4,912万1,000円と、ほぼ横ばいである。
- ・ただし、統合による高校の減少や、高校の定員割れが起きている中で、一定の売上を維持することができており、下げ幅を少なくしたという点で、収益に貢献していると考えられる。

Q 4

学生の利用者の確保に向けて、どのような取組をお考えでしょうか。

A 4

- ・教育委員会と協力し、高校の入学説明会の際、新たに入学する中学3年生を対象に年間通学定期の説明を行い、鉄道で通学する「癖をつける」よう誘導している。
- ・チラシ等を配布し、中学3年生と現役高校生への周知を行っている。
- ・インターンシップを受け入れ、高校生の本音を聞いている。
- ・とにかく取りこぼしの無いようにすることが重要である。遠方の学生が始業に間に合わないという事態が発生した際も、当社でダイヤをずらし、学校にも協力してもらって対応したことがある。

②人気観光地とのタイアップによるシャトルバスの運行に関して

Q 1

シャトルバスの成功を見ると「駅から数 km 離れた観光地には車でしか行かない」という考えが誤りであることが分かりますが、「渋滞して時間が掛かる」という車の弱点を突いた取組だったのでしょうか。

A 1

- ・ゴールデンウィーク中は、駐車場からひたちなかインターまで渋滞が続いている。
- ・従来の公共交通は路線バスが主であったが、停留所の入場に時間が掛かるという弱点があった。しかし、鉄道の終点から海浜公園の入口までは渋滞していなかったため、シャトルバスの運行を開始した。
- ・渋滞以外にも、公園の入場券の購入に30分～1時間掛かることもあったため、乗車券と入場券をセットにして販売することを思いついた。

Q 2

シャトルバスの運行を実現するために、どのような団体と協議を進めたのでしょうか。

A 2

- ・初年度は公共交通活性化の社会実験として、貸切バスの費用を市に補助してもらった。
- ・結果的に十分な成果が上がったため、更に市に補助してもらい、土曜日やオフシーズンなどにも試験的にシャトルバスを運行し、実験的な取組を元にターゲットを絞ることができた。
- ・乗車券と入場券をセット販売するため、ひたち海浜公園と協議を行った。

Q 3

「国営ひたち海浜公園」「那珂湊おさかな市場」「アクアワールド・大洗」へのシャトルバスの運行には、どの程度の費用が必要ですか。

A 3

- ・シャトルバスは、現在、ひたち海浜公園のみで運行している。
- ・シャトルバスの運行費用は、シャトルバス運行、乗客増に備えた鉄道の増結、案内のための社員の残業代を全て含めて約 422 万円であった。
- ・おさかな市場は以前、乗合タクシーの実験を行ったが、周知期間が短く、かつ歩いて 12 分で行ける距離のため、上手くいかなかった。
- ・アクアワールドに関しては、現在、路線バスが運行しているが、シーズンの土日は渋滞で動けない状態になるため、バス自体が運行を停止している。シャトルバスのほうが上手くいくかもしれない。

Q 4

このシャトルバスの運行は、どの程度、収入増に結びついたのでしょうか。

A 4

- ・今年度のゴールデンウィークは、約 40 万円の収益となった。
- ・これは乗車券と入場券のセットクーポンのみの売上であり、帰りに片道分だけ購入した方の分と合わせると、収入はより多くなる。
- ・乗客の約 3 割は、宣伝をしなくてもおさかな市場などの観光地での消費をしてくれるので、経済的波及効果も見込める。

Q 5

大洗鹿島線においても、大洗駅とアクアワールド・大洗等、新鉾田駅と農園等をシャトルバスで結びたいという考えが自然に浮かびますが、アドバイスをお願いいたします。

A 5

- ・シャトルバスと鉄道の時刻を合わせて接続をよくし、無駄な時間なく移動できることを宣伝すれば、ある程度乗車してくれるのではないか。
- ・宣伝の仕方や表現の方法などは、工夫する必要があると思われる。

③イベント列車に関して

Q 1

イベント列車の実施について、収入増と費用について教えてください。

A 1

- ・ イベント列車を貸切のみにすることで、利用客が少なくても運行しなくてはならないリスクを排除した。貸切費用は一列車 54,000 円に設定している。
- ・ 以前、ビア列車の企画をしたことがあるが、お酒関係のイベントでは許可が必要となるため、保健所に届出をする手間がかかった。
- ・ サーバーでビールを注ぐと「調理行為」となるため、飲食業者に入ってもらった。その際、54,000 円の収入は 27,000 円ずつの折半とした。

Q 2

集客のノウハウに関して、アドバイスをお願いします。

A 2

- ・ アイデアが持ち込まれた際は、できるだけ受け入れて実施するようにしている。
- ・ 実際に「メイドトレイン」という、車内にメイドを乗せて給仕してもらったイベントを行ったことがある。企画会社が今後の広告宣伝に使いたいからと、当社の負担金なしで実施できた。
- ・ その会社は当社で実績を作り、その後、西武鉄道への売り込みに成功したようだ。大手の鉄道会社は頭が固いのではないか。

④高齢者の足としての役割に関して

Q 1

今後一層増えていく高齢者の足としての役割について、どのようにお考えでしょうか。

A 1

- ・ 65 歳以上の方や、免許返納者に対しての割引をよく聞くが、人口割合が非常に高い方なので、安易に安くできない。
- ・ 今まで鉄道を利用せず、高齢者になってから初めて利用する方を割引し、若い頃から利用していただいた方に割引しないということは腑に落ちない。

Q 2

バリアフリー等、高齢者対策の現状は、いかがでしょうか。

A 2

- ・ 将来的に、車両に乗る際のステップの整備を考えている。

Q 3

高齢者が生活の足として利用していくためには、どのような取組が必要であるとお考えですか。

A 3

現在、高齢者に対しての取組は特に行っていない。

⑤おらが湊鐵道応援団に関して

Q 1

おらが湊鐵道応援団の結成の経緯と現在の団員について、教えてください。

A 1

- ・平成 18 年に、那珂湊地区の衰退を危惧し、那珂湊地区活性化懇談会が発足した。その後「平成 20 年に湊線が廃線になる」という噂が流れたのを受け、廃線阻止活動を起こすため、翌平成 19 年におらが湊鐵道応援団が設立された。
- ・湊線は平成 19 年 9 月に第三セクターとして存続することが決定し、廃線阻止は達成したが、その後も地域の活性化のために応援団は存続し、活動を続けている。
- ・団員としての登録数は 2,300～2,400 人である。毎月の活動には約 500～600 人の団員が参加している。

Q 2

おらが湊鐵道応援団の活動内容について、教えてください。

A 2

- ・活動内容は以下のとおり。
 1. 駅の応援団サービスステーションでの運営と案内
 2. 乗車証明書の発行
 - ・沿線の商店や飲食店、宿泊施設で提示すると、特典サービスを受けられる。
 3. 気動車を活用した臨時博物館
 - ・現在はみなとメディアミュージアム（*）の発表会の会場に利用している。
 4. ポストカードの発行
 5. SNS やホームページ上での情報発信
 - ・1 日に最低でも 3 回は情報を発信している。
 6. アートイベントの開催
 - ・みなとメディアミュージアム 2016 を開催（8 月）
 7. 各自治会による各駅の清掃と樹木や草の除草作業
 - ・応援団が年間計画表を作成し、各自治会との交渉を行う。
 - ・震災前の自治会の参加は消極的であったが、震災後は、積極的に参加している。
 - ・中根駅では花植を年 3 回行っている。中根駅周辺の自治会は勝田地区にあり、湊地区の自治会と温度差があるため、自治会としての参加はないが、有志が集まって参加している。
 8. 応援団報の発行（毎月）

* みなとメディアミュージアム（略称 MMM）：湊線沿線を舞台に開催する現代アートプロジェクト。

Q 3

団員の募集等、応援団を維持拡大していくために、どのような取組をされていますか。

A 3

- ・ 応援団を結成するに当たり、計画書の作成にしっかりと時間をかけ、商店街や商工会議所、市役所など、地域の重要な組織を網羅し、一体化するよう体制づくりを行った。
- ・ 応援団設立と同時に、沿線の高校に対して協力を呼びかけた。これにより活動に参加した高校生たちが、横断幕やマップを作ったり、独自に応援団を組織したりして、活動の幅が広がった。

⑥茨城県、ひたちなか市、JR からの支援及び連携に関して

Q 1

湊鉄道対策協議会での協議内容について、教えてください。

A 1

- ・ 平成 18 年 6 月に協議会が発足し、当初は湊線の存続を目標にしていた。
- ・ 存続決定後は、補助金の活用に関する承認、利用促進事業の実施が主な活動内容である。
- ・ シャトルバスの運行に際しては、延伸に関するデータ収集を行った。
- ・ ひたちなか海浜鉄道の取組を全国に紹介し、街の活性化につなげるための「ローカル鉄道・地域づくり大学」を主催している。ローカル鉄道サミットは、2 年に 1 回開催している。

Q 2

JR とは、どのような連携を図っていますか。

A 2

- ・ ひたちなか海浜鉄道は、JR の資本が入っていないため、比較的対等に話ができる。
- ・ 常磐線からひたちなか海浜鉄道に乗り換える乗客が多いため、JR とはある程度対等に話ができる環境にある。
- ・ ひたちなか海浜鉄道のフリー乗車券を中間改札で購入すると、勝田駅の JR の改札を通ることができない。そこで JR と協議し、ひたちなか海浜鉄道でも JR の改札を通れるようにしてもらった。
- ・ 他にも、茨城県内の JR と私鉄が 1 日乗り放題になる「ときわ路パス」を JR が発行しているのだが、ひたちなか海浜鉄道の収入が 1 枚につき 40 円となっており、分配に関して協議することもある。

Q 3

関係機関からの支援や連携に関する課題について教えてください。

A 3

- ・ JR と、それ以外の鉄道会社との間に、どうしても力関係が生じてしまう。
- ・ 以前、ひたちなか海浜鉄道、鹿島臨海鉄道、茨城交通の 3 社で「世界一楽しい片道切符」を販売したことがあり、好評のため第二弾を販売することになった。しかし、鹿島臨海鉄道が JR との関係から参加できなくなり、連携が取れなくなったことがある。

(参考文献)

東洋経済オンライン『廃線危機脱出、「ひたちなか海浜鉄道」の奇跡』（平成 26 年 11 月 15 日）

茨城新聞『海浜鉄道湊線延伸ルート 公園南側 3.1 キロ有力』（平成 28 年 4 月 19 日）

茨城県ひたちなか市 市報ひたちなか 平成 20 年 4 月 10 日発行 320 号

ひたちなか市観光協会 HP (<http://www.hitachinaka-sa.com/>)

おらが湊鉄道応援団 HP (<http://minatosen.com/>)

ひたちなか海浜鉄道 HP (<http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>)（画像出典 ※印以外）

3 いすみ鉄道（千葉県）

（1）概要

運営会社：いすみ鉄道株式会社（〒298-0216 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 264）

全長 26.8km、駅数：14 駅、複線区間：なし（全線単線）、電化区間：なし（全線非電化）

- 大原駅で JR 外房線に、上総中野駅で小湊鐵道に接続するいすみ線を運行しているいすみ鉄道株式会社は、沿線自治体などが出資する第三セクター鉄道である。
- いすみ線は国鉄の木原線を引き継いでいるが、当時の木原線の輸送密度が 2,000 人未満であったことから、昭和 56 年に第一次特定地方交通線に指定され、鉄道で存続させるよりもバス化を実施する方が望ましいとされていた。しかし、翌年には地元住民の協力により輸送密度目標の 2,000 人を達成し、「乗って残そう運動」の努力が実り、昭和 61 年に第三セクター鉄道としての存続が承認された。昭和 62 年の国鉄の分割民営化により、木原線は JR 東日本に継承されたが、同年 7 月に第三セクター鉄道であるいすみ鉄道株式会社が設立され、昭和 63 年 3 月に JR 東日本から木原線を継承して運行を開始した。
- 少子高齢化や利用客数の減少により慢性的な赤字経営に苦しんでいたことから、平成 17 年 8 月、いすみ鉄道の今後の在り方を協議する「いすみ鉄道再生会議」が千葉県や大原町（現いすみ市）、夷隅町（現いすみ市）、大多喜町などによって結成され、存続かバス化かについて議論が行われた。経営立て直しのために平成 19 年 12 月から代表取締役社長を一般公募し、平成 21 年 2 月からは現在の代表取締役社長である、ブリティッシュ・エアウェイズ出身の鳥塚氏が就任した。
- 平成 20 年 6 月には「ホテルウォッチングトレイン」を運行開始、同年 10 月には煎餅「い鉄揚げ」を販売、平成 21 年には饅頭「房総のけむり饅頭」を販売している。同年 10 月には「ムーン列車」の運行を開始し、大原、国吉、大多喜の各駅にグッズ販売の直営店を開店、ウェブショップも併せて開設した。また平成 22 年 3 月には、訓練費 700 万円の自己負担を条件に列車運転免許を取得できるという運転士採用プランを発表した。こうした経営努力の結果、同年 8 月に鉄道の当面の存続が決定した。

(2) 来歴

昭和5年4月1日	国鉄木原線開業
昭和9年8月26日	国鉄木原線全通
昭和56年9月18日	第一次廃止対象特定地方交通線に指定
昭和62年7月7日	いすみ鉄道株式会社設立
昭和63年3月24日	いすみ線開業
平成17年8月3日	いすみ鉄道再生会議設置
平成20年4月1日	一般公募により吉田氏が代表取締役社長に就任
同年	ホテルウォッチングトレインの運行開始、い鉄揚げの販売開始
平成21年6月28日	再公募により鳥塚氏が代表取締役社長に就任
同年	房総のけむり饅頭の販売開始、ムーミン列車の運行開始、グッズ販売の開始
平成22年3月4日	列車運転免許が取得可能な運転士採用プランを発表
同年8月6日	鉄道の当面の存続が決定
平成26年8月28日	台湾鐵路管理局の集集線と姉妹鉄道の協定を締結（相互送客やイベント共同企画）

(3) 路線図



(4) 実施施策

①伊勢海老特急・お刺身列車コース

旧国鉄の動態保存車両等を利用した「レストラン列車」内にて、いすみ市の旅の宿「九十九里ヴィラそとぼう」の料理長が腕を振るった、地元の伊勢海老、アワビ、サザエ、そして房総半島独特の「なめろう」などを舟盛りのように豪快に盛り付けた料理を楽しむプラン。土曜日を中心に月4日程度実施。

料金は急行券付き1日フリー乗車券、お土産とセットで2名1組30,000円（子ども料金の設定なし/偶数名での申込が必要）。飲み物は、ビール・冷酒・ソフトドリンクが1名2本まで無料、別料金で追加も可能。申込はインターネットのJTBサイトからのみ。



お刺身列車のメニュー例

②伊勢海老特急・イタリアンコース

同じく「レストラン列車」内にて、茂原市のイタリアンレストラン「ペッシェ アズーロ〜青い魚〜」のシェフが、伊勢海老やアワビなど外房の素材を使用して腕を振るった、本格イタリアンランチを楽しむプラン。日曜日を中心に月4日程度実施。他に「お箸DEイタリアン」「Xmas イタリアンコース」も設定。

料金は急行券付き1日フリー乗車券、お土産とセットで1名16,000円（子ども料金の設定なし）。飲み物は、ウエルカムドリンクのほか赤、白ワイン、オレンジジュース、烏龍茶、炭酸水が無料、別料金で追加も可能。申込はインターネットのJTBサイトからのみ。



イタリアンコースのメニュー例

③和菓子列車

「伊勢海老特急・お刺身コース」の終了後に、月4日程度実施。内容は「おまかせ和菓子と手作り冷製ぜんざい」。追加の飲み物は別料金で提供する。

料金は乗車券・急行券とは別に1名1,000円（子ども料金の設定なし）。当日、現地受付（いすみ鉄道大原駅）のみで、事前予約は受け付けない。ただし空席があれば、発車後の車内でも受付可能。



和菓子のメニュー例

④スイーツ&ワイン列車

「伊勢海老特急・イタリアンコース」の終了後に、月4日程度実施。内容は「シェフのおまかせスイーツとコーヒー又はワイン」「シェフのおまかせチーズとワイン」。追加の飲み物は別料金で提供する。

料金は乗車券・急行券とは別に1名1,000円（子ども料金の設定なし）。当日、現地受付（いすみ鉄道大原駅）のみで、事前予約は受け付けない。ただし空席があれば、発車後の車内でも受付可能。



スイーツのメニュー例

⑤その他のイベント列車

いすみ鉄道では、その他にも積極的にイベント列車を企画しており、ホテルウオッチトレイン、ムーミン列車など、多彩な列車が運行されている。



ホテルウオッチトレインの車内



ムーミン列車の外観

⑥房総横断鉄道トコトコきっぷ

いすみ鉄道と小湊鉄道の共同開催キャンペーンに基づく企画乗車券。通常の房総横断切符（1,700円）に加え680円分のクーポン券が付き、沿線の加盟店で使用できる特典がある。国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」対象事業として、市原市を中心とする房総横断鉄道活性化協議会の企画として実現した。平成27年12月1日から平成28年3月21日までの期間限定発売で、乗客の少ない冬季の活性化策として効果を上げた。



房総横断鉄道トコトコきっぷ

⑦サンキュー♥ちばフリーパス

いすみ鉄道、小湊鉄道のみでなく、JRや他社線も含む県内の鉄道と路線バスの一部が乗り降り自由となる企画乗車券。旅行先でフリーパスを提示すれば様々な特典が受けられる。発売額は大人3,900円、小人1,950円で、平成28年9月1日～11月20日のうち連続する2日間の設定。発売は県内のJR各駅、びゅうプラザ等。



サンキュー♥ちばフリーパス

出典：千葉県公式観光物産サイト

⑧台湾鐵路管理局との姉妹協定

平成 26 年 8 月に台湾鐵路管理局の集集線と姉妹鉄道の協定を締結し、相互送客やイベントの共同企画に取り組んでいる。平成 27 年 1 月から乗車券交流が開始され、いすみ鉄道の使用済み 1 日フリー乗車券を持参して台湾に行くと、台湾の集集線の 1 日フリー乗車券と交換が可能で、逆に、いすみ鉄道に集集線の使用済み 1 日フリー乗車券を持参すると、いすみ鉄道の 1 日フリー乗車券と交換できるという企画を実施している。



いすみ鉄道 1 日フリー乗車券

⑨オリジナルグッズの販売とブログ等による情報発信

い鉄揚げや房総のけむり饅頭といったオリジナル商品のほか、ムーミングッズなどを駅構内及びウェブショップにて購入することができる。また、ブログによる情報発信や百貨店への催事進出、通販へのチラシ同封など、露出拡大にも積極的に取り組んでいる。



いすみ鉄道ウェブショップ

⑩列車型自動販売機

いすみ鉄道を走る列車を模した、飲料の自動販売機を設置。売上の数パーセントがいすみ鉄道に入るため、大きな収入源となっている。平成 22 年頃から設置を開始、いすみ鉄道を応援してくれる個人や商店の協力を得て、駅周辺のみならず、沿線に数十台以上の規模に成長した。将来的には、千葉市内や東京都内などの都市部への設置や、いすみ鉄道オリジナルパッケージのドリンク販売（設置台数 300 台以上で可能となる）も視野に入れている。



列車型自動販売機

⑪いすみ鉄道応援団

平成 21 年、いすみ鉄道現社長の就任と同時に設立された、誰でも参加できるボランティア団体である。現在、100 余名を擁し、団員一人ひとりのアイデアを活かしながら、駅の整備やホーム脇の休耕田を活用した広場作り、国吉駅のボランティアガイドなどを通じて、乗客や観光客に憩いの場所を提供している。国吉駅ホームに売店を開設し、ポップコーンやオリジナル駅弁、地元ならではのお土産の販売等を行って、活動資金を自ら調達している。沿線に菜の花やひまわり、コスモスなどを植えて環境美化に努めるほか、いすみ鉄道車両を利用した貸切列車の運行や、駅での餅つきなどのイベントも適時開催している。

特筆外出典：いすみ鉄道株式会社 Web サイト、いすみ鉄道社長ブログ
「チャレンジする地方鉄道」（堀内重人 交通新聞社）

いすみ鉄道 Q & A

①ローカル鉄道の現状

Q 1

はじめに、いすみ鉄道の現況や、周囲を取り巻く環境についてお聞かせください。

A 1

- ・いすみ鉄道の元になった国鉄木原線は昭和5年の開業だが、建設当初の目的は既に「終わって」おり現在の時代状況には合わなくなっている。どんな商売でもそうだが、その時代に合わせなければ生き残れない。
- ・ただ人を運んでいけばよいという時代ではない。鉄道というインフラがどうやって地域をうるおし、「ローカル線があってよかった」と言われる存在になるかを考えなければいけない。
- ・昔は房総半島といえば海水浴客だったが、今はサーファーが中心で、観光客にはなりにくい。これが時代の変化である。こうした客層をどうやって観光客として取り込むかは、地域全体としての課題かもしれない。



いすみ鉄道株式会社
代表取締役社長 鳥塚 亮氏

Q 2

ある雑誌の取材で、社長が地元住民に「乗らなくてもいいですよ」「私は観光客を呼び込む仕組みをつくりますから、満足して帰ってもらえる仕組みを考えてください」と話されていたのには驚きました。

どのようなお考えからの御発言でしょうか。

A 2

- ・少子高齢化が叫ばれて久しいが、たとえ現時点で対策をしても、鉄道利用者となる15年先まで待てない。それならば、即効性のある交流人口（≒観光客）の増加に注力するしかない。
- ・ローカル線は、女性も含め都会人の憧れの的である。したがって、土日は観光ツールとして活用し、それによって月～金の地域の足を守るという考え方で取り組んでいる。都会人の憧れがここにあるなら、それを提供することは「田舎の仕事」であり、それこそがローカル線の存在価値である。
- ・運賃収入だけでは、最大でも1,000円なのでたかがしれている。朝から晩まで満員でも黒字にはならない。それよりも、食事や観光で地元にお金を落としてもらう方が大切。さらに、SNSなどによって拡散できればなおよい。

Q 3

観光客を増やすために、具体的に取り組むべき課題は何でしょうか。

A 3

- ・観光とは何か。昔は、できるだけ遠くへ行き、いいところに泊まり、いいものを食べるのが観光だった。今は昔とは価値観が変わってきており「非日常」なら何でも観光になり得る。
- ・したがって、沿線に何があるわけでもなくとも観光客に来てもらうことはできる。そこで「何もないがあります」で売り出した。今の若者は、そういうことを面白いと捉えて、身近で「いいね」を見つけて「写メ自慢」をする。こういう顧客の獲得であれば、全国どこでもできると思う。

Q 4

「何もないがあります」というコピーは衝撃的でした。どのようなお考えで発案されたのでしょうか。また、集客などの面で期待した効果は得られましたか。

A 4

- ・「何もないがあります」のよさが分かる人だけ来てくれればいい、という考えが根本にある。「何もない」ところには、10人中9人は来ない。しかし、東京圏の人口は3,500万人と言われており、その10%が年1回来たとしても地元のキャパシティを超えてしまう。つまり、そもそも万人受けする必要はないということだ。
- ・観光客が求めるものは何か？ それは地域住民とのふれあいである。そして、ローカル線においてそれは「お客さんの仕事」であり、観光客一人ひとりが好きなようにやることだ。それができない団体客などには、よさが分からないので来てもつまらない。逆に、そういう楽しみ方ができる人にこそ来てほしい。
- ・最近、特に実感しているのは、都内でも大多喜町の知名度が上がってきたということ。「いすみ鉄道の大多喜」として認知されており、鉄道の存在意義はこんなところにも表れている。

Q 5

大洗鹿島線の沿線も、よく「何もない」と言われます。それでも、観光客を呼び込める可能性はあるのでしょうか。

A 5

- ・いすみ鉄道の沿線も、特に何があるわけでもないし、派手なイベントがあるわけでもない。強いて言えば、列車が走っていること自体が「イベント」である。ローコストオペレーションが基本であり、運転士が1人で頑張ってもたいしたことはできない。自分の判断で、徐行しても観光ガイドをしてもいい、いわば「手の届く範囲」のサービスを提供することが、当社の方針である。

- ・こういう考え方なら、全国どこでもできると思う。大洗鹿島線でいえば、例えば北浦湖畔駅などは確かに「何もない」が、一日中そこにいるだけでも楽しい、素晴らしいロケーションだと思っている。そういう場所はどこにでも、いくらでもあるはずだ。
- ・あるいは「ガルパン」は、地域外の人が盛り上げているという点で、一つのヒントになるのではないか。「聖地」だから汚さないように気をつけて観光するし、非常にいい顧客だと思う。

②イベント列車（国鉄型ディーゼルカー）の運行

Q 1

私鉄車両については、大井川鉄道など古い車両を大事に活用している事例もありますが、国鉄型車両、とりわけディーゼルカーとなると事例も非常に少なく、キハ28及びキハ52は、現在JRからほぼ姿を消していることから、全国の鉄道ファンの関心を集めているのではないのでしょうか。

A 1

- ・現在の40代半ばまでは「SLを知らない世代」である。一方で、昭和時代の国鉄型のディーゼルカーは全国どこでも走っていたので、出身地を問わず、今の40代以上の世代には「ツボ」である。マーケット的に考えてもこの世代は大きいので、狙い目だと考えている。
- ・豪華さよりも「ストーリー付け」が大切。社長自ら写真を撮り、文章を書いてネットにアップし、ファンづくりに努めた。観光はファンづくりである。
- ・停車駅の売店に貼ってあるポスター類（社長の個人的コレクション）も、いろいろな年代のものを集めてあるので、訪問客がいわば「勝手に」その時代に戻り、懐かしむことができる。その結果、身近で手頃な価格の商品を買って行って、収入増に貢献している。



国鉄型ディーゼルカー

Q 2

新車と、購入コストを勘案して決められたとも伺っておりますが、部品の確保などの不安もあるのではないかと思います。あえて国鉄型の古い車両を購入したのは、どのようなところを期待してのことだったのでしょうか。

A 2

- ・いすみ鉄道の沿線は基本的には観光資源に乏しいが、潜在顧客はいると考えており、潜在顧客の顕在化が鍵であった。その目的に合うツールは、何十億円も掛かる豪華列車ではない。ちょうど国鉄の中古車で、手頃な価格の車両があったので、活用を思いついた。

- ・よさが分かる人は100人に一人でも、日本の人口は1億人なのだから、ローカル鉄道として十分な数のターゲットがいると考えてのことだ。このように考えると、国鉄型ディーゼルカーは非常に「安い買い物」であった。
- ・普通であれば理解されないような考え方もかもしれないが、千葉県も含めた当社の取締役会は「好きにやってみろ」と言ってくれた。資金は大して掛からないし、一方で大きな期待もされていなかったのかもしれないが。

Q 3

運用を始めてから、期待した効果を上げることができたのでしょうか。数値目標を設定されていれば、達成状況を御教示ください。また、数値化できない効果があれば、併せて御教示ください。

A 3

- ・実際にやってみると大成功で、地域に利益をもたらしている。鉄道には、今の時代のインフラとして存在価値があることを証明できた形である。
- ・数値目標は特に設定していない（営業的には設定しているが）。例えば、キハの全般検査には3千万円掛かるが、1人300円の急行料金ではそもそも賄いきれないなど、単純な費用対効果は測定しにくい。
- ・それよりも、走っていることそれ自体がネットやテレビで取り上げられて、地域の価値が上がっていくことが重要だ。

Q 4

大洗鹿島線にも、国鉄DD13と同型の機関車など、古い車両があります。国鉄型車両に代表される古い車両を活用したイベント列車などが思いつきますが、アドバイスをいただけないでしょうか。

A 4

- ・大洗鹿島線でいうと、例えば貨物列車の機関車交換（鹿島サッカースタジアム駅）などは、遠方からもそれを見に来るファンがいる。そう考えれば、そうした日常風景自体が今や貴重な「イベント」である。
- ・貨物用の機関車を水戸まで走らせるのはどうか？ それほどの制約や苦労はないように思う。乗客を乗せるには認可等のハードルが高いというなら、回送列車でも鉄道ファンは集まると思う。
- ・大洗鹿島線は「機関車」を持っているのが強みだと思う。客車は比較的安価に作れるし、例えば廃車にするディーゼルカーを転用すれば、費用を掛けずに「観光地化」できる。イベントを開催すれば、鉄道ファンをはじめ多数の観光客が呼べるのではないか。まして、乗客を乗せないイベントであれば簡単に実現できると思う。
- ・鉄道ファンはいい顧客である。地元でご飯を食べて、お土産を買って帰ってくれる。安全についても心得ており、線路に入るなどの危険行為もしない。そういうことをするのは、むしろ観光シーズンなどに訪れる一般客である。

③イベント列車（レストラン列車・スイーツ&ワイン列車）の運行

Q 1

全国的にみれば、食堂車はほぼ皆無となった一方で、豪華な食事を提供する列車は、全国各地にみられるようになりました。そのような中、御社の「レストランキハ」は、非常に盛況で、予約も取りにくいと伺っております。競争相手が多い中であって、どういったところが、支持されていると思われませんか。

A 1

- ・ レストラン列車の成功要因は、次の3点だと分析している。
 1. 価格が手頃（1万5,000円～2万円）
 2. 予約が取りやすい（最近では取りにくくなってきたが、JR九州の「七つ星」ほどではない）
 3. 料理の設定（刺身は特別な食材ではないが、海の近くなのでイメージ的にプラス）
- ・ 何より、列車の中で食べると「魔法のスパイス」が効いて何でもおいしく感じられる。
- ・ 日本の鉄道の食文化は「駅弁とペットボトル」になってしまっているが、果たしてこれが「文化」と呼べるだろうか。フォークとナイフ、皿と箸で食べる形で提供したかった。1杯のワインでも、グラスで飲むだけで優雅さを演出できる。
- ・ JRでは何十億円も掛けて豪華列車を作っているが、鉄道車両のサイズではどんなに頑張ってもホテルや船に勝てない。それならば、身の丈に合った車両で、手の届きやすいサービスを提供するのが私たちの行き方だと思っている。今後も、自分たちが「できること」と、乗客が「望むこと」が一致する取組を進めていく。



レストラン列車のメニュー例

Q 2

大洗鹿島線においては、現在、ビール列車のように酒類提供列車が運行されていますが、沿線には魚介類（大洗）、メロン・いちご（銚田）といった資源があり、こうした食材を活用した列車の運行が思いつくところですが、アドバイスをいただけないでしょうか。

A 2

- ・ 「地元の食材を地元の人が調理する」この「地元感」こそが都会の人が求めるものである。
- ・ 観光列車を運行するなら、地域とのつながりは必須である。

- 例えば、JR 東日本や JR 西日本は、これまで地域とのつながりを意識的に断ってきたきらいがある。
それに対し、JR 九州は宿泊地を地域の旅館とするなど、地域とのつながりを保ってきた。「七つ星」はそうした取組の集大成であり、いいアイデアだろうと思う。
- 例えば、北浦湖畔駅のホーム脇にデッキを作り、地元の料理店が出張して、地元でとれた魚で料理をふるまう。「餅は餅屋」で火気の使用も問題ないし、何より「ストーリー」ができるのではないか。
- 「何もかも鉄道だけで完結させない」ことも大事だと思う。企画列車を一本走らせただけで済まそうとするのではなく、大洗鹿島線なら、例えば「駅から歩いて行けるいちご狩り」のような企画はどうか。駅で降りていちご狩りを楽しみ、また次の列車に乗って移動すればよい。列車だけにこだわらないことで、地域ならではの企画が成立すると思う。

Q 3

レストラン列車だけでなく、スイーツ&ワイン列車、和菓子列車など、多様な企画を打ち出していらっしゃいます。それらのコンセプトはレストラン列車とは異なるのでしょうか。

A 3

- スイーツ&ワイン列車、和菓子列車に関しては、万単位のお金を出す人たちでなく、予約なしで気軽に楽しめる方向を打ち出したかった。家族で気軽に乗れて、簡単に思い出が作れることも大切だからだ。そのため、あえて「予約なし、1,000円」という設定にしてある。
- この設定では普通、事業者はやりたがらないが、レストラン列車の折り返しなら成立する。1人でも2人でも利用者がいれば、売上アップにつながるからだ。「回送列車でもう一稼ぎ」という発想である。

④地元中高生による応援活動

Q 1

地方鉄道の維持・活性化には「地元で愛される鉄道」であることが不可欠と考えます。地元中高生による応援活動は、いつ、どのような経緯から始まったのでしょうか。また「中高生いすみ鉄道存続プロジェクト会議」が毎年行われ、長年にわたって活動を継続できている原動力はどこにあるのでしょうか。

A 1

- いすみ鉄道沿線では、長年にわたり地元の中高生による駅の清掃活動やホームの花壇づくり、車内の窓ふき、沿線の菜の花の種まきなどの地道な応援活動が続けられている。
- 平成18年の廃線危機の折に、高校生が主体の対策委員会ができて、存続に向けた手伝いをしてくれたのが始まりである。現在は高校2校、中学3校が参加し、年に数回の会議を開催している。中学生から高校生になっても続けてくれる人もいる。
- 現在は、存続も決まり、観光客も増えてきたが、生徒会を中心に活動は継続している。

Q 2

清掃活動などのほかにも、実績があればお聞かせください。

A 2

- ・対策委員会では、駅の清掃ボランティアなどのほか、マンドリン・ギター部による車内コンサート、車内演劇などを企画実行した実績もある。また、夏休みの「アテンダント体験」なども実施している。
- ・「駅弁があった方がいい」という意見が出たので、地元の事業者に依頼して、大原駅で販売したところヒット。京王百貨店の全国駅弁大会にも出品するまでになった。
- ・行先表示板に「女子高生（JK）キャラクター」を描きたいというアイデアが出た。私（社長）はその種の企画はあまり好きではなかったが、「自分たちの制服のキャラがほしい」という声に押されて、プロのデザイナーに依頼してキャラが誕生した。実際にやってみると悪くなく、周囲からも好評である。
- ・小学生を対象に、夏休みの宿題として「いすみ鉄道の絵」を募集、優秀作品の表彰や車内への掲出などを行った。「地元感」を高める取組の一つである。

Q 3

特に高校生は、通学で利用している方も多いと思いますが、活動を通じて、生徒たちはいすみ鉄道に対する愛着や誇りを抱くようになってきているのではないのでしょうか。

A 3

- ・もともと、ただ乗って学校に行くだけでなく、祖父母、親から受け継がれてきたものを大切にしたいという意識が強い。そういう地域性である。
- ・鉄道の草刈りを町が広報すると、朝から何十人もの住民が集まってくれる。そうした小さな活動の結果で守られてきた鉄道であり、中高生たちもそれを見て育ってきた。



いすみ鉄道応援団による草刈りの様子
(出典：いすみ鉄道応援団 Web サイト)

Q 4

また、こうした子どもたちの活動は、同様にいすみ鉄道の応援活動を行う大人への影響もあったのではないかと思います。大人たちの行動に何か変化はあったのでしょうか。

A 4

- ・行動への影響という点ではむしろ逆で、現在の高校生の親や祖父母が、清掃や花植えといった活動をして維持してきた。こうした地域全体の地道な活動が、高校生の公共心を高める効果もあったと考えている。その意味でいすみ鉄道は、地域が守り、育ててきた鉄道であるといえる。
- ・子どもたちの側から影響を与えたことといえば、いすみ市と大多喜町は、こうした中高生の活動を通じてつながっている。行政だけだとつながりにくい。中高生を主体とする活動で、しかも地域をつなぐ「鉄道」が関わっているとつながりやすい。

Q 5

大洗鹿島線の利用者の半数は高校生であることから、沿線高校と連携した取組が思い浮かびますが、取組を行うに当たってのアドバイスをお願いしたいと思います。

A 5

- ・中高生には「やりたいことをやりましょう」と呼び掛けており、その結果、自分たちの企画が実現する素晴らしさや、アイデアが形になる楽しさを実感してもらえていると思う。こうした体験は、本人たちが社会に出た後にきっと役に立つので、生徒の自主性をできるだけ尊重しながら進めることが大切ではないだろうか。

⑤ 自社養成運転士募集

Q 1

子どもの頃、鉄道の運転士に憧れた人も多かったと思いますが、自己負担 700 万円で運転士の夢がかなうというニュースは、非常に驚きでした。運転士の養成については、会社負担が当たり前との思い込みを打ち破るものでしたが、自己負担による養成システムを導入した狙いは、どこにあったのでしょうか。

A 1

- ・養成は平成 22 年から 6 回募集を行い、女性も含めて 10 名以上が運転士となり活躍している。
- ・当時は、運転士の確保が急務だった。世代交代ができないと、やがて運転士がいなくなる。当社はこの仕組みを導入したことで、運転士の確保に成功した。
- ・鉄道の運転士になるには、鉄道会社に所属していることが免許取得の条件で、そのため会社が免許取得費用を負担するのが原則である。ただし、このような仕組みは鉄道がむしろ例外的で、例えばバスやタクシーの場合は自費で運転免許を取ってから会社に入社する。したがって、同

- じような仕組みを鉄道にも導入できないかと考えた。その点は運輸局も賛成してくれて、実現した。
- ・私（社長）の世代は、国鉄分割民営化の時代にあつて「国鉄に入れなかった世代」。同世代には、同じように国鉄に憧れながら入社できなかった人たちが絶対いると思っていた。リーマンショックの影響もあり、そうした人たちを取り込めればと考えた。
 - ・社長自らが説明することで、組合も賛成してくれた。この点では、前職での労組経験が活きた。



いすみ鉄道の列車

Q 2

実際に運転士養成に応募された方の反応はいかがでしたか。

A 2

- ・現在、新規採用の運転士は11～12名。ローカル線で「夢を叶えたい」と集まった人たちだけに職業に対するモラルは非常に高い。
- ・新規採用の運転士は、運転だけでなく観光客の相手も含めて仕事にしたい、という人たちである。
- ・運転士には、観光客が多い列車では自分の判断で独自の案内をしていいと言っている。徐行するのもOKだ。ダイヤを少し緩めに設定してあるので、運転士もそうした余裕が持てるようになっている。

Q 3

この試みは、運転士をはじめとする鉄道事業者の人材育成や確保の課題に、一石を投じるものではないかと考えますが、成果についてどのようにお考えですか。

A 3

- ・当初の周囲からの意見は、安全面への不安と、「よくやった」という声が多々だった。結果的には、モラルの高い運転士が集まり、安全面の不安は払拭されている。
- ・社内に運転士の教育システムが構築できたことは、会社の大きな財産となっている。
- ・当社のベテラン運転士は、国鉄分割民営化の流れの中で「指導員になれなかった」人たちである。目をつぶっていても正確に停止位置に止められる技術を伝承しないのはもったいない。そうした人たちがいきいきとして指導に取り組んでくれた結果、今も卒業生とは「師匠－弟子」のつながりがある。

⑥行政の支援体制

Q 1

行政においては、安全輸送設備整備の支援のほか、フリーきっぷの発売などにおける広域的な取組も行われていると伺いました。具体的には、どのような取組が行われているのでしょうか。

A 1

- ・「房総横断鉄道トコトコきっぷ」は「房総横断鉄道活性化協議会」を通じ、平成 27 年度の市原市ふるさと交付金「消費喚起」分野で事業採択されたものである。
- ・一方「サンキュー♥ちばフリーパス」は、県の出資により JR が販売するという形式をとった。
- ・房総横断鉄道活性化協議会は平成 17 年度の設立で、小湊鉄道といすみ鉄道を一体で考える協議会である。接続する 2 社の線路を 1 本で売り出していこうという取組を進めている。

Q 2

地方鉄道を支える県や市町村の役割、とりわけ、利用促進事業に関する行政のスタンスについて、これまでの御経験を踏まえ何かアドバイスをいただけないでしょうか。

A 2

- ・行政の支援に関しては、地方鉄道では基本的にないと成立しない。道路を走るバスでも赤字なのに、線路の維持管理が必要な鉄道はそもそも無理。上下分離の考え方を入れて、線路保守や車両修繕には県も含めた行政の支援を仰いでいる。
- ・会社としては、補助金の種類や仕組みは分かりにくい。特に第三セクター鉄道にとって、県の力は大きいと思う。県がリーダーシップを取れば、市町も付いてくる。
- ・千葉県知事は、就任後すぐにいすみ鉄道を訪問し、現在に至るまで応援してくれている。「房総半島は可能性の宝庫」という考え方だ。
- ・例えば、鹿児島県では交通政策課の若手職員が中心となり、フェイスブックを通じて鉄道情報を発信している。他にも、鉄道に熱心な県は岐阜県、岡山県、福岡県などいくつかある。

Q 3

行政との関係が深い「第三セクター」という経営形態について、どのようにお考えですか。

A 3

- ・振り返ってみれば、第三セクター化は、地域が自分たちで鉄道を引き受ける覚悟があるかどうか、一つの試金石だったのかもしれない。その結果、この地域にはその覚悟が「ある」ということが分かったといえる。
- ・第三セクター化以来 20 年間、年間 1 億円を支出してきたという「ベース」がこの地域にはある。地域が守ってきた鉄道だからこそ、いかに地域に利益をもたらすかを考えていかなければいけない。

⑦いすみ鉄道と地方鉄道の今後

Q 1

最近では各地の鉄道会社がいろいろな企画を仕掛け、ライバルも増えてきました。今後の新企画などへの取組についてお聞かせください。

A 1

- ・鉄道事業者として、企画の事業展開は当社に一日の長があるので、あまり危機感を抱いていない。それよりも、4年目を迎えて初期需要が一巡したことが厳しい。そこで、伊勢海老列車や新酒列車など、企画の幅を広げているいろいろなことにチャレンジしている。これからが正念場である。
- ・様々な施策を打ち出した結果、小幅ではあるが黒字へと転換できた。しかし一方で、接続する小湊鐵道が水害で運休したときはダメージを受けたこともあり、経営の安定化は引き続き課題ではある。
- ・最近、タイ語の「日本の観光鉄道」という本が刊行され、いすみ鉄道が表紙になったことで、現地でちょっとしたブームになっている。観光旅行で来日しても、日本食ばかりでは飽きるだろうと考え、本格的なタイ料理の提供を考えている。一過性でない本質的なインバウンドには期待している。
- ・「SLを走らせれば」という人もいる。私（社長）個人としてもSLは大好きだが、コスト面を考えると一社が所有して走らせるのは無理があり、今後も身の丈に合った企画を打ち出していきたい。
- ・JRはじめ他社では有名デザイナーによる観光列車も増えてきたが、いすみ鉄道としては、観光列車だからといって特徴を出しすぎない方がよいと考えている。「見慣れた車内」の方が落ち着くからだ。
- ・有名デザイナーの事務所の強みは、コンセプトづくりから確認申請に至るまで、ノウハウを漏れなく提供してくれるところだが、使うかどうかは各社の判断だと思う。

Q 2

地域交通の担い手として、いすみ鉄道が今後進むべき方向性について展望をお聞かせください。

A 2

- ・例えば、JR九州の営業係数（※）は140であるが、関連事業を加えて黒字とし、上場にまでこぎ着けた。一方、いすみ鉄道の場合は地域事業者としてバス、タクシー、ホテルなどが社外の民間企業として存在する。したがって、鉄道単体では完全上下分離した上で収支がトントンであれば十分で、それよりもそうした地域事業者も含めた地域全体がうるおうことが成功と考える。
- ・鉄道には、地域に貢献できる様々な役割がある。子どもたちの啓発、行政の横のつながり、高齢者の憩いの場としての役割、などが考えられる。

- ・ローカル線は、地域を元気にするためにもっと活用できるはずだ。鉄道を活用できない地域は、地方創生も立ちゆかないのではないか。何でも「やってくれ」ではだめだ。
- ・これからは、鉄道がなくなってもバスがあるからいい、という時代ではない。ドライバー不足で、バスすら走らない時代になる。既に鉄道を廃止した地域も、ことごとく後悔している。大洗鹿島線と同じ茨城県でも、廃止になった鹿島鉄道はもったいないことをしたと思う。
- ・税金や交付金が投入されていることを都会の人に許容してもらい、そうした事情の上で成り立っている景観を「見に行ってみたい」と思ってもらうことが、上昇スパイラルにつながると思う。
- ・そもそも、運賃収入で全て賄おうとするから無理が生じるともいえる。観光鉄道の場合、乗降客「ゼロ」の駅があっても、それこそが「ロマン」であり、かえって価値が生じる。最近では「秘境駅」もブームとなり、地元が200万円負担して存続させた例もある。地元でそれだけの熱意があれば、要望が通る可能性も高まっていく。そういう隠れた観光資源を「お荷物」と捉えているうちはだめだ。

※ 100円稼ぐために掛かる費用を表す係数

Q 3

いすみ鉄道、鹿島臨海鉄道といった範囲にとどまらず、今後の地方鉄道が生き残っていくための方策について、お考えをお聞かせください。

A 3

- ・現在、特に第三セクター鉄道の最大の懸案は、電気関係にしても保線関係にしても人材がいないということである。従来はJRに委託するなどしてきたが、JR側も「人が出せない」状況になりつつある。このままでは、会社の基本的な構成自体が成り立たないということになりかねない。
- ・あと10年もすれば「並行在来線問題」が顕在化する。新幹線の並行在来線で第三セクター化したところは、今のままでは運転士のプロパー化すら進まず、現役世代が定年を迎えれば立ちゆかなくなる。
- ・こうした状況を打開するため、全国の地方鉄道が連携する時代が来ているのではないか。中央に本社を置き、経営のプロや専門家の知恵を集めて、各地域の鉄道を運営する。電気や保線の技術者も、中央でまとめて養成して各社に派遣する形なら、各鉄道が自前で人材を抱える必要はなくなる。
- ・監督者を派遣する形をとれば、現在は資格等の問題でJR系以外の参入が難しい地元の土建業者にも、保線等に参入できる道が開ける。上下分離で補助金が出ているとすれば、地元業者に依頼する方が地域に還元できるので、より望ましい形といえる。



- 中央集中型の組織にすれば、例えば SL を走らせるにしても、SL の所有や維持管理、乗務員養成などは中央で行い、各鉄道持ち回りでイベントを実施するような形も可能になる。これなら、資金的に余裕のない地方鉄道でも SL 運行が可能になる。例えば、月額 3,000 万円で SL 運行が可能になれば、多くの鉄道でイベント企画が成立するのではないか。
- 集約可能な業務は中央にまとめることで、例えば車両増備などにもスケールメリットが生まれコストダウンも可能になる。また、人的交流による整備の統合なども可能になる。

第5章 鹿島臨海鉄道利用促進策に関する提案

1 鹿島臨海鉄道利用促進策に関する提案一覧表

鹿島臨海鉄道における利用促進策について、各委員からの提案を実施した。次頁の一覧表は、その利用促進策を分類ごとに整理したものである。

No.	ゾーンキー1				ゾーンキー2				利用促進策名	委員名
	分類①	分類②	分類③	分類④	対象①	対象②	対象③	対象④		
12	企画定期券	企画切符	地域連携		沿線住民	中高生	高齢者		鉄道利用を誘引する各種サービスの提供	鈴木委員(鹿島臨鉄)
7	企画定期券				中高生				通学定期券助成制度	鈴木委員(鹿島臨鉄)
71	企画定期券				中高生				通学定期券のグループ割引	増子委員(JR水戸支社)
13	企画定期券				中高生				通学片道定期券	二宅委員(水戸市)
21	企画定期券				中高生				通学片道定期券	小川委員(大洗町)
31	企画定期券				中高生				通学片道定期券	小野瀬委員(鉾田市)
79	企画定期券				中高生				通学片道定期券	角田委員(茨城県)
86	企画定期券				中高生				学期定期券	藤田委員(機構)
22	企画定期券				中高生				年間定期券	小川委員(大洗町)
43	企画定期券				中高生	若年者	壮年者		鉄道・バス共通定期券(地元バス会社連携)	柿崎委員(潮来市)
44	企画定期券				壮年者	若年者	高齢者		通勤定期券助成制度	柿崎委員(潮来市)
42	企画定期券				高齢者				シニア定期券	柿崎委員(潮来市)
23	企画切符				沿線住民	観光客			ホリデーフリーきっぷ	小川委員(大洗町)
24	企画切符				沿線住民				お買い物きっぷ	小川委員(大洗町)
26	企画切符				沿線住民				特別回数券(各種回数券の充実)	小川委員(大洗町)
28	企画切符				沿線住民				市町広報誌を活用した割引クーポン	小川委員(大洗町)
27	企画切符				観光客	沿線住民			列車・バス連携切符	小川委員(大洗町)
33	企画切符	地域連携			観光客				サイクル&ライドきっぷ	小野瀬委員(鉾田市)
63	企画切符	地域連携	交通連携	ダイヤ改正	観光客	沿線住民			アトラーズホームゲーム観戦バック	野口委員(かしま青年会議所)
65	企画切符	地域連携			観光客				観光パッケージきっぷ	野口委員(かしま青年会議所)
45	企画切符				家族連れ	観光客			大洗鹿島線沿線小学生限定1日フリー切符	柿崎委員(潮来市)
25	企画切符				未就学児・小学生	中高生			乗ってみようきっぷ	小川委員(大洗町)
61	企画切符	地域連携			中高生				学生シネマ割きっぷ	長峰委員(JAほこた)
80	企画切符				中高生				高校生お買いもの応援きっぷ	角田委員(茨城県)
81	企画切符				中高生				中高生カルテットきっぷ	角田委員(茨城県)
87	企画切符				中高生	夫婦・カップル			休日ペア割乗車券	藤田委員(機構)
88	企画切符				中高生				定期券利用者向け割引乗車券	藤田委員(機構)
46	企画切符				高齢者				シルバーきっぷ助成制度	柿崎委員(潮来市)
91	スタンプラリー	地域連携			沿線住民	観光客			大洗鹿島線沿線スタンプラリー	藤田委員(機構)
32	スタンプラリー				観光客	若年者			ガールズ&ハンツァースタンプラリー	小野瀬委員(鉾田市)
82	スタンプラリー	企画切符			高齢者				御達者スタンプラリー	角田委員(茨城県)
9	沿線ガイド	交通連携	地域連携		沿線住民	観光客			鉄道駅結節機能の強化	鈴木委員(鹿島臨鉄)
10	沿線ガイド	地域連携			沿線住民	観光客			広報媒体としての駅施設等活用	鈴木委員(鹿島臨鉄)
76	沿線ガイド	地域連携			沿線住民	観光客			沿線マップ(お祭り編)の作成・配布	増子委員(JR水戸支社)
58	沿線ガイド				観光客				お花見スポット紹介	石田委員(りんてつ応援団)
3	イベント(列車内)				沿線住民	観光客			車内アナウンスコンテスト	岡本委員長(筑波大学)
53	イベント(列車内)				沿線住民	観光客			ハロウィン列車	石田委員(りんてつ応援団)
75	イベント(列車内)	地域連携			沿線住民	観光客	未就学児・小学生	中高生	ギャラリー列車	増子委員(JR水戸支社)
34	イベント(列車内)	地域連携			観光客	沿線住民			あんこう銀列車	小野瀬委員(鉾田市)
35	イベント(列車内)	地域連携			観光客				メロン列車	小野瀬委員(鉾田市)
54	イベント(列車内)	イベント(列車外)			観光客				メロン列車	石田委員(りんてつ応援団)
47	イベント(列車内)				観光客	沿線住民			納涼ビール列車	柿崎委員(潮来市)
48	イベント(列車内)				観光客	沿線住民			スイーツ&ワイン列車	柿崎委員(潮来市)
62	イベント(列車内)	イベント(列車外)	地域連携		観光客	沿線住民			特産品販売列車	長峰委員(JAほこた)
90	イベント(列車内)	イベント(列車外)	地域連携		観光客	沿線住民			特産品販売列車	藤田委員(機構)
56	イベント(列車内)	イベント(列車外)			未就学児・小学生	家族連れ			子ども職員体験教室	石田委員(りんてつ応援団)
29	イベント(列車内)				中高生				高校生による貸切列車イベント(企画コンペ)	小川委員(大洗町)
1	イベント(列車内)	イベント(列車外)	地域連携		若年者	壮年者	高齢者		婚活列車	岡本委員長(筑波大学)
2	イベント(列車内)	イベント(列車外)			その他(鉄道ファン)	観光客	沿線住民		鉄道愛好家向け実践体験	岡本委員長(筑波大学)
85	イベント(列車内)				その他(鉄道ファン)	観光客	沿線住民		リバイバル塗装列車	角田委員(茨城県)

30	イベント(列車外)	地域連携			沿線住民	観光客			新幹田駅を中心とした町おこし事業	小野瀬委員(絆田市)
36	イベント(列車外)				沿線住民	観光客			ミニギャラリーの開催	小野瀬委員(絆田市)
84	イベント(列車外)	地域連携			沿線住民	観光客	中高生		ミニギャラリーの開催	角田委員(茨城県)
60	イベント(列車外)				沿線住民	観光客			素人劇団全国大会(新幹田駅前)	石田委員(りんてつ応援団)
66	イベント(列車外)	地域連携			沿線住民	観光客			車両デザインコンテスト	野口委員(かしま青年会議所)
16	イベント(列車外)				観光客				淵沼での野鳥観察ツアー	三宅委員(水戸市)
17	イベント(列車外)				観光客				村田基フィッシングツアー	三宅委員(水戸市)
57	イベント(列車外)	地域連携			観光客	沿線住民			ハートを探そうホッコリツアー	石田委員(りんてつ応援団)
59	イベント(列車外)	地域連携			観光客				大洗食べ歩きツアー	石田委員(りんてつ応援団)
64	イベント(列車外)	地域連携			中高生				高校生利用促進プランコンテスト	野口委員(かしま青年会議所)
55	イベント(列車外)				その他(動物愛好家)				ワンニャン駅長コンテスト	石田委員(りんてつ応援団)
11	地域連携				沿線住民	観光客			無人駅舎の活用	鈴木委員(鹿島臨鉄)
20	地域連携				沿線住民	観光客			高架下スペースへの集客施設誘致	三宅委員(水戸市)
37	地域連携				沿線住民	観光客			枕木オーナー制度	小野瀬委員(絆田市)
92	地域連携				沿線住民	観光客			枕木オーナー制度	藤田委員(機構)
73	地域連携				沿線住民	観光客			駅名(愛称)のネーミングライツの導入	増子委員(JR水戸支社)
5	地域連携				未就学児・小学生				大洗鹿島線実体験授業	鈴木委員(鹿島臨鉄)
6	地域連携				未就学児・小学生	中高生			学校への出前講座	鈴木委員(鹿島臨鉄)
74	地域連携				未就学児・小学生	中高生			学校への出前講座	増子委員(JR水戸支社)
69	地域連携				その他(新規起業家)				駅前賑わい広場	野口委員(かしま青年会議所)
18	交通連携	地域連携			沿線住民	観光客			サイクルトレイン	三宅委員(水戸市)
40	交通連携	沿線ガイド	イベント(列車外)		沿線住民	観光客			サイクルトレイン	大川委員(鹿嶋市)
49	交通連携				沿線住民	観光客			サイクルトレイン	柿崎委員(潮来市)
51	交通連携				沿線住民	観光客			サイクルトレイン	沼田委員(神栖市)
77	交通連携				沿線住民	観光客			サイクルトレイン	増子委員(JR水戸支社)
78	交通連携				沿線住民	高齢者			コミュニティバスとの連携	増子委員(JR水戸支社)
39	交通連携	沿線ガイド	イベント(列車内)		観光客				観光バスとの連携及び車内放送の充実	大川委員(鹿嶋市)
8	交通連携	企画定期券	企画切符		高齢者				自動車運転免許返納者への支援	鈴木委員(鹿島臨鉄)
67	交通連携	企画定期券	企画切符		高齢者				自動車運転免許返納者への支援	野口委員(かしま青年会議所)
94	交通連携	企画定期券	企画切符		高齢者				自動車運転免許返納者への支援	藤田委員(機構)
38	ダイヤ改正				沿線住民	壮年者			飲酒運転撲滅キャンペーン列車	小野瀬委員(絆田市)
50	ダイヤ改正				沿線住民	壮年者			飲酒運転撲滅キャンペーン列車	柿崎委員(潮来市)
68	ダイヤ改正				沿線住民	観光客			運行本数の増加	野口委員(かしま青年会議所)
19	ダイヤ改正				観光客	沿線住民			分かりやすいダイヤへの変更	三宅委員(水戸市)
52	ダイヤ改正				観光客				貨物線臨時旅客列車運行(地域イベント連携)	沼田委員(神栖市)
70	その他(学校内イベント、広報)				中高生				高校生から鉄道利用(通学)のメリットを発信する機会の創出	増子委員(JR水戸支社)
4	その他(環境整備)	地域連携			沿線住民	観光客			車窓環境の整備	岡本委員長(筑波大学)
14	その他(環境整備)	地域連携			沿線住民	観光客			車窓環境の整備	三宅委員(水戸市)
41	その他(環境整備)	地域連携			沿線住民	観光客			駅周辺環境の整備	大川委員(鹿嶋市)
83	その他(環境整備)	地域連携			沿線住民	観光客			駅周辺環境の整備	角田委員(茨城県)
93	その他(環境整備)	地域連携			沿線住民	観光客			駅周辺環境の整備	藤田委員(機構)
15	その他(環境整備)				高齢者	その他(障がい者)			主要駅のバリアフリー化	三宅委員(水戸市)
89	その他(出張販売)	地域連携			中高生				新学期(4月・9月)における学校での出張販売	藤田委員(機構)
72	その他(新規事業)				沿線住民				旅客鉄道による宅急便等の輸送	増子委員(JR水戸支社)

2 鹿島臨海鉄道利用促進策に関する提案シート

各委員から提案のあった利用促進策についての詳細は、次のとおりである。

所属	国立大学法人 筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授	名前	岡本 直久
----	---------------------------------	----	-------

No.1	利用促進策名	婚活列車		
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <input type="checkbox"/> イベント（列車内）、 <input type="checkbox"/> イベント（列車外）、 <input type="checkbox"/> 地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）		
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、 <input type="checkbox"/> 若年者、 <input type="checkbox"/> 壮年者、 <input type="checkbox"/> 高齢者、その他（ ）		
	内容 イメージ	水戸集合、大洗等でランチ、パワースポット巡り（鹿島神宮等）を組み込んだお見合い婚活パーティ空間の提供を行う（参考事例：若桜鉄道）。 (参考となる利用促進策番号：)		
No.2	利用促進策名	鉄道愛好家向け実践体験		
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <input type="checkbox"/> イベント（列車内）、 <input type="checkbox"/> イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）		
	対象	<input type="checkbox"/> 沿線住民、 <input type="checkbox"/> 観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、 <input type="checkbox"/> その他（鉄道ファン）		
	内容 イメージ	鉄道愛好家向けに、本職でなければ経験できない各種業務を体験できるサービスを行う。例えば想定される業務は以下のとおり。当然のことながら全て正規社員が付き添い、安全確保がなされた上で行う。 ・指定区間を「見習い車掌」としてアナウンス業務を体験する ・保守点検作業員見習いとして同行しメンテナンス業務を体験する (参考となる利用促進策番号：)		
No.3	利用促進策名	車内アナウンスコンテスト		
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <input type="checkbox"/> イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）		
	対象	<input type="checkbox"/> 沿線住民、 <input type="checkbox"/> 観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）		
	内容 イメージ	車窓風景を題材としたガイド的アナウンスの競技を行う。 (参考となる利用促進策番号：)		
No.4	利用促進策名	車窓環境の整備		
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <input type="checkbox"/> 地域連携、交通連携、ダイヤ改正、 <input type="checkbox"/> その他（環境整備）		
	対象	<input type="checkbox"/> 沿線住民、 <input type="checkbox"/> 観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）		
	内容 イメージ	車窓風景の工夫を行う。 ・静的風景：田んぼアート（実施済み）、巨大絵画 ・動的風景：物語の演出（戦うヒーローと怪獣、田植えするウルトラマン）、沿線高校生の発表の場の提供（チアリーディング等）等の毎日の変化 (参考となる利用促進策番号：)		

所属	鹿島臨海鉄道株式会社 代表取締役副社長	名前	鈴木 哲也
----	------------------------	----	-------

No.5	利用促進策名	大洗鹿島線実体験授業	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・ <u>小学生</u> 、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	沿線小学校における生活科（1・2年生）授業の一環として、大洗鹿島線の乗車体験を必須化することにより、乗車体験を通じて鉄道を身近に感じ、将来にわたり沿線住民の生活に欠かせない公共交通として知ってもらおう。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.6	利用促進策名	学校への出前講座	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・ <u>小学生</u> 、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	総合的な学習の時間（小学3～6年生）を利用した出前講座により、大洗鹿島線の現状を認識した上で、利用促進に向けた課題解決や提案をグループワークにより取りまとめて発表。実現可能なものは、実際の業務に反映し、将来の列車利用世代に関心と問題意識を持ってもらう。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.7	利用促進策名	通学定期券助成制度	
	分類	<u>企画定期券</u> 、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	公共交通機関を利用して通学している高校生を対象に、通学定期購入費用の一部を自治体が補助することにより、子育て支援と公共交通の利用を促進する。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.8	利用促進策名	自動車運転免許証返納者への支援	
	分類	<u>企画定期券</u> 、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、その他（ ）	
	内容イメージ	高齢ドライバーによる交通事故が大きくクローズアップされていることから、自主返納を支援する制度を沿線自治体及び鹿島臨海鉄道双方で設け、高齢ドライバーの交通事故未然防止と公共交通の利用促進を図る。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.9	利用促進策名	鉄道駅結節機能の強化	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、 <u>沿線ガイド</u> 、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	二次交通の確保によりターミナル機能を高めて利便性を向上するとともに、駅前広場に観光案内板（歴史巡りやウォーキングコースなど含む）を設置して観光案内機能を強化することにより、利用促進につなげる。 (参考となる利用促進策番号：)	

No.10	利用促進策名	広報媒体としての駅施設等活用
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、 <u>沿線ガイド</u> 、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	沿線自治体のイベントや生涯学習講座などのポスター類を列車内や駅舎に掲出して広報・告知することにより、イベント等の集客力アップと列車の利用促進につなげる。 (参考となる利用促進策番号：)
No.11	利用促進策名	無人駅舎の活用
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	関東の駅百選に選ばれている鹿島大野駅は、広域連携バス「鹿行北浦ライン」の起終点になっていることから、今後、交通結節点としての相乗効果が得られるよう賑わいや憩いの場としての活用を図る。 (参考となる利用促進策番号：)
No.12	利用促進策名	鉄道利用を誘引する各種サービスの提供
	分類	<u>企画定期券</u> 、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、その他（ ）
	内容イメージ	片道定期券、学期定期券、通学回数券、シルバー回数券など、主に交通弱者（通学利用の学生や高齢者）を対象とした企画切符の発売を検討し、列車利用の促進を図る。 (参考となる利用促進策番号：)

所属	水戸市 市長公室長	名前	三宅 正人
----	-----------	----	-------

No.13	利用促進策名	通学片道定期券
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	高校へのヒアリングにおいて、朝、スクールバスや親の車を利用しているが、部活動等を行っていて下校時間が一定ではない生徒から強く導入が求められている。特に帰りの時間帯の利用が増えることが考えられる。 (参考となる利用促進策番号： 1)
No.14	利用促進策名	車窓環境の整備
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（環境整備）</u>
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	窓ガラスの清掃の徹底とともに、新型車両へのセミクロスシートの導入により、車窓の風景を楽しみながら乗車する環境を整える。 (参考となる利用促進策番号：)
No.15	利用促進策名	主要駅のバリアフリー化
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（環境整備）</u>
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、 <u>その他（障がい者）</u>
	内容イメージ	高齢者や障がい者の利用促進や新たな利用促進策の実施のため、大洗駅等の主要駅でバリアフリー化を進める。 (参考となる利用促進策番号：)
No.16	利用促進策名	涸沼での野鳥観察ツアー
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	ラムサール条約に登録された涸沼で、四季それぞれの野鳥観賞を目的としたツアーを、季節ごとに行う。 (参考となる利用促進策番号：)
No.17	利用促進策名	村田基フィッシングツアー
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	バスフィッシング、トラウトフィッシング、ルアーフィッシングの先駆者として全国的に非常に有名な村田基氏と、大洗鹿島線沿線の湖（北浦等）で釣りをを行う企画。村田氏は、茨城大使、全国管理釣り場協会会長、霞ヶ浦北浦湖面調整委員会副会長を務めているほか、潮来つり具センターの店長であり、沿線での釣りは企画しやすい。 (参考となる利用促進策番号：)

No.18	利用促進策名	サイクルトレイン
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	大洗鹿島線沿線には一般県道茨城大洗自転車道などのサイクリングロードがあり、サイクルトレインを実施することで、大洗鹿島線の利用促進と自転車移動による地域の活性化を目指す。また、駅に安全で快適に自転車を駐輪できる環境を整備することで、サイクル・アンド・ライドによる利用者の増加を目指す。 (参考となる利用促進策番号： 98)
No.19	利用促進策名	分かりやすいダイヤへの変更
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	ラウンドダイヤなど、特に観光客に対して分かりやすいダイヤにすることで、大洗鹿島線を利用した回遊性を高める。 (参考となる利用促進策番号：)
No.20	利用促進策名	高架下スペースへの集客施設誘致
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	高架下のスペースに、道の駅やイベントスペースを整備し、地域住民がその空間を利用して様々なイベントや催しを行うことで地域の活性化を図る。 (参考となる利用促進策番号：)

所属	大洗町 まちづくり推進課長	名前	小川 悟
----	---------------	----	------

No.21	利用促進策名	通学片道定期券
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	他地域の鉄道に準じて企画、発行する。 家族の多様なライフスタイルに応じた形で、需要は見込めると思われる。 (参考となる利用促進策番号： 1)
No.22	利用促進策名	年間定期券
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	他地域の鉄道に準じて企画、発行する。 紛失のリスクを考慮して再発行を認める代わりに、本人確認の徹底などの対策が必要と考えられる。 (参考となる利用促進策番号： 4)
No.23	利用促進策名	ホリデーフリーきっぷ
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	休日に限定したフリー乗車券を、対象年齢を限定せずに発行する。 中高生に対しては、学生証提示により更に運賃を割引する。 (参考となる利用促進策番号： 8、9)
No.24	利用促進策名	お買い物きっぷ
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	水戸駅降車後の買い物（エクセル、丸井、駅周辺商店街等）、鹿島神宮駅降車後の買い物（チェリオ、サンポート等）の割引券とセットにした乗車券の販売する。 (参考となる利用促進策番号： 13)
No.25	利用促進策名	乗ってみようきっぷ
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・ <u>小学生</u> 、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	中学生以下の児童に、保護者の同伴なく1人での公共交通機関利用を啓発する乗車券を販売する。 学校の長期休み期間に限定し、運賃は通常の半額に設定する代わりに、3～5枚綴り程度を想定する。 鉄道マナー・交通安全・防犯を啓発する冊子、ノベルティグッズ等を添付する。 (参考となる利用促進策番号：)

No.26	利用促進策名	特別回数券（各種回数券の充実）
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	継続的な鉄道利用を促すため、使用条件と引き換えに割引率を上げた回数券を充実させる。 （例）同一有効期間内で2～3倍の発行枚数、平日昼間のみ有効、利用回数に応じて割引率上昇 （参考となる利用促進策番号： ）
No.27	利用促進策名	列車・バス連携切符
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	大洗鹿島線は駅と市街地・観光地が近接していないため、二次交通との連携がもっと必要である。 バス会社と提携し、大洗・新鉾田・鹿島神宮駅から目的地までのセット乗車券を企画してはいかかがか。 需要が見込まれれば、臨時バスの運行も検討材料となる。 （参考となる利用促進策番号： 17、96 ）
No.28	利用促進策名	市町広報誌を活用した割引クーポン
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	沿線市町の広報誌に運賃割引クーポンを印刷（100～300円程度）する。 クーポン利用分の差額は、沿線自治体や「大洗鹿島線を育てる沿線市町会議」等での負担について要検討。 （参考となる利用促進策番号： ）
No.29	利用促進策名	高校生による貸切列車イベント（企画コンペ）
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	県内（主に沿線）の高校生団体に対し、臨時列車1両を活用したイベント企画を公募する。 最優秀企画に対して、イベントの場（車両）の提供と併せ、実現費用を助成する。 （参考となる利用促進策番号： 85 ）

所属	銚田市 総務部長	名前	小野瀬 武彦
----	----------	----	--------

No.30	利用促進策名	新銚田駅を中心とした町おこし事業
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	新銚田駅の周辺環境を利用し、地元店舗との協力による街中活性化、地場製品のブランディング、ウォーキングによる健康増進等、各々の事業を連携させて複合的な町おこし事業を展開する。その中で大洗鹿島線利用者への特典を用意し、市外からの大洗鹿島線利用による誘客及び市民の大洗鹿島線利用促進を図る。 (参考となる利用促進策番号：)
No.31	利用促進策名	通学片道定期券
	分類	<u>企画定期券</u> 、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	通学時における片道のみ利用できる定期券。 部活動等で帰宅時のスクールバスの利用ができない学生が利用すると思われる。 (参考となる利用促進策番号： 1)
No.32	利用促進策名	ガールズ&パンツァースタンプラリー
	分類	企画定期券、企画切符、 <u>スタンプラリー</u> 、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、 <u>若年者</u> 、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	各駅にちなんだキャラクターを配し、同作のファンを誘客する。 (参考となる利用促進策番号： 26)
No.33	利用促進策名	サイクル&ライドきっぷ
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	レンタサイクル利用料と運賃をパッケージで販売する。 (参考となる利用促進策番号： 100)
No.34	利用促進策名	あんこう鍋列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	車内であんこう鍋を提供する。 (参考となる利用促進策番号： 55)

No.35	利用促進策名	メロン列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント(列車内)</u> 、イベント(列車外)、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他()
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容 イメージ	車内で地元産メロンを食べ放題で提供する。 (参考となる利用促進策番号：41)
No.36	利用促進策名	ミニギャラリーの開催
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント(列車内)、 <u>イベント(列車外)</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他</u> (駅利用者)
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容 イメージ	駅の空きスペースを利用し、大洗鹿島線の列車及び沿線風景の写真を掲示する。 (参考となる利用促進策番号：94)
No.37	利用促進策名	枕木オーナー制度
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント(列車内)、イベント(列車外)、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容 イメージ	鉄道を支える枕木に対し支援を募り、文字どおり鉄道を支える「枕木オーナー」になってもらう事で、マイルール意識の醸成を図る。 枕木へオーナー名を表示付し写真と位置図を併せたオーナー証を返礼とする。 (参考となる利用促進策番号：83)
No.38	利用促進策名	飲酒運転撲滅キャンペーン列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント(列車内)、イベント(列車外)、地域連携、交通連携、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、 <u>壮年者</u> 、高齢者、その他()
	内容 イメージ	年末年始等の飲酒の機会が増える時期のみ、通常のダイヤより遅い便を運行させる。 (参考となる利用促進策番号：104)

所属	鹿嶋市 政策企画部長	名前	大川 文一
----	------------	----	-------

No.39	利用促進策名	観光バスとの連携及び車内放送の充実
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、 <u>沿線ガイド</u> 、 <u>イベント(列車内)</u> 、イベント(列車外)、地域連携、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他()
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容イメージ	観光バスルート(大洗⇄鹿嶋)に列車活用による移動プランをツアー会社へ提案し、車内観光案内やモニター観光映像の充実を図ることで観光PRを実施し、観光客による利用促進を図る。 (参考となる利用促進策番号:)
No.40	利用促進策名	サイクルトレイン
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、 <u>沿線ガイド</u> 、イベント(列車内)、 <u>イベント(列車外)</u> 、地域連携、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容イメージ	サイクルトレインを実施することで、沿線のサイクリングや観光、買い物など気軽に活用できる。将来的には県の推進する北浦サイクリングコース整備事業と連携していく。 (参考となる利用促進策番号:)
No.41	利用促進策名	駅周辺環境の整備
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント(列車内)、イベント(列車外)、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他(環境整備)</u>
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容イメージ	現在実施している駅周辺環境整備事業を沿線住民や学校と連携をより強化することにより、駅を利用する全ての人々へのイメージアップを図るとともに、鉄道に対する沿線住民の愛着を深める。 (参考となる利用促進策番号:)

所属	潮来市 総務部長	名前	柿崎 純一
----	----------	----	-------

No.42	利用促進策名	シニア寿定期券
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	満 61 歳以上の方を対象に、割安な定期券を発行する。 高齢者の自動車運転事故に対応するため、公共交通利用への転換を図る。 (参考となる利用促進策番号： 2)
No.43	利用促進策名	鉄道・バス共通定期券（地元バス会社連携）
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	鉄道及び周辺を運行するバスの共通定期券を発行する。 鉄道及びバスの乗り継ぎ抵抗を低減させるため、共通の定期券を発行する。 (参考となる利用促進策番号： 3)
No.44	利用促進策名	通勤定期券助成制度
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	通勤定期券をより割安に発行する。 より割安な通勤定期の発行により、水戸方面及び成田方面への通勤者の利用獲得を図る。 (参考となる利用促進策番号： 5)
No.45	利用促進策名	大洗鹿島線沿線小学生限定 1 日フリー切符
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	家族連れ（観光客を含む）を対象に、1 日フリー切符を発行する。 鉄道沿線の観光拠点等においては、イベントを開催するなど、効果促進を図る。 (参考となる利用促進策番号： 6)
No.46	利用促進策名	シルバーきっぷ助成制度
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	高齢者を対象に、1 日フリー切符を発行する。 高齢者の利用促進を図るため、沿線の観光拠点等において高齢者を対象としたイベントを開催し、効果促進を図る。 (参考となる利用促進策番号： 12)

No.47	利用促進策名	納涼ビール列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント(列車内)</u> 、イベント(列車外)、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容イメージ	ビール飲み放題及び地元の名産等を振舞う(お土産含む)予約制の運行を実施する。 鉄道沿線のみならず、地元のPR等にも貢献する。 (参考となる利用促進策番号： 42)
No.48	利用促進策名	スイーツ&ワイン列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント(列車内)</u> 、イベント(列車外)、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容イメージ	地元の名産(メロンなど)を活用した利用者に満足していただけるスイーツやワインを振舞う予約制の運行を実施する。 鉄道沿線のみならず、地元のPR等にも貢献する。 (参考となる利用促進策番号： 57)
No.49	利用促進策名	サイクルトレイン
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント(列車内)、イベント(列車外)、地域連携、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他()
	内容イメージ	自転車の持ち込みが可能となる便を運行する。 沿線にはサイクリングに適した道路等が数多く存在しているため、サイクリング愛好家等の利用を図る。 (参考となる利用促進策番号： 99)
No.50	利用促進策名	飲酒運転撲滅キャンペーン列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント(列車内)、イベント(列車外)、地域連携、交通連携、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他()
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、 <u>壮年者</u> 、高齢者、その他()
	内容イメージ	金曜日及び土曜日を中心に深夜便の運行を実施する。 飲酒運転の撲滅及び飲食店の活性化等に向け、深夜便の需要に対応する。 (参考となる利用促進策番号： 104)

所属	神栖市 企画部長	名前	沼田 実
----	----------	----	------

No.51	利用促進策名	サイクルトレイン
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	県で実施しているサイクリング環境整備と連携してのサイクルトレインを実施する。 (参考となる利用促進策番号： 98)
No.52	利用促進策名	貨物線臨時旅客列車運行（地域イベント連携）
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	神栖市民が大洗鹿島線を身近に感じられるよう、アントラージュホームゲーム時やイベント時期に旅客列車を運行する。 (参考となる利用促進策番号： 105)

所属	鹿島臨海鉄道 りんてつ応援団 団長	名前	石田 久枝
----	----------------------	----	-------

No.53	利用促進策名	ハロウィン列車	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中学生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	団員が仮装して列車に乗り、乗客にプレゼントを配る。 昨年に続き、継続事業（経費はすべて応援団持ち）。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.54	利用促進策名	メロン列車	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中学生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	水戸駅－新銚田駅間を運行する（観光バスは回送）。 列車の中で面白案内（参考事例：長井線）を行い、その後メロン狩りを実施する。 エージェントとタイアップ出来る体制をつくる。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.55	利用促進策名	ワンニャン駅長コンテスト	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中学生、若年者、壮年者、高齢者、 <u>その他（動物愛好家）</u>	
	内容 イメージ	自分の犬・猫こそアイドル駅長に相応しいと思っている愛犬・愛猫家を公募する。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.56	利用促進策名	子ども駅員体験教室	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、 <u>イベント（列車外）</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、 <u>家族連れ</u> 、夫婦・カップル、 <u>未就学児・小学生</u> 、中学生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	駅員の仕事体験を行う（改札係員、車掌業務等）。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.57	利用促進策名	ハートを探す、ホッコリツアー	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中学生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	水戸駅－鹿島神宮駅間を運行する（往復 3,000 円程度、食事付き）。 鹿島神宮にあるハート（幸せ）探しの旅。ホッコリツアーなので、プレゼントは焼芋、ハートチップル等が考えられる。 (参考となる利用促進策番号：)	

No.58	利用促進策名	お花見スポット紹介
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、 <u>沿線ガイド</u> 、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	沿線にあるお花見スポットの宣伝・紹介を行う。 (参考となる利用促進策番号：)
No.59	利用促進策名	大洗食べ歩きツアー
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	ツアー例は以下のとおり。 (例) 大洗駅ー小さなパン屋ーみつ団子ー米菓店ー肉じゃがーカニクリームコロッケーめんたいパークー市場ー 巡回バスー大洗駅 観光ボランティアとの連携も検討する。 (参考となる利用促進策番号：)
No.60	利用促進策名	素人劇団全国大会（新鉾田駅前）
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	広場を利用して大根役者と田舎の大根をかけて行う、観客をどのくらい笑わせられたかで判定する。 (参考となる利用促進策番号：)

所属	ほこた農業協同組合 代表理事組合長	名前	長峰 茂通
----	----------------------	----	-------

No.61	利用促進策名	学生シネマ割きっぷ	
	分 類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対 象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内 容 イ メ ー ジ	話題の映画を友達と一緒に観る。沿線に住む学生なら誰しも一度は体験したはずだ。親からは少し距離を置いて自分たちだけで遊びたい、そんな学生をターゲットに割引を実施し、映画館とも提携して利用者増へ。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.62	利用促進策名	特産品販売列車	
	分 類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、 <u>イベント（列車外）</u> 、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対 象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内 容 イ メ ー ジ	駅や車両内で地元の特産品を販売する。 (参考となる利用促進策番号：)	

所属	公益社団法人 かしま青年会議所 理事長	名前	野口 清人
----	------------------------	----	-------

No.63	利用促進策名	アントラーズホームゲーム観戦パック	
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）	
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	アントラーズのホームゲーム観戦チケットと乗車券を抱き合わせて販売し、各駅近郊に巡回バスを走らせる。 スタジアム周辺の交通渋滞緩和、飲酒運転撲滅にもつながる。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.64	利用促進策名	高校生利用促進プランコンテスト	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、 <u>地域連携</u> 、交通連携、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	利用者の中心である高校生にどうすれば大洗鹿島線の利用者の増加と地域の活性化ができるか考えてもらい賞金をつけてコンテストを行う。 郷土愛の醸成につながり、大学等の進学で他県に移住したときに自然と地域セールスマンとして友人等に茨城を宣伝してくれるようになる。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.65	利用促進策名	観光パッケージきっぷ	
	分類	<u>企画定期券</u> 、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）	
	対象	沿線住民、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	観光プランを作り、乗り放題の切符を発行する。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.66	利用促進策名	車両デザインコンテスト	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、 <u>地域連携</u> 、交通連携、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）	
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容 イメージ	車両の外装デザインを公募する。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.67	利用促進策名	自動車運転免許証返納者への支援	
	分類	<u>企画定期券</u> 、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、 <u>ダイヤ改正</u> 、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、その他（ ）	
	内容 イメージ	高齢により自動車運転免許を返還された方を対象に免許証に代わる定期券を格安若しくは無償で提供する。 高齢者の操作ミスで起こる交通事故の減少にもつながる。 (参考となる利用促進策番号：)	

No.68	利用促進策名	運行本数の増加
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、 ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	運行本数を増やす。 (参考となる利用促進策番号：)
No.69	利用促進策名	駅前賑わい広場
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、 ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、 <u>その他（新規起業者）</u>
	内容 イメージ	駅前駐車場若しくは駅周辺に格安で借りることのできる飲食店を中心とした横町、屋台村をつくる。入居できる 期間は最長で2～3年間とし、期限を迎えた者、事業計画から大きく外れる者、売り上げ目標に達しない者は退 去しなければならない。 (参考となる利用促進策番号：)

所属	東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社 総務部 企画室長	名前	増子 隆行
----	------------------------------	----	-------

No.70	利用促進策名	高校生から鉄道利用（通学）のメリットを発信する機会の創出	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（学校内イベント、広報）</u>	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	現在、大洗鹿島線を利用して通学している高校生から「鉄道を利用した通学のメリット」（友人との情報交換、勉強や趣味に時間を有効に活用等）を学校内や他校へ広く発信できる機会をつくる（学校間の情報交換会、市のHPや広報誌等）ことにより、通学利用の促進が図られると考える。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.71	利用促進策名	通学定期券のグループ割引	
	分類	<u>企画定期券</u> 、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	通学に大洗鹿島線を利用している高校生が、これまで通学に同線を利用していない友人に声を掛け、グループで一緒に利用（登下校）することにより割引される企画定期券を発行する。これにより同線を通学に利用する高校生間の情報交換も密になり、定期代も割安になるため、鉄道利用への転換が期待できると考える。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.72	利用促進策名	旅客鉄道による宅急便等の輸送	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（新規事業）</u>	
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	大洗鹿島線の主要駅間における物流の一部を同線が担うことにより、沿線住民の皆様には「人だけではなく荷物も運んでくれる鉄道」という認識を持っていただき、地域に密着し無くてはならない鉄道という想いを持っていただくことにより利用促進が期待できると考える。 (参考となる利用促進策番号：)	
No.73	利用促進策名	駅名（愛称）のネーミングライツの導入	
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）	
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）	
	内容イメージ	沿線の自治体や団体、住民等から駅名（愛称）を募集し、住民投票等にて愛称を決定する。駅名標には愛称を併記し、車内放送でも両方を案内することにより、駅や駅名への愛着が強まり、マイルール意識の醸成を図ることができると考える。 (参考となる利用促進策番号： 83)	

No.74	利用促進策名	学校への出前講座
	分 類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 地域連携 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対 象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、 未就学児・小学生 、 中高生 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内 容 イ メ ー ジ	沿線の小学校・中学校へ出向いて交通機関として鉄道の優れた点（安全面、環境面等）を伝えるとともに、鉄道の利用方法やマナー等も学べる授業を行う。将来の鉄道利用者となる小・中学生に大洗鹿島線のファンになってもらい、高校への通学には同線が選択されるよう関心を高めてもらうことが可能と考える。 (参考となる利用促進策番号： 73)
No.75	利用促進策名	ギャラリー列車
	分 類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 イベント（列車内） 、イベント（列車外）、 地域連携 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対 象	沿線住民 、 観光客 、家族連れ、夫婦・カップル、 未就学児・小学生 、 中高生 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内 容 イ メ ー ジ	大洗鹿島線を題材とした小学生対象の絵画展及び同線を被写体とした中・高校生対象のフォトコンテストを開催し、受賞作品を同線の車両に展示する。絵画展は夏休み期間に開催して両親とともに作品を見ることを乗車のきっかけとし、またフォトコンテストは秋に開催して文化祭との相乗効果を図り、同線に親しみを持っていただくことにつながると考える。 (参考となる利用促進策番号： 92)
No.76	利用促進策名	沿線マップ（お祭り編）の作成・配布
	分 類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、 沿線ガイド 、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 地域連携 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対 象	沿線住民 、 観光客 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内 容 イ メ ー ジ	大洗鹿島線のお祭り（開催期間、規模、内容、最寄駅等）を紹介したガイドブックを作成し、主要駅への配置や沿線住民へ配布する。お祭りが開催される箇所の周辺道路等は混雑するため、公共交通機関である列車の利用を推奨するとともに、列車利用ならではの利点（お酒が楽しめる等）もアピールする。また、乗車証明書の提示により沿線商店街でのサービスが受けられる特典を付けることにより、利用促進につながると考える。 (参考となる利用促進策番号： 39)
No.77	利用促進策名	サイクルトレイン
	分 類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、 交通連携 、ダイヤ改正、その他（ ）
	対 象	沿線住民 、 観光客 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内 容 イ メ ー ジ	サイクリングを楽しむ人が自身の自転車をそのまま車内へ持ち込むことを可能とした「サイクルトレイン」を土休日に運行することにより、これまで利用の無かったサイクリストへの利用拡大を図り、潤沼や大洗などサイクリングに適したエリア及び沿線の見どころ等を紹介したガイドマップを作成・配布して利用促進を図る。また、一般の方も気軽に自転車に乗れるようレンタルサイクルも主要駅付近に配置し、乗り捨て可能とすることによりサイクルトレインの利用促進につなげることが可能と考える。 (参考となる利用促進策番号： 98、103)

No.78	利用促進策名	コミュニティバスとの連携
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、その他（ ）
	内容イメージ	自動車の運転に不安のある、また運転できない高齢者が病院や公共施設（市役所、出張所、図書館等）、コミュニティ施設（文化センター、公民館等）へ出掛ける際に、1次交通（鉄道）の駅から目的地までのアクセス手段として2次交通（バス、タクシー等）が必要であり、その連携が重要である。駅と各施設を結ぶコミュニティバスと大洗鹿島線との連携によって利便性が向上し、利用促進につながると考える。 (参考となる利用促進策番号： 97)

所属	茨城県 企画部 参事 兼 企画課長	名前	角田 英樹
----	-------------------	----	-------

No.79	利用促進策名	通学片道定期券
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	通学時における片道分のみを対象とした定期券。 往路は家族の送迎やスクールバスを利用し、復路での定期券利用を想定し、高校生の定期利用を開拓する。 (参考となる利用促進策番号： 1)
No.80	利用促進策名	高校生お買い物応援きっぷ
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	買物等で水戸へ向かう若者、とりわけ中高生を対象とした企画切符。 水戸駅ビル等（エクセル、マイム）と提携し、買物割引券をセットとすることで、若者の利用促進を図る。 (参考となる利用促進策番号： 13)
No.81	利用促進策名	中高生カルテットきっぷ
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	買物等での利用者を対象とした企画切符。 中学・高校生は、4名での利用時に3名分の運賃とする。 (参考となる利用促進策番号： 11)
No.82	利用促進策名	御達者スタンプラリー
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、 <u>スタンプラリー</u> 、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、その他（ ）
	内容 イメージ	高齢者向けスタンプシート用意し、例えば年間累計10,000円以上乗車した方へ、ねんりんきっぷを1枚進呈。 高齢者へ「お得感」を打ち出し、鉄道利用を促す（ただし、ねんりんきっぷ購入分はスタンプ対象外）。 (参考となる利用促進策番号：)
No.83	利用促進策名	駅周辺環境の整備
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（環境整備）</u>
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容 イメージ	住民アンケートでは、防犯灯やトイレ（一部駅では水洗化されていない）、駐輪場等の整備を望む声が多い。 沿線自治体主導で環境整備を実施し、安心して利用できる駅環境の整備を図る。 (参考となる利用促進策番号：)

No.84	利用促進策名	ミニギャラリーの開催
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、 <u>イベント（列車外）</u> 、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	有人駅（大洗、澗沼、新鉾田）を中心に、高校生や愛好家団体等の沿線観光写真等を展示する。 定期的な作品入替えや情報発信を通じて、新たな地域の魅力発見につなげ、鉄道や地域の観光振興を図る。 (参考となる利用促進策番号： 94)
No.85	利用促進策名	リバイバル塗装列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、 <u>その他（鉄道ファン）</u>
	内容イメージ	かつて臨港線で営業運転を行っていた時代の塗装を施して運行する（赤い車体に白帯、車体中央部に「KRT」）。特に鉄道ファン層を誘致することで、沿線地域での飲食等消費喚起を促し、活性化につなげる。 (参考となる利用促進策番号：)

所属	一般財団法人 地方自治研究機構 常務理事	名前	藤田 萬豊
----	-------------------------	----	-------

No.86	利用促進策名	学期定期券
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	高校生には、夏休み・冬休み・春休みと年間約 2～3 か月の休みがある。定期券利用者は、その休みの分まで購入するか、3 か月定期と回数券で対応している。この現状を踏まえて、学期単位の定期券を新規に販売すると、新たな定期券利用者も確保できると考えられる。 (参考となる利用促進策番号：)
No.87	利用促進策名	休日ペア割乗車券
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、 <u>夫婦・カップル</u> 、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	定期券を持たない高校生が、休日に水戸まで買い物に行く際、大洗鹿島線を使いやすくするために休日割引切符を販売するものであるが、乗車人数の確保も考えて、2人連れに限定することとした。 (参考となる利用促進策番号：)
No.88	利用促進策名	定期券利用者向け割引乗車券
	分類	企画定期券、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、地域連携、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	日頃の定期券利用への感謝の意を込めながら、更なる利用を期待して、定期券利用者が定期券範囲外の利用をする際に、割引切符が購入できるものである。 (参考となる利用促進策番号：)
No.89	利用促進策名	新学期（4月・9月）における学校での出張販売
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（出張販売）</u>
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	高校生へのヒアリング調査を通じて、大金を持って定期券を買いに行くことに対する抵抗感が非常に強いことが分かったので、新学期毎に学校での出張販売を行うものである。この出張販売を通じて、大洗鹿島線に対する高校生の気持ちをくみ取り、新たな利用促進策を検討する機会になると期待できる。 (参考となる利用促進策番号：)
No.90	利用促進策名	特産品販売列車
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、 <u>イベント（列車内）</u> 、 <u>イベント（列車外）</u> 、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、 <u>中高生</u> 、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	茨城県が誇る JA ほこたの特産品を販売する列車である。メロン、いちごなどの果物をはじめ、生鮮野菜についても期待できる。併せて、新鉾田駅での販売も検討すべきと考える。 (参考となる利用促進策番号：)

No.91	利用促進策名	大洗鹿島線沿線スタンプラリー
	分類	企画定期券、企画切符、 <u>スタンプラリー</u> 、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	大洗駅を中心とした若者向けのスタンプラリーを行い、スタンプラリー完了者だけが入手できるガルバン記念品を提供するものである。 あるいは、健脚自慢の高齢者を対象に、鹿島神宮お百度参りスタンプラリーを実施して、完了者には鹿島神宮の特製御守りや鹿島神宮達人の名誉を提供するものである。 (参考となる利用促進策番号：)
No.92	利用促進策名	枕木オーナー制度
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	青森のりんごの木オーナー制度のように、枕木のオーナーとして、大洗鹿島線を応援いただくものである。その際の返礼は、駅構内に枕木オーナーとしての名前を掲示する等の名誉を与えるものである。 (参考となる利用促進策番号：)
No.93	利用促進策名	駅周辺環境の整備
	分類	企画定期券、企画切符、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、交通連携、ダイヤ改正、 <u>その他（環境整備）</u>
	対象	<u>沿線住民</u> 、 <u>観光客</u> 、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、高齢者、その他（ ）
	内容イメージ	アンケート調査では、駅構内のトイレが不衛生との意見もあった。利用促進には、まず、トイレを綺麗で衛生的にし、次に、花で飾るなど駅周辺の環境を整備することが大切である。この取組には、大洗鹿島線応援団や高校生の活躍に期待したい。 (参考となる利用促進策番号：)
No.94	利用促進策名	自動車運転免許証返納者への支援
	分類	<u>企画定期券</u> 、 <u>企画切符</u> 、スタンプラリー、沿線ガイド、イベント（列車内）、イベント（列車外）、 <u>地域連携</u> 、 <u>交通連携</u> 、ダイヤ改正、その他（ ）
	対象	沿線住民、観光客、家族連れ、夫婦・カップル、未就学児・小学生、中高生、若年者、壮年者、 <u>高齢者</u> 、その他（ ）
	内容イメージ	元気な高齢者の自動車免許の返納を促進するため、市町村と鹿島臨海鉄道が協力し合って自動車免許返納者への支援を検討する必要がある。 (参考となる利用促進策番号：)

委員コメント

「駅を中心としたまちづくり」に対する考え

明治維新後の交通投資は、道路整備よりもむしろ鉄道ネットワークの整備が先行していた。少なくとも戦後昭和20年代後半までは、まちづくりの中心は駅であり、公共施設、商業施設、業務が集積していた。交通以外にも公共部門の投資が集中していたものの、モータリゼーションの進展に対応が遅れた結果、駅周辺の中心市街地は道路混雑等の課題を解決できなかった。その結果、地方都市における駅及び中心市街地の吸引力が相対的に低下したのである。昭和後期からの郊外化の動きに、公共施設の移転等もそれに拍車をかけ、それまでの中心市街地の多くが衰退した。この中心市街地の空洞化といわれた都市問題に対して、これまでの投資を埋没させてはならないと、多くの取組が議論され、実行されてきた。

現在、我が国は、人口減少期を迎え、これまで形成してきたインフラサービス、公共サービスの変革期を迎えているといっても過言ではない。

都市行政においては、新たな都市計画づくりに取り組む動きが加速している。都市再生特別措置法の改正（2014年）によって創設された「立地適正化計画」は、インフラ設備の維持管理あるいは公共サービスの維持の観点から、広がり過ぎた人口分布を、空間的に集約することを一つの目的としている。人口減少と高齢者の増加、インフラの老朽化、中心市街地の荒廃など、数多くの課題への対抗策としての一つの取組であり、その議論においては公共交通のサービス維持も目的の一つとして論じられている。既存市街化地域の中に居住誘導区域と都市機能誘導区域とを指定し、時間をかけて上述の課題を解決しようとしている。既に茨城県内でも12の自治体で検討がなされており、そのうちのいくつかは平成29年度より実施されることとなっている。

このように、まちづくりあるいは都市計画の分野において、改めて公共交通の役割に注目が集まり、いかに活用するかが地域の課題となっている。

その一方で、地方部の鉄道を取り巻く環境は大変厳しい。交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会（2008年）によれば、地域鉄道事業者の路線の輸送人員は1987年から2005年の18年間で全国平均約19%減少しているほか、施設保有に掛かる経費の増大に伴い約70%の事業者が営業赤

字となっている。2000年に実施された改正鉄道事業法の施行により、需給調整規制が撤廃されたこともあいまって、2000年以降全国で22路線、延長532.2kmの鉄道路線が廃線となっている。このように、我が国の地域公共交通は利用者減少による衰退及び縮小の状況下にあるとって過言ではない。地域鉄道の運営においては沿線人口の減少やモータリゼーションの進行に伴って、利用者減少、経営状況の悪化が、とりわけ地方部において顕著に見受けられる。事業者は運行本数の削減や路線の廃止などを行い、サービスを縮小せざるを得ないのである。サービスの縮小は、更なる需要の縮減を招き、負のスパイラルに陥っている地域が多いことは否定できない。

地域鉄道が存続している地域と廃止してしまった地域との差についての比較を試みた。近年の地域鉄道の存続と廃止について調査したところ、現存路線の沿線人口と廃線路線の沿線人口との差は経年的に大きくなる傾向にあることが分かった。事業者ごとの差は大きいものの、事業者の努力による列車運行本数の維持あるいは増加と、それに伴う利便性の維持、向上が図られていること、そして路線の存廃、運行本数の増減は、沿線人口に影響を与える要因となっている。すなわち、鉄道の存続は地域維持の観点からも重要な要素であることが指摘できる。

これらの視点を整理すれば、現存する地域鉄道を維持することと、地域をコンパクト化し、新たな都市構造へと改編していくことは、まさに今後の地域維持のために必要な両輪といっても過言ではない。

しかしながら、都市構造の改編、そしてその先のライフスタイルの改革には時間が必要である。本研究会の多くの時間を割いてきた鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の利用促進策は、地域鉄道維持をより強固にするための方策であった。地域をつなぐ幹としての鉄道が元気であることこそ、地域づくり、まちづくりの土台となる。

大洗鹿島線の今後に向けて

初回の研究会において挙げられた議論は、施策のターゲットとして定期客を想定するべきか、定期客以外を想定するべきかに多くの時間が割かれた。無論、そのいずれも議論すべきであり、効率的な施策が選ばれる必要がある。

どちらかといえば、定期客を捕まえる方策の方が、定期客以外を捕まえることよりも易しいといわれることがある。1人の定期客を捕まえれば年間400人の定期客以外を捕まえたに等しいのである。400人の定期客以外を捕まえることがどれほど難しいことかを考えれば、容易に想像できる問題である。しかしながら、駅のバリアフリー化、高頻度化、高速化等、投資を伴うハード施策によるサービス向上は、現状では非常に困難である。自動車に依存した地域において、鉄道への転換を目的としたソフト施策としての各種取組を試行錯誤せざるを得ないと想像する。本研究では、多くの地域鉄道における定期客確保のための取組に関わる情報収集ができたと考える。是非、その実効可能性について議論していただければと思う。

一方、定期客以外、つまり観光客を呼び込む施策を考えると、鉄道事業者単体で取り組めること、沿線地域ごとに取り組めること、そして何より、関連主体全てが協力して取り組むべき観光促進策が存在することを認識する必要がある。

我が国の観光市場は、何か資源をつくれれば人を惹きつけられるというプロダクト志向の時代から、営業努力と集客力が比例した販売志向の時代を経て、現代、多様化する様々なニーズをいかに捉え反映できるかの顧客志向の時代へと成長している。それは、すなわち、個々の資源のみでは到底適わないことを意味する。世界遺産が存在する訳ではないこの地域にとって、これから新たな資源を創造することも大事だが、既存資源をいかに組み合わせる魅力化するか。また手広く集客努力をすることよりも、繰り返し利用して貰えるような顧客を生み出すことこそ、考えるべき視点であろう。リピーターが来てくれる、生まれるためには、どのような資源やサービスが必要なのか、そこに今後の論点の重きを置くべきであろう。来訪客に期待以上のサービスを提供し、再来訪へつながる満足感を生み出すことができるかに、大きく依存している。もはや鉄道の問題では無く、一つ一つの自治体の問題でも無く、この地域全体の共通の課題として議論がなされることを期待する。

本研究会の成果は、そのきっかけ、一つのツールを提示できたと思うが、いかに組み込まれるのかは、今後の議論にお任せしたい。

全国の地域鉄道を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、国の発表によれば、地域鉄道事業者 96 社（中小民鉄 49 社と三セク 47 社）のうち、実に 71 社（74%）が平成 27 年度決算で経常赤字を計上している状況である。

鹿島臨海鉄道においても、旅客部門単体では赤字となっており、全部門合わせて、かろうじて黒字を確保している状況である。

大洗鹿島線は、昭和 60 年 3 月の開業以来、これまでに延べ 85 百万人を超える御客様に御利用いただき、県央地域と鹿行地域を結ぶ重要な公共交通としての役割を担ってきたが、その利用者数は減少傾向が続いており、平成 27 年度の利用者数はピーク時（H4：3,588 千人）の約 6 割（2,105 千人）にまで落ち込んでいる。

加えて、安全で安定的な輸送を維持・確保していくために、老朽施設の補修や車両の更新などに対する大きな投資が継続して必要となっている。

このような中、経営の効率化と旅客サービスの向上に努めているところであるが、今後の社会情勢（人口減少や超高齢化）を考えた場合、鉄道会社の自助努力だけで経営を維持していくことは、かなり困難な状況になってくると思われ、これは他のローカル鉄道共通の課題となっている。

このため、将来にわたり、地域の足として大洗鹿島線を維持していくためには、地元自治体をはじめとする地域の方々の理解と協力が必要であり、今回の調査研究事業により鹿島臨海鉄道と沿線地域が課題を共有し、適切な役割分担の下、一体となって利用促進に向けた取組が推進される一端となることを期待する。

本調査によって、沿線住民の大洗鹿島線に対する意識やニーズが詳細に把握できたことは、今後、大洗鹿島線の利用促進、地域の活性化策を行っていく上で非常に有益である。

特に、高校生へのヒアリング調査では、高校でスクールバスが導入されたことが、大洗鹿島線の利用者数減少の原因となっている一方、下校時は部活動等によってスクールバスを利用できない生徒がおり、大洗鹿島線へのニーズが高いことが分かった。このような生徒からは片道通学定期券を求める声が多くあり、導入する効果は十分にあると考えられる。

また、昨今、高齢者による自動車の運転事故が相次いでおり、社会的関心が高まっている中、公共交通による高齢者の移動手段の確保が極めて重要である。大洗鹿島線の各駅にはバリアフリー化されていない駅が多く、今後、駅のバリアフリー化は重要であるとする。駅のバリアフリー化は、高齢者の利用を促進するだけでなく、サイクルトレインの実施範囲の拡大など新たな利用促進策の実施が可能になり、様々な利用目的の乗客の増加を見込むことができる。ぜひ、大洗駅など、主要駅のバリアフリー化を行っていただきたい。

大洗鹿島線沿線では人口が減少している一方、学生や高齢者から様々なニーズがあり、効果的にそのニーズに応えていくことで利用者を増加することができる。利用者が多い鉄道でのイベントは、関心を集めやすく、鉄道や地域が更に魅力的なものになるのではないかと考えられる。

大洗町 まちづくり推進課長

小川 悟

ローカル線の経営上、安易に運賃値下げはできないことは承知している。通常乗車の運賃は下げなくて良いと考える。

ただし、これまで鉄道を利用してこなかった層にアプローチする意味で、企画乗車券・企画定期券をいろいろ試みてほしい。その際は、単体での採算性をあまり考えず、「乗ってもらうきっかけ」と割り切って良いのではないかと。潜在的な需要は必ずあると思う。

また、地方鉄道は「生活関連社会資本」である。移動の利便性は生活の基礎であり、これを失った状態と比較しながら、鉄道と地域の関係を考える必要がある。

単に採算性の良し悪しだけを議論するのではなく、地元の自治体や企業が一体となって、いかに支援し、活用していくかという視点が必要だと考える。

銚田市 総務部長

小野瀬 武彦

今回の調査研究で、全国の鉄道での趣向を凝らした利用促進策や、利用者の様々な動向、意見を知ることができた。大洗鹿島線の利用促進につなげるために参考としたい例や意見も多く、実り多い機会になった。

今後も、本調査を活かした利用促進策を実施することで、日常で利用する沿線住民はもとより観光で訪れる方々からも永く愛される大洗鹿島線を目指していただきたい。

鹿嶋市 政策企画部長

大川 文一

地域公共交通において、鉄道の担う役割はとても重要だと考えている。

本市においては、鹿嶋まつりの開催や鹿島神宮を中心とした観光、カシマサッカースタジアムでの試合開催時などでの来訪者の交通手段として大きな役割を担っていただいているため、今後もイベントを活用した鉄道利用のPR事業の充実を図ることは効果的ではないかと考えている。また、高校生の通学時の交通手段としても根強い市民要望があるため、引き続き、利便性向上に取り組んでいただきたい。

さらに、本市では大洗鹿島線の駅周辺（鹿島大野駅、はまなす公園前駅、荒野台駅）に地区計画を指定し、住宅や商業施設の集積を図るなど、良好な住環境の整備に努めている。そのため、大洗鹿島線は、本市の地域公共交通の面からも非常に重要であるため、今後も路線の確保・維持に努めていただきたい。

潮来市 総務部長

柿崎 純一

大洗鹿島線は本地域を代表する主要な交通機関であるため、本線と連携する二次交通の確保も喫緊の課題であると認識している。また、成田・香取方面とのアクセス性の確保という観点から、JR鹿島線等との円滑な接続も重要な課題であると認識している。

また、各駅改札等における電子マネーの導入、高齢者の利用等に配慮した駅のバリアフリー化について、前向きに御検討をお願いしたい。

これまでに議論されてきた利用促進策等と合わせ、運行本数の増加も含めた利便性向上策等についても引き続き議論を進めていただきたい。

神栖市 企画部長

沼田 実

大洗鹿島線の利用促進に関しては、既に鹿島臨海鉄道様や沿線自治体において様々に検討がなされていると思われるが、今回の調査研究において、様々な意見が出たことはとても有意義であったと考える。

その上で、今後利用者を増やしていくためには、沿線自治体での潜在利用者の掘り起しはもちろんだが、沿線自治体以外の利用者を増やしていくことが必要だと考える。

その例として、サイクルトレインを運行し、県外及び県内他地域からのサイクリストを呼び込むことや、通常旅客運送を行っていない臨港線で旅客列車を運行することにより、神栖市民に大洗鹿島線を意識してもらうことは有効であると考えます。

鹿島臨海鉄道 りんてつ応援団 団長

石田 久枝

開通して30年以上、地域の足として重要な役割を果たしてきた鹿島臨海鉄道は、どこか他人事みたいに思っていた部分もあったように思う。

改めて振り返ると、鹿島臨海鉄道建設時は、必ず地域の足となり、港とともに町村の繁栄に貢献するという情熱があった。それがいつしか時代の流れに逆らえない、と諦め、先行きの不安ばかりが広がっていたように思う。

応援団を立ち上げたのも、このままではいけない、何とかしなければ、という鹿島臨海鉄道大好き人間の集まりがきっかけであった。これから飛躍しようとアイデアを出し、沿線の方の力添えが欲しいと考えていた矢先、このような見つけ直す機会をいただき、非常にありがたく思う。

今後、応援団としては、鹿島臨海鉄道と協力し、魅力ある鉄道となるよう努力したい。

ほこた農業協同組合 代表理事組合長

長峰 茂通

アンケート調査結果はどれも興味深く、示唆に富むものであったが、全体としては厳しい現状を再認識させるものであった。

このような環境の中にあっても、仮に大洗鹿島線が利用できなくなることで、移動が困難になる住民は決して少なくはないはずだ。利用し得る唯一の交通手段だという層もいるだろう。ほこた農業協同組合としても沿線地域の振興の重要性は認識しており、協力できることに関しては協力していきたいと考えている。

公益社団法人 かしま青年会議所 理事長

野口 清人

少子化、高齢化により人口減少が避けることのできない時代となった。大洗鹿島線沿線の市町村も消滅可能性都市であり、私たちの故郷を守り続け未来に生きる人たちがより良い生活環境の中で暮らしていけるようにするためには、自立自活できる地域を目指さなければならない。

地域の発展には交通インフラは重要なファクターであり、大洗鹿島線もその一つとなるポテンシャルを秘めている。人口減少により利用者が減る一方、今まで利用することがなかった人が利用する文化、仕組みを構築し、大洗鹿島線と沿線地域の発展につながることを期待する。

学生（学校）との連携については次のように考える。

今回の調査研究では普段通学で大洗鹿島線を利用している高校生から聞き取り調査を実施しており、利用実態を知る上でとても有効であったと感じている。今後も、同線の利用について高校生や学校（高校）の意見等を伺う場が必要であると考え。

また、学生（高校生、大学生等）に同線及び沿線の活性化に関する意見やアイデアを提示してもらう機会を創出し、若い人の柔軟な発想とパワーを活かすことも今後重要であると考え。

特に、今回の高校生への聞き取り調査では、りんてつ応援団と連携したイベントの企画・運営への参加を希望する意見があったことから、両者の橋渡し（きっかけ作り）が必要であると考え。

マイレール意識の醸成については次のように考える。

りんてつ応援団を中心に大洗鹿島線の沿線住民、ファンの方々にイベントやボランティア活動（沿線の花の手入れ、駅周辺の美化運動等）に参加してもらい、マイレール意識を向上させるとともに、広める機会の創出が今後必要だと考える。

2次交通との連携については次のように考える。

駅から沿線の各施設や観光スポット等までの移動手段が確保されていないと、鉄道利用の移動は敬遠されてしまうことから、1次交通（鉄道）の利用促進には2次交通（バス、タクシー等）との連携が不可欠であり、沿線自治体によるコミュニティバス等を含めて鉄道との連携強化を図ることを目的とした協議会等の設置が必要であると考え。

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線は、県としても、鹿行地域に住んでいる方々の通勤・通学、通院や買物といった日常生活を支える重要な広域公共交通と認識している。

しかしながら、今後沿線人口の減少や少子高齢化が見込まれるなど、沿線を取り巻く環境が厳しくなり、鹿島臨海鉄道の経営努力だけでは、収益の確保など経営の安定性確保が難しい場面も想定されることから、このタイミングで関係者が一堂に会し、将来に向けた大洗鹿島線及び沿線地域の活性化に関する協議の場を設定できたことは、非常に有意義であったと考える。

県としては、引き続き、沿線市町と協調して、安全輸送設備の整備などに取り組むとともに、今回の協議を通じて取りまとめられた提案の中から、委員の皆様をはじめ関係者の方々と連携しつつ、可能なものを適宜実施して、大洗鹿島線及び沿線地域の活性化につなげ、大洗鹿島線が、これからも地元で愛される鉄道として走り続けていけるよう、支援したいと考える。

一般財団法人 地方自治研究機構 常務理事

藤田 萬豊

今年度の研究テーマである「ローカル線の活性化」は、生活の足として地域住民、特に自動車を利用できない高校生の通学に支えられるとともに、地域外の人々が沿線の魅力ある観光資源に触れるための移動手段として利用されることを目指した仕組みづくりであると、本調査研究を通じて実感した。

調査の内容としては、沿線人口の将来予測、沿線住民や学生へのアンケート調査、全国のローカル線における活性化の事例調査等、多くの調査を実施してきた。本調査研究を通じて検討した多くの利用促進策から、鹿島臨海鉄道及び茨城県の特性を活かした利用促進策が選択・実施され、沿線の自治体とともにより一層前進されることを期待する。

委員名簿

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の利用促進による沿線地域の活性化に関する調査研究 委員名簿

委員 長	おかもと 岡本	なおひさ 直久	国立大学法人 筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授
委 員	すずき 鈴木	てつや 哲也	鹿島臨海鉄道株式会社 代表取締役副社長(注)
	みやけ 三宅	まさんど 正人	水戸市 市長公室長
	おがわ 小川	さとる 悟	大洗町 まちづくり推進課長
	おのせ 小野瀬	たけひこ 武彦	銚田市 総務部長
	おおかわ 大川	ぶんいち 文一	鹿嶋市 政策企画部長
	かきざき 柿崎	じゅんいち 純一	潮来市 総務部長
	ぬまた 沼田	みのる 実	神栖市 企画部長
	いしだ 石田	ひさえ 久枝	鹿島臨海鉄道 りんてつ応援団 団長
	ながみね 長峰	しげみち 茂通	ほこた農業協同組合 代表理事組合長
	のぐち 野口	きよひと 清人	公益社団法人 かしま青年会議所 理事長
	ましこ 増子	たかゆき 隆行	東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社 総務部 企画室長
	かくた 角田	ひでき 英樹	茨城県 企画部 参事 兼 企画課長
	ふじた 藤田	かずとよ 萬豊	一般財団法人 地方自治研究機構 常務理事
事 務 局	はなわ 埴	しんいち 伸一	茨城県 企画部 企画課 交通対策室長
	はっとり 服部	たくみ 卓巳	茨城県 企画部 企画課 交通対策室 室長補佐
	やまうら 山浦	としかず 俊一	茨城県 企画部 企画課 交通対策室 係長
	きしだ 岸田	たくし 拓士	一般財団法人 地方自治研究機構 調査研究部 主任研究員
	やまぐち 山口	だいき 大輝	一般財団法人 地方自治研究機構 調査研究部 研究員
基礎調査 機 関	ひらの 平野	しゅうご 秋吾	株式会社ジック 本部 調査課
	なかお 中尾	さとこ 仁子	株式会社ジック 本部 調査課
	なかた 中田	はやと 隼也人	株式会社ジック 本部 管理課

(順不同 敬称略)

(注) 鹿島臨海鉄道株式会社内の人事異動に伴い、第1回委員会は 宮本 満 氏が委員として出席し、
第2回委員会以降は 鈴木 哲也 氏が委員として出席。

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の利用促進による
沿線地域の活性化に関する調査研究
後編

—平成29年3月発行—

茨城県

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978-6
電話 029-301-2536 (企画課交通対策室)

一般財団法人 地方自治研究機構

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-16 太陽銀座ビル2階
電話 03-5148-0661 (代表)

